

**第7次 玉川村振興計画
策定に向けたアンケート調査
結果報告書**

**令和6年10月
玉川村**

目次

I	アンケート調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査概要.....	1
3	報告書の見方.....	1
4	調査結果の要約.....	2
I	中学生調査の結果.....	10
1	あなたご自身のことについて.....	10
2	住み心地や定住意向について.....	13
3	これからの生活について.....	19
4	将来像や今後の取り組みについて.....	23
II	高校生世代調査の結果.....	29
1	あなたご自身のことについて.....	29
2	住み心地や定住意向について.....	33
3	これからの生活について.....	39
4	将来像や今後の取り組みについて.....	43
III	村民調査の結果.....	50
1	あなたご自身のことについて.....	50
2	住み心地や定住意向について.....	57
3	結婚や出産について.....	65
4	働くことについて.....	74
5	玉川村の取り組みへの満足度、今後の重要度について.....	78
6	将来像や今後の取り組みについて.....	95

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和8年度から10年間のまちづくりの将来像を新たに定める「第7次玉川村振興計画」の策定にあたり、むらへの愛着度や定住意向をはじめ、むらの現状評価や今後重視する取り組み、各分野における施策要望など、中学生や高校生世代、20歳以上の村民の皆様から意識等を把握し、計画づくりの基礎資料とするために実施しました。

2 調査概要

項目	中学生	高校生世代	村民
調査対象者	村内在住の 中学1～3年生	村内在住の 15～17歳の村民	村内在住の 18歳以上の村民
調査数	171人	177人	2,000人
調査期間	令和6年8月26日～9月6日	令和6年8月5日～8月19日	
調査方法	調査案内文の 学校配布によるWEB回答	郵送配布・郵送回収 (WEBでの回答も可)	
回収数	64人(回収率37.4%)	55人(回収率31.1%)	546人(回収率27.3%)

3 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの**第1位**に網掛けをしています。
- ◇集計対象者数（n値）が少ない（10件未満）クロス集計について、コメント対象外としています。
- ◇その他・自由回答については、基本的にご回答いただいた原文のまま記載しています。
- ◇前回調査は、平成27年2月に実施した調査結果です。

4 調査結果の要約

① 中学生調査

住み心地や定住意向について

- 玉川村での居住歴については、「生まれてからずっと住んでいる」が 76.6%と最も多く、次いで「県内の他の市町村から移り住んできた」が 17.2%、「生まれたが村外に住んでいたことがある」「県外から移り住んできた」がそれぞれ 3.1%となっています。
- 玉川村の住み心地について、『住みやすい』（「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の合計）は 82.9%となっています。
- 今後の定住意向については、「わからない」が 45.3%と最も多く、次いで「今後も暮らしたい」が 28.1%、「暮らしたいとは思わない」が 26.6%となっています。
- 住み続けたいと思う理由については、「買い物する所が多く便利だから（商店が多いから）」が 38.9%と最も多く、次いで「スポーツや遊びの場が充実しているから」が 33.3%、「道路や交通の便が良いから」「病院などが近く、行きやすいから」が 27.8%となっています。
- 住み続けたくないと思う理由については、「買い物する所が少なく不便だから（商店が少ないから）」58.8%と最も多く、次いで「将来、自分になりたい職業が、村内または近くにないから」「働く場所が少ないから」が 47.1%となっています。
- 村への愛着度について、『感じている』（「感じている」と「どちらかというと感じている」の合計）は 89.0%となり、前回調査の 84.4%から 4.6 ポイント増加しています。
- 地域行事等への参加状況については「参加していない」が 37.5%となっており、参加していない理由については「参加したいと思う活動がないから」が 58.3%と最も多く、次いで「忙しくて時間がないから」が 54.2%、「参加の方法がわからないから」が 33.3%となっています。



村の住み心地については8割以上が『住みやすい』と回答しており、村への愛着度も前回調査からやや上昇しています。一方、住み続けたくない理由としては買い物の不便さややりたい職業が村内、近くにないこと、働く場所の少なさが上位にあがっており、日常生活の利便性向上や産業振興、雇用創出に向けた取り組みが必要です。

これからの生活について

- 働くときに重視することについては、「給料が高いこと」「好きな仕事ができること」が 62.5%と最も多く、次いで「職場の人間関係が良いこと」が 50.0%となっています。
- 村内で働くために、村が取り組むべきだと思うことについては、「様々な会社での職業体験」が 51.6%と最も多く、次いで「様々な会社に関する情報などの発信」「新しい会社をつくるための支援」が 50.0%となっています。
- 将来就きたい仕事については、「飲食関係」が 21.9%と最も多く、次いで「IT関係」「医療・福祉関係」「美容・ファッション関係」が 20.3%となっています。

○玉川第一小学校と須釜小学校の今後進めるべき方向については、「統合して、どちらかの土地に新設する」が45.3%と最も多く、次いで「人数は減っても2つの小学校を存続させる」が21.9%、「統合して、新しい場所に新設する」が20.3%となっています。



村内での就労のために村が取り組むべきこととして、「様々な会社での職業体験」「様々な会社に関する情報などの発信」「新しい会社をつくるための支援」が上位にあがっており、職業体験や情報発信についての企業との連携や起業支援など村内で働ける環境を整備していく必要があります。玉川第一小学校と須釜小学校の統合・存続については、全体の3人に2人が何らかの統合を進めるべき方向としている一方、2割が2校の存続を進めるべき方向としています。

将来像や今後の取り組みについて

○玉川村のまちづくりに期待することとして、「自然の豊かなまち」が50.0%と最も多く、次いで「住みやすいまち」が43.8%、「人々が明るいまち」が39.1%となっています。

○玉川村の魅力については、「自然」や「福島空港」が多く挙がっています。また、玉川村のまちづくりを進めるにあたって、大切にしたいことについては、「自然」「環境保全」「利便性」「村民の意見」等が多く挙がっています。

○玉川村の発展にとって特に重要だと考える取り組みについては、第1位では「子育て支援」が25.0%と最も多く、次いで「産業の活性化」が17.2%、「働く場の充実」が15.6%となっています。第2位では「産業の活性化」「働く場の充実」が18.8%と最も多く、次いで「子ども達への教育」が17.2%となっています。



村のまちづくりに期待することとしては、「自然の豊かなまち」が最も多く、村の魅力、村のまちづくりを進めるにあたって大切にしたいことのいずれについても「自然」が最も高くなっています。村の発展に重要な取り組みとしては「子育て支援」「産業の活性化」「働く場の充実」などが上位にあがっており、自然や環境の保全を前提としたうえで、産業活性化や雇用の場の創出に取り組むことが求められています。

②高校生世代調査

住み心地や定住意向について

- 玉川村での居住歴については、「生まれてからずっと住んでいる」が 78.2%と最も多く、次いで「県内の他の市町村から転入してきた」が 14.5%、「生まれたが村外に住んでいたことがある」が 5.5%となっています。
- 回答者の状況については、「学生」が 98.2%であり、通学先は「村外」が 90.7%となっています。
- 玉川村の住み心地について、『住みやすい』（「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の合計）は 67.3%となっています。
- 今後の定住意向については、「わからない」が 56.4%と最も多く、次いで「今後も暮らしたい」が 29.1%、「暮らしたいとは思わない」が 14.5%となっています。
- 住み続けたいと思う理由については、「自然環境が良い」が 75.0%と最も多く、次いで「友人関係などの人間関係が良い」「親・兄弟姉妹がいる（同居・近居）」が 43.8%となっています。一方、住み続けたくないと思う理由については、「通学（通勤）に都合が悪い」が 87.5%（7件）と最も多く、次いで「買い物や日常生活に不便が多い」が 75.0%（6件）、「交通環境が良くない」が 37.5%（3件）となっています。
- 村への愛着度について、『感じている』（「感じている」と「どちらかというと感じている」の合計）は 87.3%となり、前回調査の 73.2%から約 14 ポイント増加しています。
- 地域行事等への参加状況については「参加していない」が 52.7%となっており、参加していない理由については「忙しくて時間がないから」が 65.5%と最も多く、次いで「参加の方法がわからないから」「参加したいと思う活動がないから」が 24.1%となっています。また、地域行事等への参加意向については、「できる範囲で参加したい」が 52.7%となっています。



村外へ通学している学生は約9割となっています。村の住み心地については全体の3人に2人が『住みやすい』と回答しており、村への愛着度も前回調査から上昇しています。一方、住み続けたくない理由としては通学や交通環境、買い物や日常生活の不便さが上位にあがっており、通学や日常生活のための交通利便性向上に向けた取り組みが必要です。

これからの生活について

- 進学や就職で村外に移住した場合、村内に戻ってきたいと思うかについて、『戻ってきたい』（「ぜひ戻ってきたい」と「どちらかというに戻ってきたい」の合計）は 43.6%となっています。
- もし村外に移り住んだとしても、玉川村と関わりたいかについて、『関わってきたい』（「ぜひ関わってきたい」と「どちらかというに関わってきたい」の合計）は 54.6%となっています。
- 今後の就職・転職地の希望については、「村外で就職・転職したい」が 63.6%と最も多く、次いで「わからない」が 23.6%、「村内で就職・転職したい」が 10.9%となっています。
- 仕事を選択する上で重視することとして、「給与」が 69.1%と最も多く、次いで「仕事の内容」が 58.2%、「休みの日数（有休の取得など）」「職場の人間関係」が 47.3%となっています。

○村内での就労のために村が取り組むべきこととして、「企業などと連携した職業体験」が 49.1%と最も多く、次いで「企業情報などの情報発信」が 40.0%、「リモートワークやテレワークができる環境の整備」が 38.2%となっています。また、若者のUターン、Iターンを増やすためにあればよいと思う仕事については、「サービス業（金融・保険含む）」「IT関連」が 45.5%と最も多く、次いで「公務員・公的機関」が 34.5%となっています。

Uターン意向については『戻ってきたい』が4割台、離村後の村との関わり方については『関わっていたい』が5割台となっています。また、就職・転職地については「村外で就職・転職したい」が6割台となっています。村内での就労のために村が取り組むべきこととして、「企業などと連携した職業体験」「企業情報などの情報発信」「リモートワークやテレワークができる環境の整備」が上位にあがっており、企業との連携を通して村内で働ける環境を整備していく必要があります。

将来像や今後の取り組みについて

○玉川村のまちづくりに期待することとして、「住みやすいまち」が 49.1%と最も多く、次いで「自然の豊かなまち」が 30.9%、「安心・安全なまち」が 29.1%となっています。

○まちづくりの進め方については、「村民と行政が協力し、一体となってまちづくりを進める」が 78.2%と最も多く、次いで「村民が主体となってまちづくりを進める（行政は村民の活動を支援する）」が 16.4%、「行政が主体となってまちづくりを進める（村民は行政活動に協力する）」が 3.6%となっています。

○玉川村の発展にとって特に重要な取り組みについては、第1位では「産業の活化」が 21.8%と最も多く、次いで「働く場の充実」が 18.2%、「子育て支援」「子ども達への教育」が 12.7%となっています。第2位では「働く場の充実」が 20.0%と最も多く、次いで「子育て支援」が 16.4%、「子ども達への教育」が 14.5%となっています。第3位では「生涯学習、芸術文化、スポーツの環境づくり」が 14.5%と最も多く、次いで「高齢者、障害者などへの福祉」が 10.9%、「産業の活性化」「村民の健康維持・増進への支援」「仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）」が 9.1%となっています。

村のまちづくりに期待することとしては、「住みやすいまち」「自然の豊かなまち」「安心・安全なまち」が上位にあがっています。一方、村の発展にとって特に重要な取り組みについては、「産業の活化」「働く場の充実」を第1位に挙げる人が2割前後と多くなっています。安心・安全で住みよい環境づくりとともに、産業の発展や雇用の場の創出などへの取り組みが求められています。

③村民調査

住み心地や定住意向について

- 玉川村での居住歴については、「生まれてからずっと住んでいる」が 45.6%と最も多く、次いで「県内の他の市町村から転入してきた」が 28.4%、「生まれたが村外に住んでいたことがある（学生時代は除く）」が 19.6%となっています。年代別にみると、〔30 代〕では「県内の他の市町村から転入してきた」、その他の年代では「生まれてからずっと住んでいる」が最も多くなっています。
- 勤務先・通学先については、「村外」が 38.3%と最も多く、次いで「働いていない（通学していない）」が 29.3%、「村内」が 23.1%となっています。年代別にみると、「働いていない（通学していない）」が最も多い〔70 代〕〔80 代以上〕を除く年代では「村外」が最も多くなっています。
- 玉川村の住み心地について、『住みやすい』（「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の合計）は 71.1%となっています。
- 今後の定住意向については、「これからもずっと住み続けたい」が 55.1%と最も多く、次いで「当分は住み続けたい」が 23.8%、「どちらともいえない」が 13.4%となっています。年代別にみると、〔30 代〕〔40 代〕では「当分は住み続けたい」、〔20 代〕と〔50 代〕以上では「これからもずっと住み続けたい」が最も多くなっています。
- 住み続けたいと思う理由については、「家や土地を持っている」が 65.9%と最も多く、次いで「自然環境が良い」が 38.3%、「災害が少ない」が 29.7%となっています。一方、住み続けたくないと思う理由については、「買い物や日常生活に不便が多い」が 65.7%と最も多く、次いで「交通環境が良くない」が 40.0%、「保健・医療・福祉サービスが充実していない」が 28.6%となっています。
- 村への愛着度については、『感じている』（「感じている」と「やや感じている」の合計）は 73.8%となっており、前回調査の 78.0%と大きな差はみられませんが、「感じている」のみでみると 37.2%となっており、前回調査の 53.0%から 15.8 ポイント減少しています。



村の居住歴について、30 代では村外からの転入者が最も多くなっており、働き世代・子育て世代の移住者が一定数いることがうかがえます。また、60 代以下の勤務先・通学先では「村外」が最も多く、日中の人口流出が多い状況です。一方、定住意向については、20 代、50 代以上では「これからもずっと住み続けたい」が最も多いものの、30 代、40 代では「当分は住み続けたい」が「これからもずっと住み続けたい」を上回っています。住み続けたくない理由として、交通環境、買い物や日常生活の不便さのほか、保健・医療・福祉サービスが充実していないことを挙げる人が多くなっています。働き世代・子育て世代が住みよいと感じられる生活環境の整備が求められています。

結婚や出産について

- 婚姻の状況について、「既婚（事実婚を含む）」が 67.4%と最も多く、次いで「独身（未婚）」が 12.3%、「独身（婚姻歴あり）」が 10.4%となっています。独身者の結婚の希望について年代別にみると、〔20 代〕〔40 代〕では「わからない」、〔30 代〕では「いずれ結婚したい」、〔50 代〕以上では「結婚するつもりはない」が最も多くなっています。

- 村で重点的に取り組むべき結婚支援事業について、「若い夫婦への住まいに関わる支援」が 26.7%と最も多く、次いで「結婚祝い金などの経済的支援」が 15.2%、「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」が 14.1%となっています。年代別にみると、〔20 代〕では「結婚祝い金などの経済的支援」、〔30 代〕では「若い夫婦への住まいに関わる支援」「結婚祝い金などの経済的支援」、〔80 代以上〕では「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」、〔40 代〕から〔70 代〕では「若い夫婦への住まいに関わる支援」が最も多くなっています。
- 子どもの数について年代別にみると、〔20 代〕〔30 代〕では「いない」、〔40 代〕では「いない」「2 人」、〔50 代〕以上では「2 人」が最も多くなっています。一方、理想的な子どもの数についてみると、〔60 代〕以上では「3 人」、その他の年代では「2 人」が最も多くなっています。
- 村で最も力を入れるべき育児サービス・事業については、「子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上」が 36.1%と最も多く、次いで「子どもを預かるサービスの時間の延長」が 33.5%、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が 30.2%となっています。



独身者の結婚の希望をみると、30 代で「いずれ結婚したい」が最も多くなっています。また、村で重点的に取り組むべき結婚支援事業について、「若い夫婦への住まいに関わる支援」「結婚祝い金などの経済的支援」「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」が上位にあがっており、年代別にみると、20 代、30 代で経済的支援を挙げる人が多くなっています。若い夫婦が暮らしやすい居住環境を整えるとともに、若い世代が強く望んでいる経済的支援の充実が必要です。

働くことについて

- 今後の就職・転職地の希望については、「就職・転職の希望はない」が 67.4%と最も多く、次いで「村外で就職・転職したい」が 10.8%、「村内で就職・転職したい」が 9.9%となっています。また、仕事を選択する上で重視することとして、「給与」が 58.8%と最も多く、次いで「仕事の内容」が 35.9%、「休みの日数（有休の取得など）」が 33.0%となっています。
- 村内での就労のために村が取り組むべきこととして、「新たな就労先の確保（企業誘致など）」が 50.5%と最も多く、次いで「就労に関する相談窓口」が 35.3%、「企業情報などの情報発信」が 30.4%となっています。年代別にみると、〔20 代〕では「企業情報などの情報発信」「新たな就労先の確保（企業誘致など）」、〔80 代以上〕では「就労に関する相談窓口」、〔30 代〕から〔70 代〕では「新たな就労先の確保（企業誘致など）」が最も多くなっています。
- 若者の U ターン、I ターンを増やすためにあればよいと思う仕事については、「業種を問わない」が 39.7%と最も多く、次いで「IT 関連」が 35.0%、「製造業（技術職）」が 34.2%となっています。年代別にみると、〔20 代〕では「IT 関連」「業種を問わない」、〔30 代〕〔40 代〕では「IT 関連」、〔50 代〕以上では「業種を問わない」が最も多くなっています。



村内での就労のために村が取り組むべきことについて、ほとんどの年代で「新たな就労先の確保（企業誘致など）」が最も多くなっていますが、20代では「企業情報などの情報発信」、80代以上では「就労に関する相談窓口」を挙げる人も多くなっていることから、年代に応じた情報提供体制や相談支援体制を整備する必要があります。

玉川村の取り組みへの満足度、今後の重要度について

- 村の取り組みの満足度と重要度について、重要度が高いものの、不満度も高い「第4グループ」には、「安全で安定した水道水の供給」、「雇用・就労者対策の充実」、「道路・交通ネットワークの整備」「工業の振興」、「居住環境の整備と空き家対策の推進」が属しています。
- 村の「保育・子育て環境」に関する取り組みへの満足度について、「どちらともいえない」が38.6%と最も多く、次いで「やや満足している」が30.2%、「やや不満である」が8.8%となっています。
- 玉川第一小学校と須釜小学校の統合・存続について、「統合して、どちらかの敷地に新設する」が35.0%と最も多く、次いで「統合して、新しい場所に新設する」が33.0%、「人数は減っても2つの小学校を存続させる」が16.3%となっています。
- 村の「人権尊重や多文化共生」に関する取り組みへの満足度について、「どちらともいえない」が68.7%と最も多く、次いで「やや満足している」が15.4%、「やや不満である」が4.8%となっています。
- 地域行事等への参加状況については「参加していない」が49.6%となっており、年代別にみると、〔40代〕では「参加している」、その他の年代では「参加していない」が多くなっています。参加していない理由については、「忙しくて時間がないから」が37.3%と最も多く、次いで「参加したいと思う活動がないから」が25.8%、「身体の具合が悪いから」が22.5%となっています。
- 地域行事等への参加意向については、『参加したい』（積極的に参加したい）と「できる範囲で参加したい」の合計は25.8%となっています。年代別にみると、〔30代〕では「できる範囲で参加したい」、〔80代以上〕では「参加したくない、参加できない」、〔20代〕と〔40代〕から〔70代〕では「どちらともいえない」が最も多くなっています。



満足度が低く重要度が高い取り組みとして、「居住環境の整備と空き家対策の推進」「工業の振興」「雇用・勤労者対策の充実」などがあり、優先的に取り組むことが求められています。

一方、地域行事等への参加状況については「参加していない」が約5割となっており、地域行事等に『参加したい』とする人は4人に1人の割合にとどまっています。村民に地域行事への参加を促すとともに、コミュニティ（地域社会）を育成する取り組みや村民と行政が一体で取り組む協働のむらづくりを推進していくことが重要です。

将来像や今後の取り組みについて

- SDGs（持続可能な開発目標）の認知度については、「内容を知っていた」が45.4%と最も多く、年代別にみると、〔70代〕では「内容は知らないが、聞いたことがある」、〔80代以上〕では「知らなかった（初めて聞いた）」、その他の年代では「内容を知っていた」が最も多くなっています。また、SDGsの17の目標の中で特に大切に感じる項目については、「住み続けられるまちづくりを」が41.0%と最も多く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が35.5%となっています。年代別にみると、〔30代〕と〔70代〕〔80代以上〕では「すべての人に健康と福祉を」、〔20代〕と〔40代〕から〔60代〕では「住み続けられるまちづくりを」が最も多くなっています。
- DXの認知度については、「初めて聞いた」が53.1%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が25.5%、「意味も言葉も知っている」が13.7%となっています。行政サービスのデジタル化については、「徐々に取り組むべき」が46.7%と最も多く、次いで「積極的に取り組むべき」が27.8%となっています。年代別にみると、〔20代〕では「積極的に取り組むべき」「徐々に取り組むべき」、〔80代以上〕では「わからない」、その他の年代では「徐々に取り組むべき」が最も多くなっています。
- デジタル技術の導入・活用が進むことを期待する分野として、「未来を担う子ども達の教育分野」が41.9%と最も多く、次いで「防災、防犯、事故防止などの安全分野」が38.6%、「子育て、高齢者、障害者などの福祉分野」が31.9%となっています。年代別にみると、〔50代〕では「防災、防犯、事故防止などの安全分野」、〔70代〕では「未来を担う子ども達の教育分野」「防災、防犯、事故防止などの安全分野」、〔20代〕から〔40代〕と〔60代〕以上では「未来を担う子ども達の教育分野」が最も多くなっています。
- 玉川村のまちづくりに期待することとして、「安心・安全なまち」が45.8%と最も多く、次いで「住みやすいまち」が44.1%、「便利なまち」が20.7%となっています。年代別にみると、〔70代〕〔80代以上〕では「安心・安全なまち」、〔20代〕から〔60代〕では「住みやすいまち」が最も多くなっています。
- まちづくりの進め方については、「村民と行政が協力し、一体となってまちづくりを進める」が66.5%と最も多く、次いで「行政が主体となってまちづくりを進める（村民は行政活動に協力する）」が17.2%、「村民が主体となってまちづくりを進める（行政は村民の活動を支援する）」が9.2%となっています。
- 村の支援やサービスなどの情報の入手先については、「村広報誌」が74.5%と最も多く、次いで「村ホームページ」が27.7%、「知人・友人」が26.2%となっています。
- 玉川村の発展にとって特に重要な取り組みについては、第1位では「働く場の充実」が24.2%と最も多く、次いで「産業の活性化」が17.2%、「子育て支援」が13.4%となっています。第2位では「働く場の充実」が17.9%と最も多く、次いで「子育て支援」が13.9%、「子ども達への教育」が10.4%となっています。第3位では「高齢者、障害者などへの福祉」が11.0%と最も多く、次いで「働く場の充実」が9.5%、「住民協働のまちづくり」が9.3%となっています。



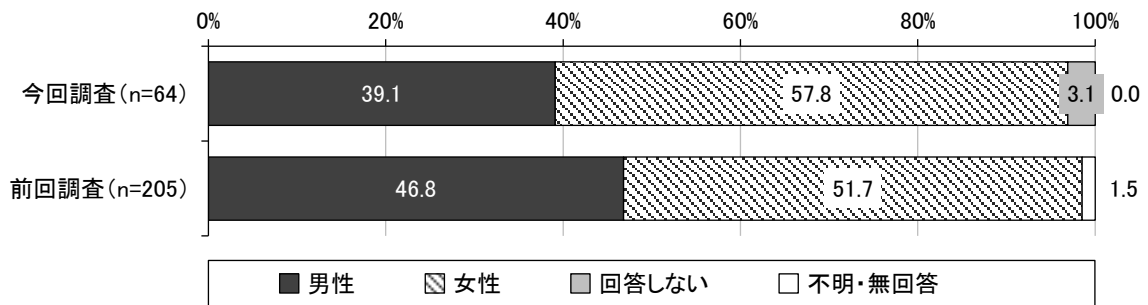
村のまちづくりに期待することとしては、「安心・安全なまち」「住みやすいまち」「便利なまち」が上位にあがっています。一方、村の発展にとって特に重要な取り組みについては、「働く場の充実」を第1位、第2位に挙げる人が2割前後と最も多くなっています。安心・安全で住みよい環境づくりとともに、産業の発展や雇用の場の創出などへの取り組みが求められています。

I 中学生調査の結果

1 あなたご自身のことについて

問1 よろしければ、あなたの性別をお答えください。(1つに○)

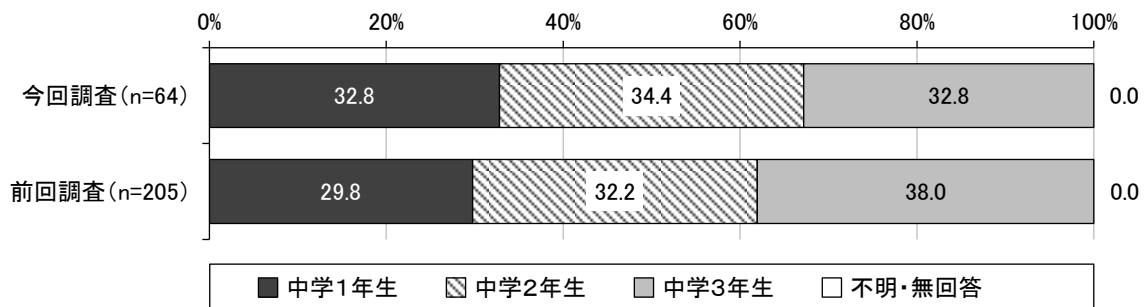
「女性」が57.8%と最も多く、次いで「男性」が39.1%、「回答しない」が3.1%となっています。
前回調査と比較すると、「女性」が6.1ポイント増加し、「男性」が7.7ポイント減少しています。



※「回答しない」は今回調査のみの選択肢

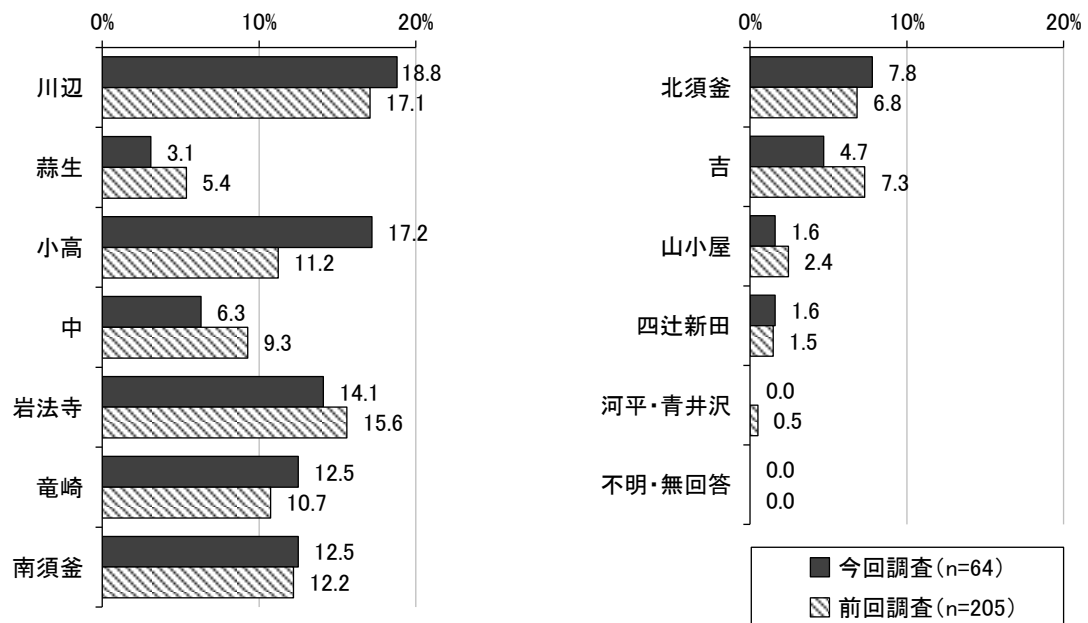
問2 あなたの学年をお答えください。(1つに○)

「中学2年生」が34.4%と最も多く、次いで「中学1年生」「中学3年生」が32.8%となっています。
前回調査と比較すると、「中学3年生」が5.2ポイント減少しています。



問3 あなたが住んでいる地区をお答えください。(1つに○)

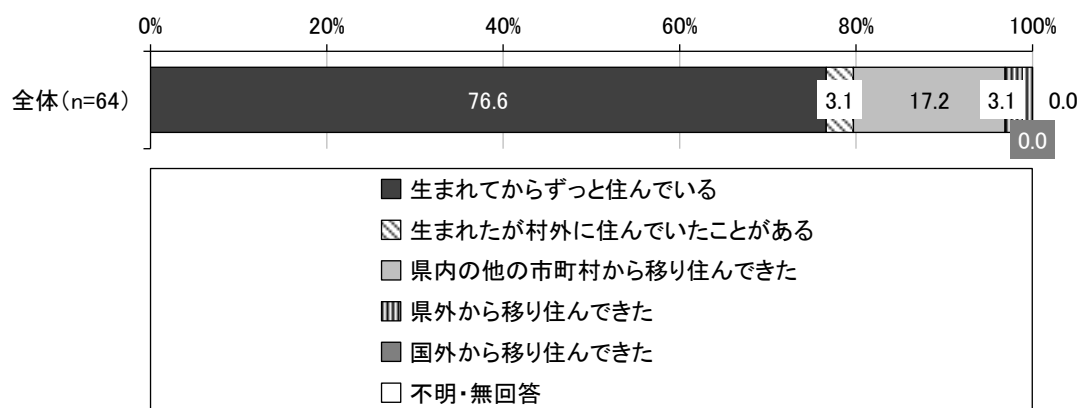
「川辺」が18.8%と最も多く、次いで「小高」が17.2%、「岩法寺」が14.1%となっています。
前回調査と比較すると、「小高」が6.0ポイント増加しています。



※今回調査の「山小屋」「河平・青井沢」は、前回調査では「山小屋・山新田」「青井沢」

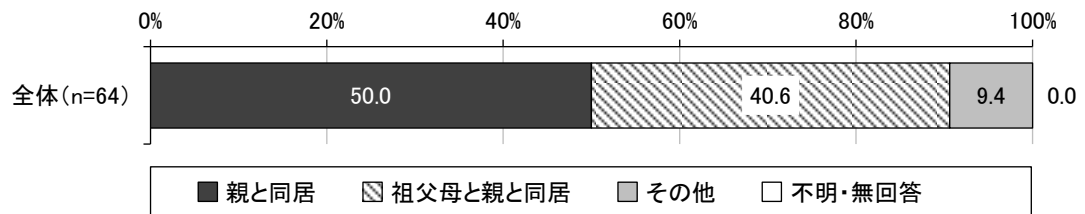
問4 あなたの玉川村での居住歴をお答えください。(1つに○)

「生まれてからずっと住んでいる」が76.6%と最も多く、次いで「県内の他の市町村から移り住んできた」が17.2%、「生まれたが村外に住んでいたことがある」「県外から移り住んできた」が3.1%となっています。



問5 あなたの家族（同居者）構成をお答えください。（1つに○）

「親と同居」が50.0%と最も多く、次いで「祖父母と親と同居」が40.6%となっています。



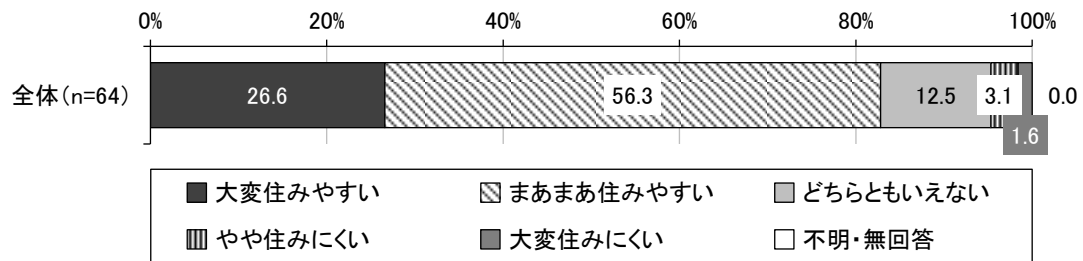
【その他回答】

- 親と姉妹（2件）
- 叔父、叔母、祖母
- 親と兄弟と同居
- 母親と姉と同居
- 祖父母と両親と弟と大叔父と同居

2 住み心地や定住意向について

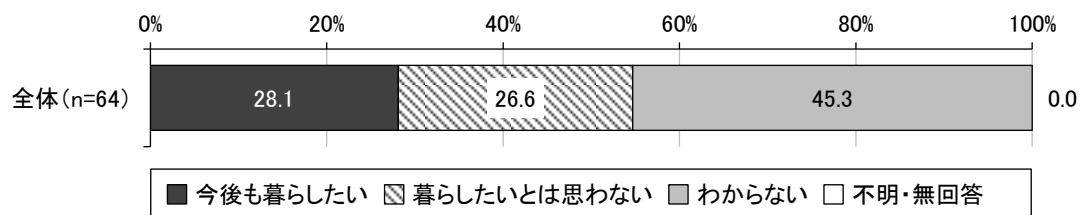
問6 あなたにとって、玉川村の住み心地はいかがですか。(1つに○)

「まあまあ住みやすい」が56.3%と最も多く、次いで「大変住みやすい」が26.6%、「どちらともいえない」が12.5%となっています。

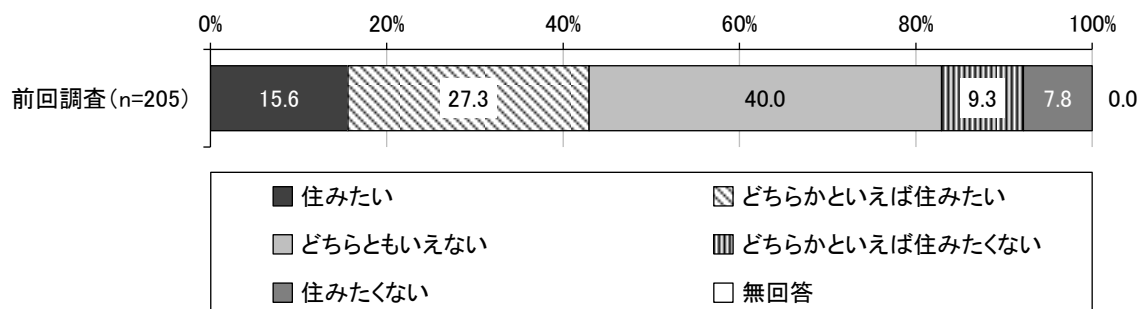


問7 あなたは、今後も玉川村で住み続けたいですか。(1つに○)

「わからない」が45.3%と最も多く、次いで「今後も暮らしたい」が28.1%、「暮らしたいとは思わない」が26.6%となっています。



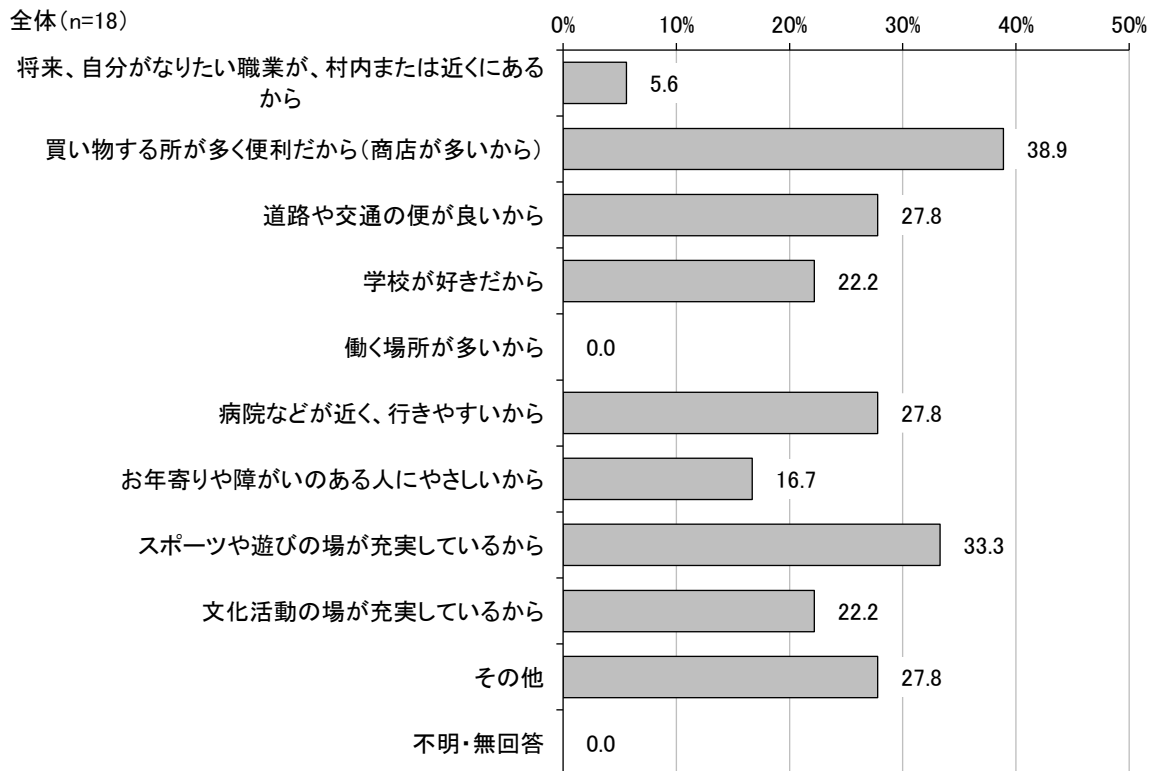
《参考》今後の定住意向について



問7で「今後も暮らしたい」と答えた方

問8 あなたが住み続けたいと思う理由を教えてください。(主なもの3つまで○)

「買い物する所が多く便利だから(商店が多いから)」が 38.9%と最も多く、次いで「スポーツや遊びの場が充実しているから」が 33.3%、「道路や交通の便が良いから」「病院などが近く、行きやすいから」が 27.8%となっています。



【その他回答】

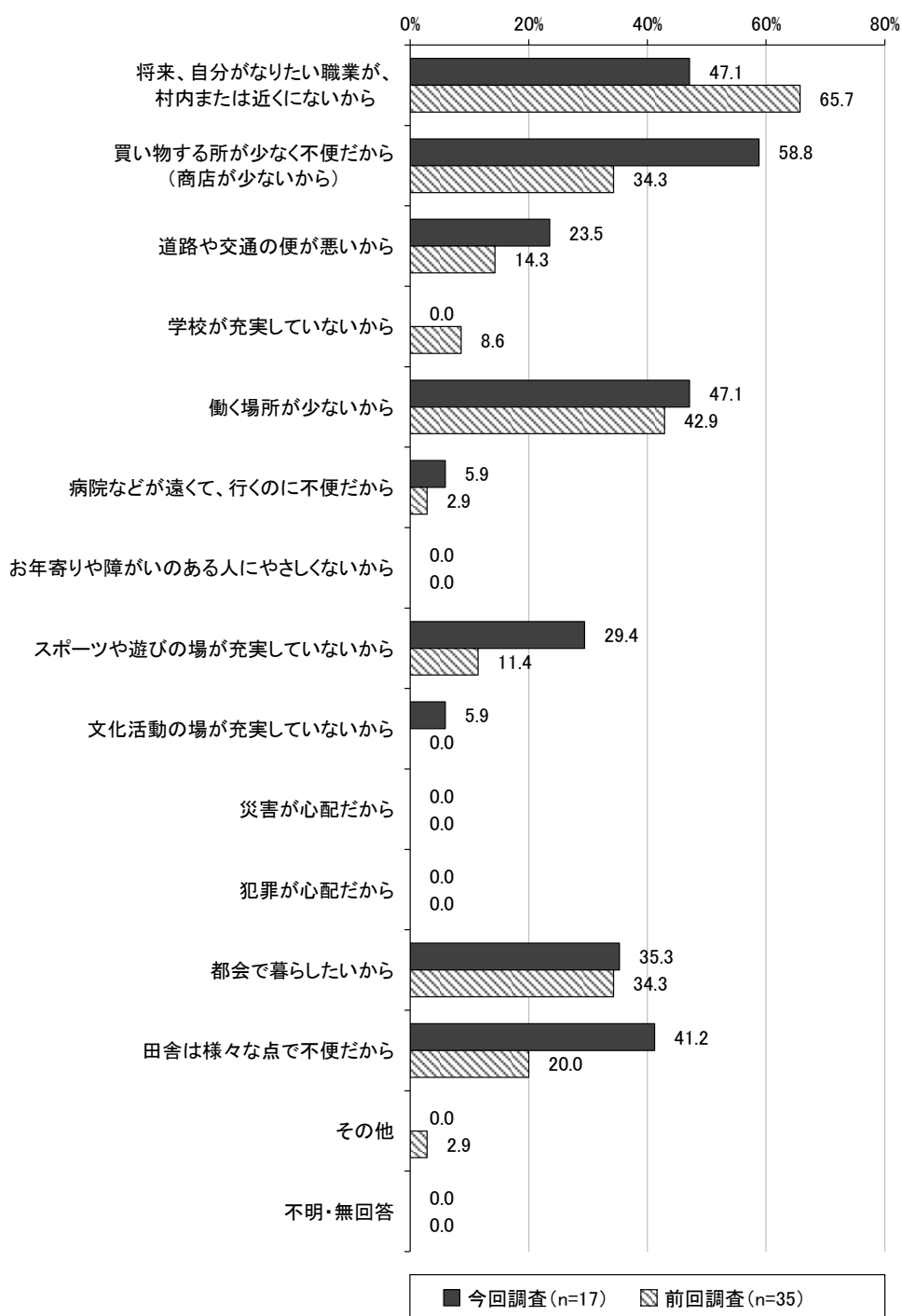
- 玉川村が好きだから
- 景色がきれいだから
- 自然豊かで良い
- のどかで良いから
- 自然だらけで静かだから

問7で「暮らしたいとは思わない」と答えた方

問9 あなたが住み続けたくないと思う理由を教えてください。(主なもの3つまで○)

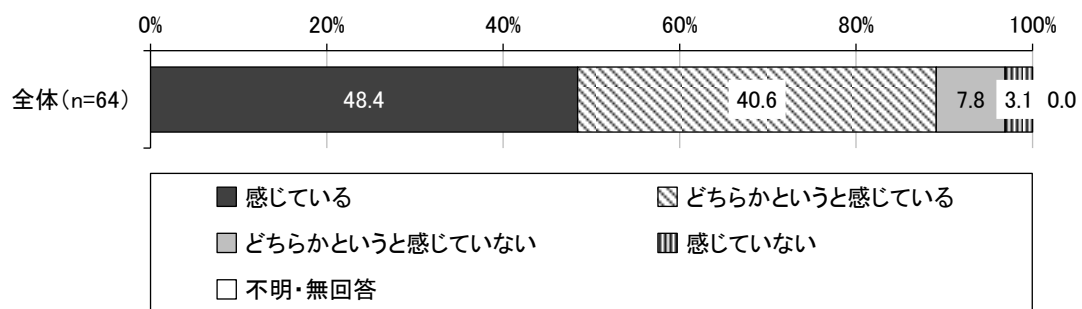
「買い物する所が少なく不便だから(商店が少ないから)」が 58.8%と最も多く、次いで「将来、自分がなりたい職業が、村内または近くにないから」「働く場所が少ないから」が 47.1%となっています。

前回調査と比較すると、「買い物する所が少なく不便だから(商店が少ないから)」が 24.5 ポイント、「田舎は様々な点で不便だから」が 21.2 ポイント、「スポーツや遊びの場が充実していないから」が 18.0 ポイント、「道路や交通の便が悪いから」が 9.2 ポイント、「文化活動の場が充実していないから」が 5.9 ポイント増加し、「将来、自分がなりたい職業が、村内または近くにないから」が 18.6 ポイント、「学校が充実していないから」が 8.6 ポイント減少しています。

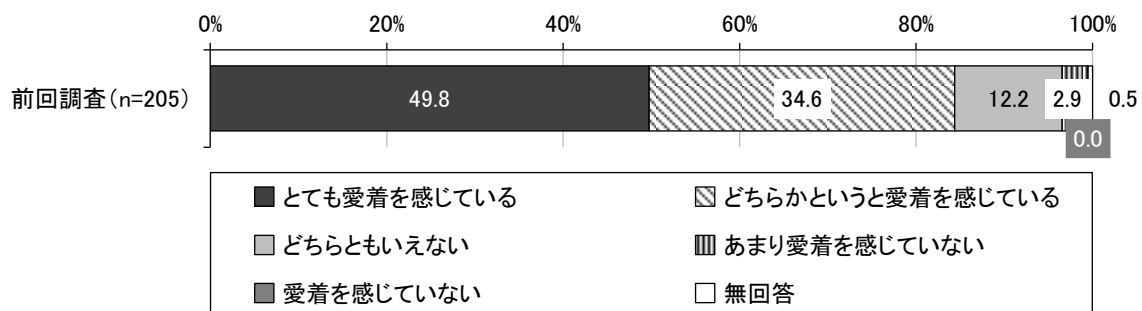


問 10 玉川村へ愛着を感じていますか。(1つに○)

「感じている」が48.4%と最も多く、次いで「どちらかというと感じている」が40.6%、「どちらかというと感じていない」が7.8%となっています。

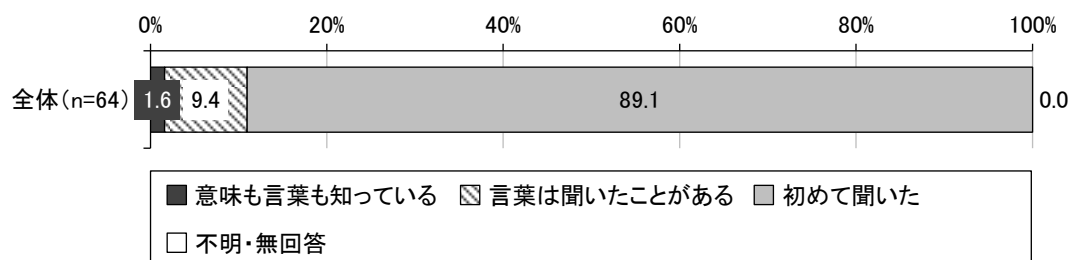


《参考》村への愛着度について



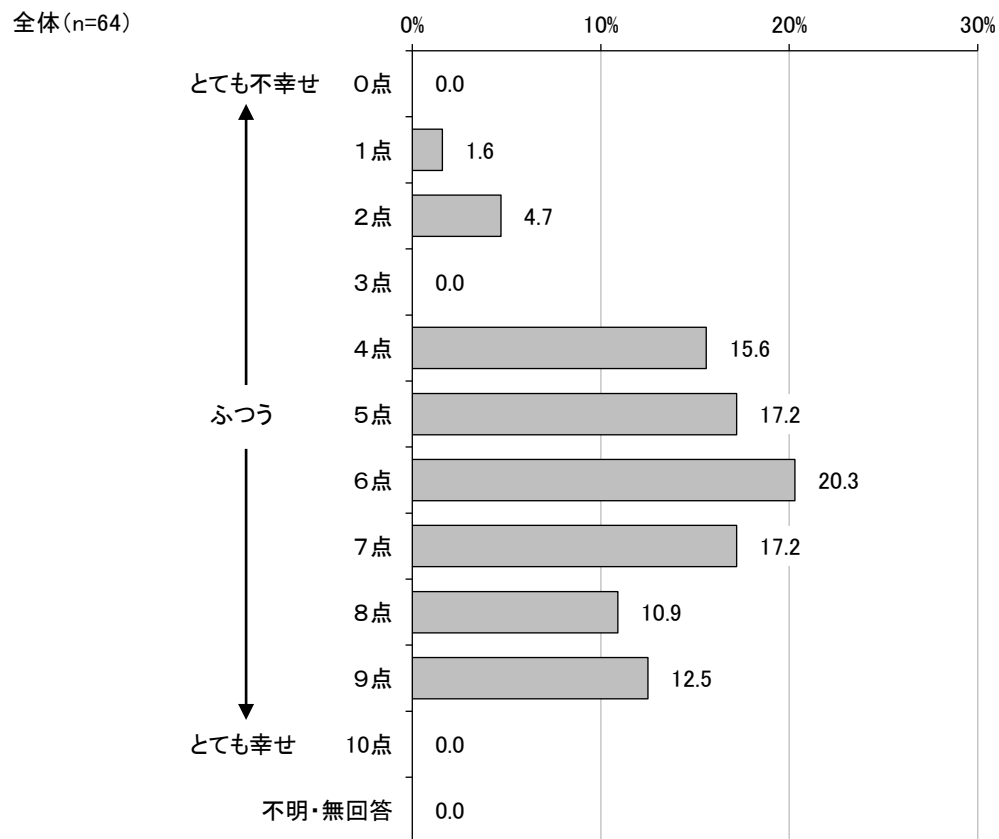
問 11 あなたは、「ウェルビーイング」という言葉を知っていますか。(1つに○)

「初めて聞いた」が89.1%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が9.4%、「意味も言葉も知っている」が1.6%となっています。



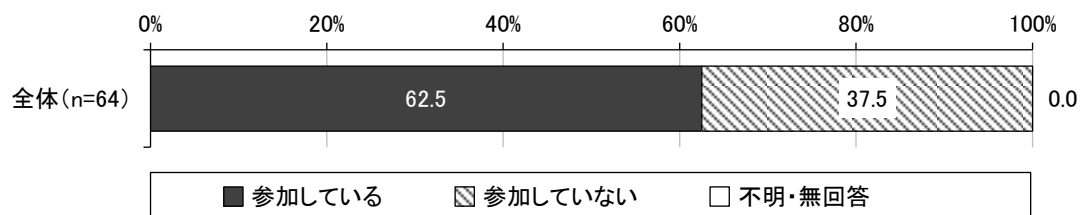
問 12 現在のあなたの幸福度はどのくらいですか。(1つに○)

「6点」が20.3%と最も多く、次いで「5点」「7点」が17.2%となっています。



問 13 あなたは現在、地域の行事やイベントに参加していますか。(1つに○)

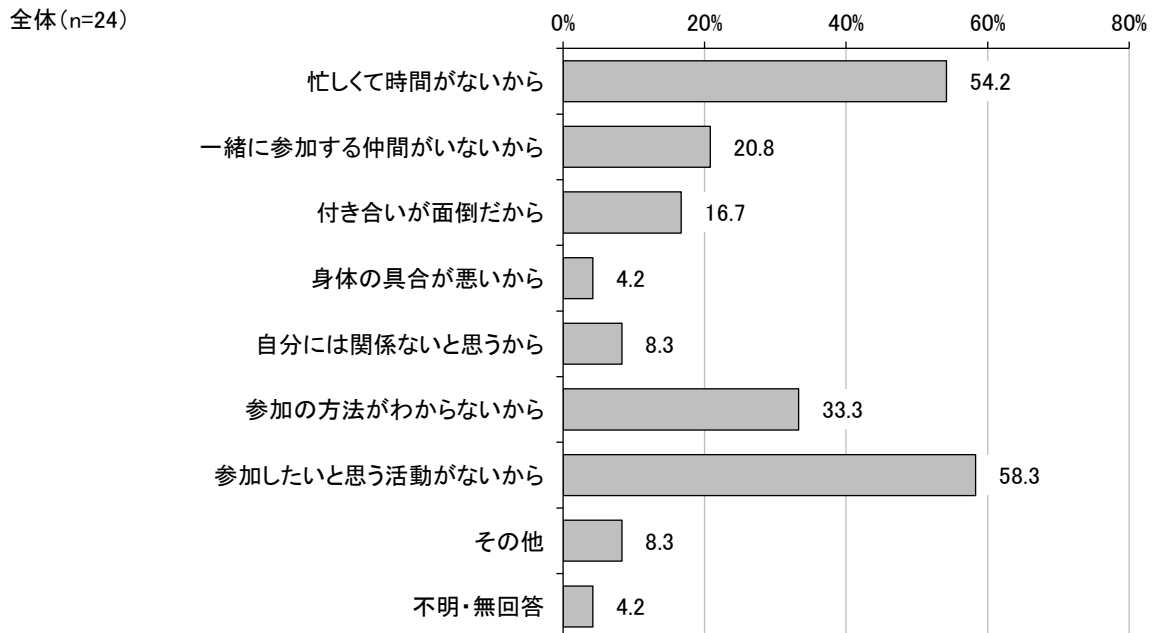
「参加している」が62.5%と、「参加していない」の37.5%を上回っています。



問13で「参加していない」と答えた方

問14 参加していない理由を教えてください。(主なもの3つまで○)

「参加したいと思う活動がないから」が58.3%と最も多く、次いで「忙しくて時間がないから」が54.2%、「参加の方法がわからないから」が33.3%となっています。

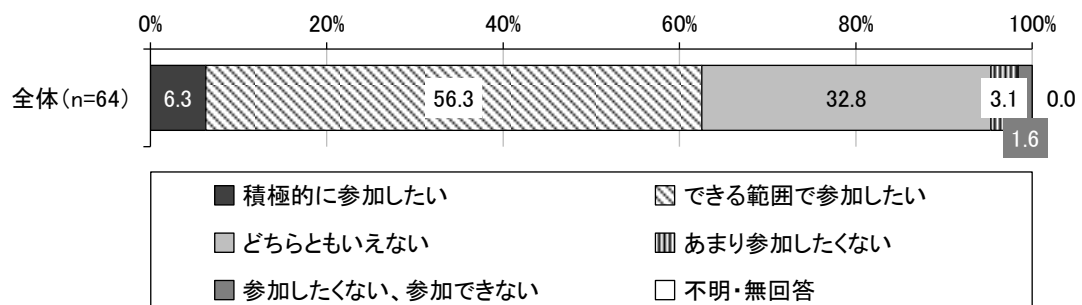


【その他回答】

- 地元の行事は参加できるが、他地域だと遠いのもあり、なかなか参加するのが難しい。
- 興味がないから

問15 あなたは、地域の行事やイベントに参加したいと思いますか。(1つに○)

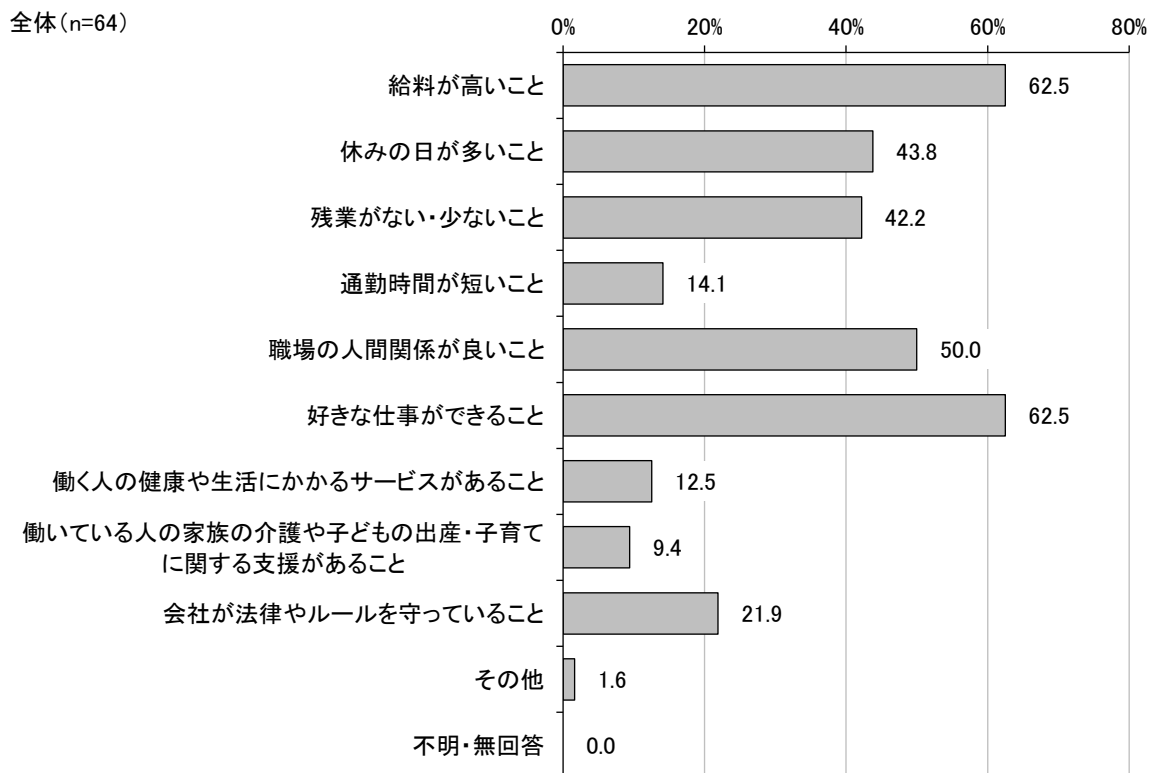
「できる範囲で参加したい」が56.3%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が32.8%、「積極的に参加したい」が6.3%となっています。



3 これからの生活について

問 16 あなたは（将来的に）働くときに何を重視しますか。（主なものを3つまで○）

「給料が高いこと」「好きな仕事ができること」が 62.5%と最も多く、次いで「職場の人間関係が良いこと」が 50.0%となっています。

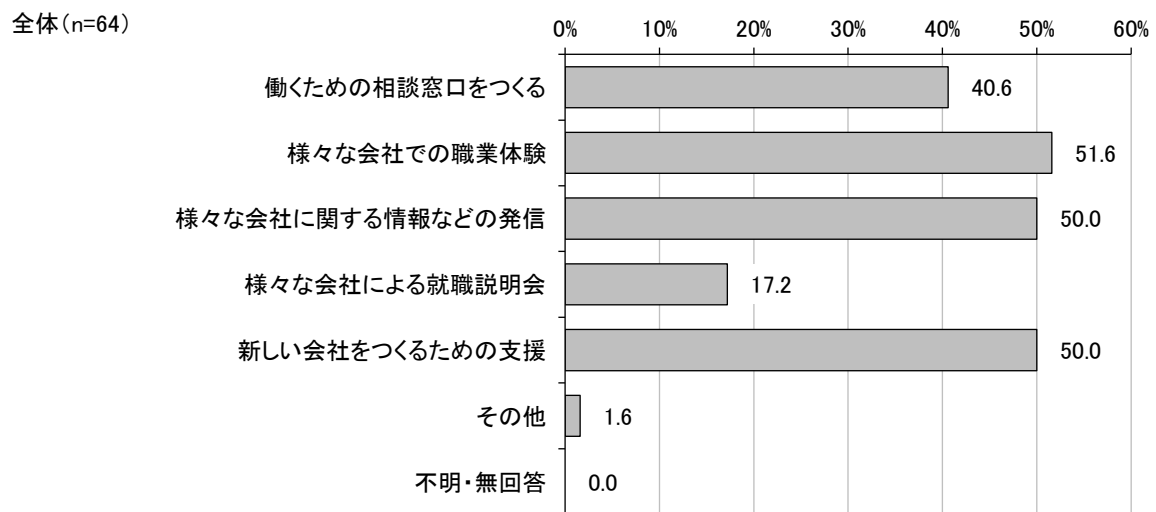


【その他回答】

- やりがいを感じられること

問 17 村内で働くために、村では何に取り組むべきだと思いますか。(主なもの3つまで○)

「様々な会社での職業体験」が 51.6%と最も多く、次いで「様々な会社に関する情報などの発信」「新しい会社をつくるための支援」が 50.0%となっています。

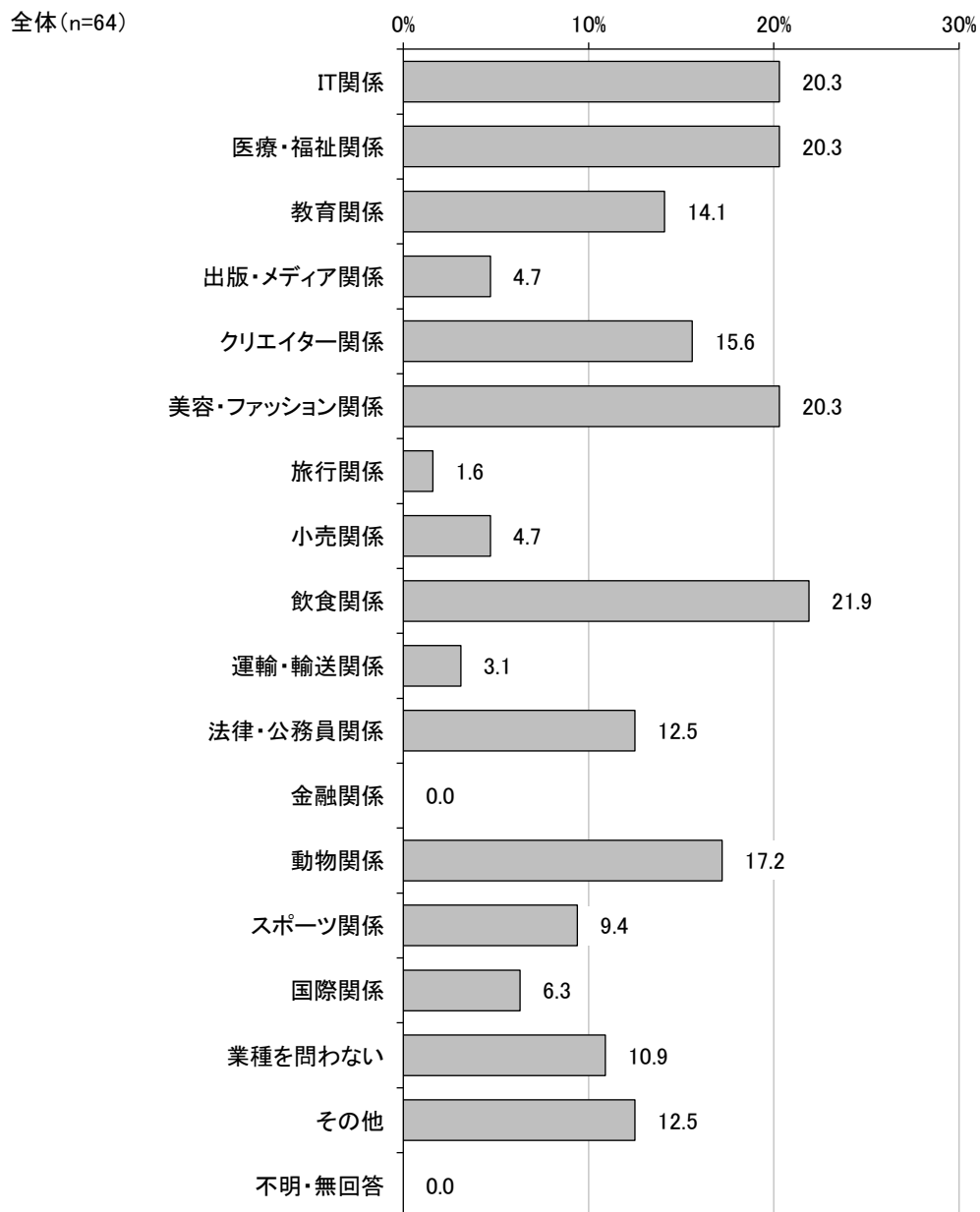


【その他回答】

- その職業がものすごく楽しい仕事だと良いと思う

問 18 将来どのような仕事に就きたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「飲食関係」が 21.9%と最も多く、次いで「IT関係」「医療・福祉関係」「美容・ファッション関係」が 20.3%となっています。

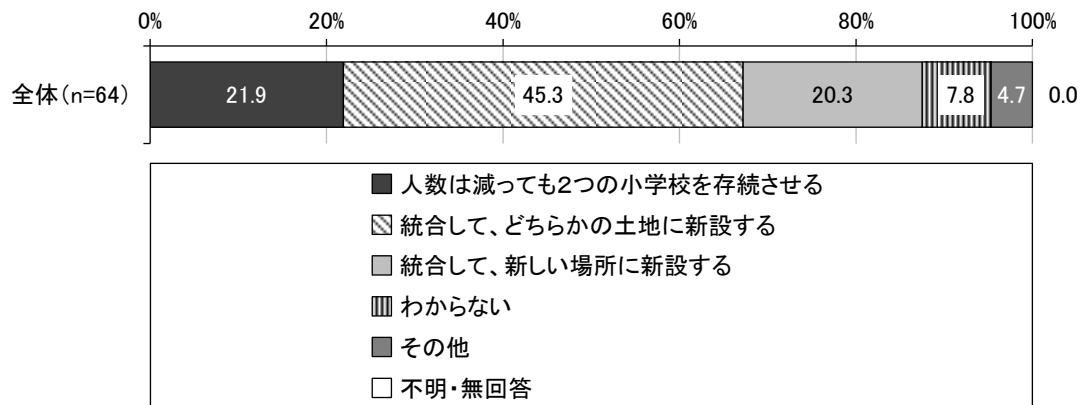


【その他回答】

- 建築関係（2件）
- 芸能関係
- 音楽関係
- 工業関係
- 宇宙飛行士
- 整体師
- まだ決まっていない。

問 19 玉川第一小学校と須釜小学校について、今後どのような方向で進めるべきだと思いますか。
(1つに○)

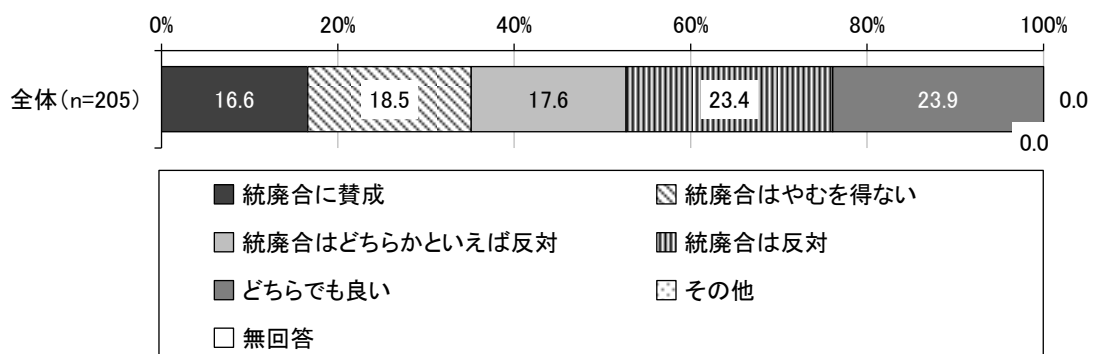
「統合して、どちらかの土地に新設する」が45.3%と最も多く、次いで「人数は減っても2つの小学校を存続させる」が21.9%、「統合して、新しい場所に新設する」が20.3%となっています。



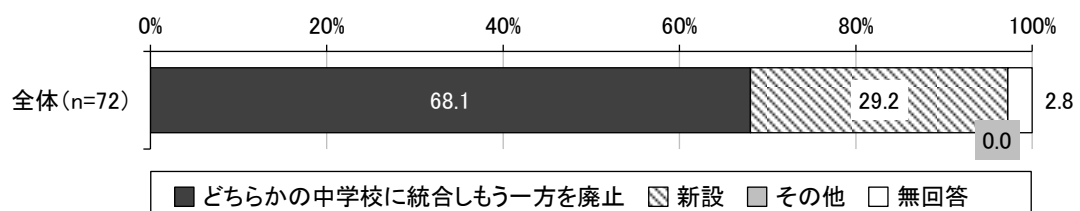
【その他回答】

- 統合してどちらかの校舎を使いつづける
- 統合し、新しいところに建設するがその学校を大きくして人を増やす
- 統合しても良いと思うが、須釜地区に作ってほしい。理由としては、中学校もこども園も土曜日の児童クラブも全て泉地区で遠い為、送迎が大変など、土曜日の児童クラブは利用しにくいなど、様々な声があがっています。また、バスも遠い為時間が早く、遅い為、泉地区の子供達と比べると、思う所が多々ある。習い事に行くのにもバスが最後の為、ギリギリだったり、間に合わないなど、不便な所も沢山ある。住みにくさを感じる時もある。

《参考》中学校の統廃合について



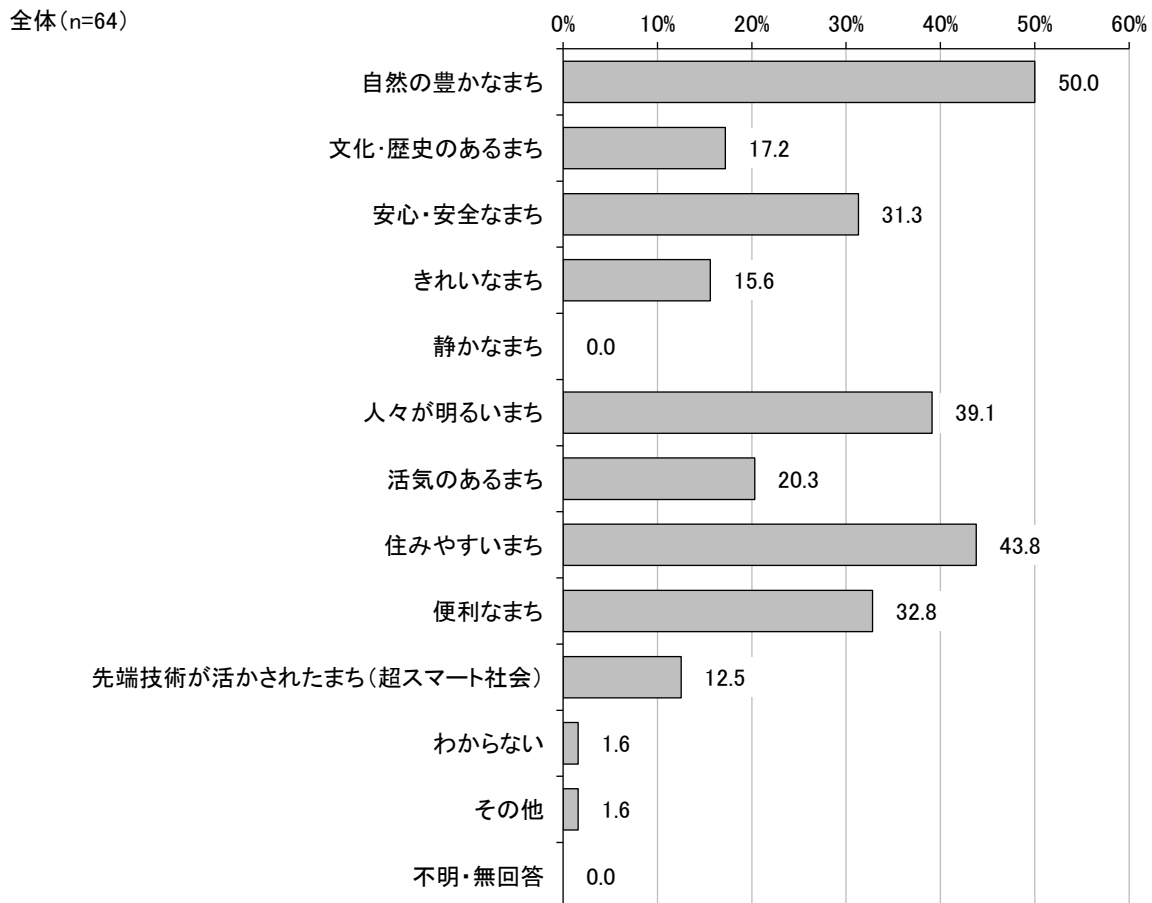
《参考》統廃合の方法について



4 将来像や今後の取り組みについて

問 20 あなたは、これからの玉川村にどのようなまちづくりを期待しますか。
(主なものを2つまで○)

「自然の豊かなまち」が50.0%と最も多く、次いで「住みやすいまち」が43.8%、「人々が明るいまち」が39.1%となっています。



【その他回答】

- お店があんまないから増やす

問 21 玉川村には自然、歴史、文化、景観、産業、場所など、数多くの魅力があります。あなたが特に魅力だと感じるものは何ですか。下の2つの枠内に具体的に記入してください。

【玉川村の魅力 その1】

魅 力	件数
自然	29
福島空港	14
乙字ヶ滝	3
さるなし	2
歴史的な建築物	2
祭りや行事が多い	2
人が優しい	1
交通の便	1
観光場所	1
クックドームたまかわ	1
須釜のラーメン屋	1

【玉川村の魅力 その2】

魅 力	件数
福島空港	10
自然	10
盆踊り	4
乙字ヶ滝	4
景観	3
歴史	3
さるなし	2
商業施設	2
人が優しい	2
人々	1
安心感	1
みんな元気	1
金比羅桜	1
お寺があるところ	1
産業	1
交通の便	1
アクセス	1
場所	1
その他	1

問 22 玉川村のまちづくりを進めるにあたって、どのようなことを大切にしたいですか。下の2つの枠内に具体的にキーワードとして記入してください。

【大切にすること その1】

大切にすること	件数
自然	8
村民の意見	5
環境保全	5
利便性	4
人とのつながり	3
安心・安全	3
若者の意見	2
村の魅力づくり	2
発展	2
中年・高齢者の住みやすさ	2
先端技術	2
教育	2
子育て	1
ユニバーサルデザイン	1
住居	1
楽しさ	1
中学生などが遊べる所	1
仕事する場所	1
むらの雰囲気を残すこと	1
無理のなく未来に続けられる	1
人作り	1

【大切にすること その2】

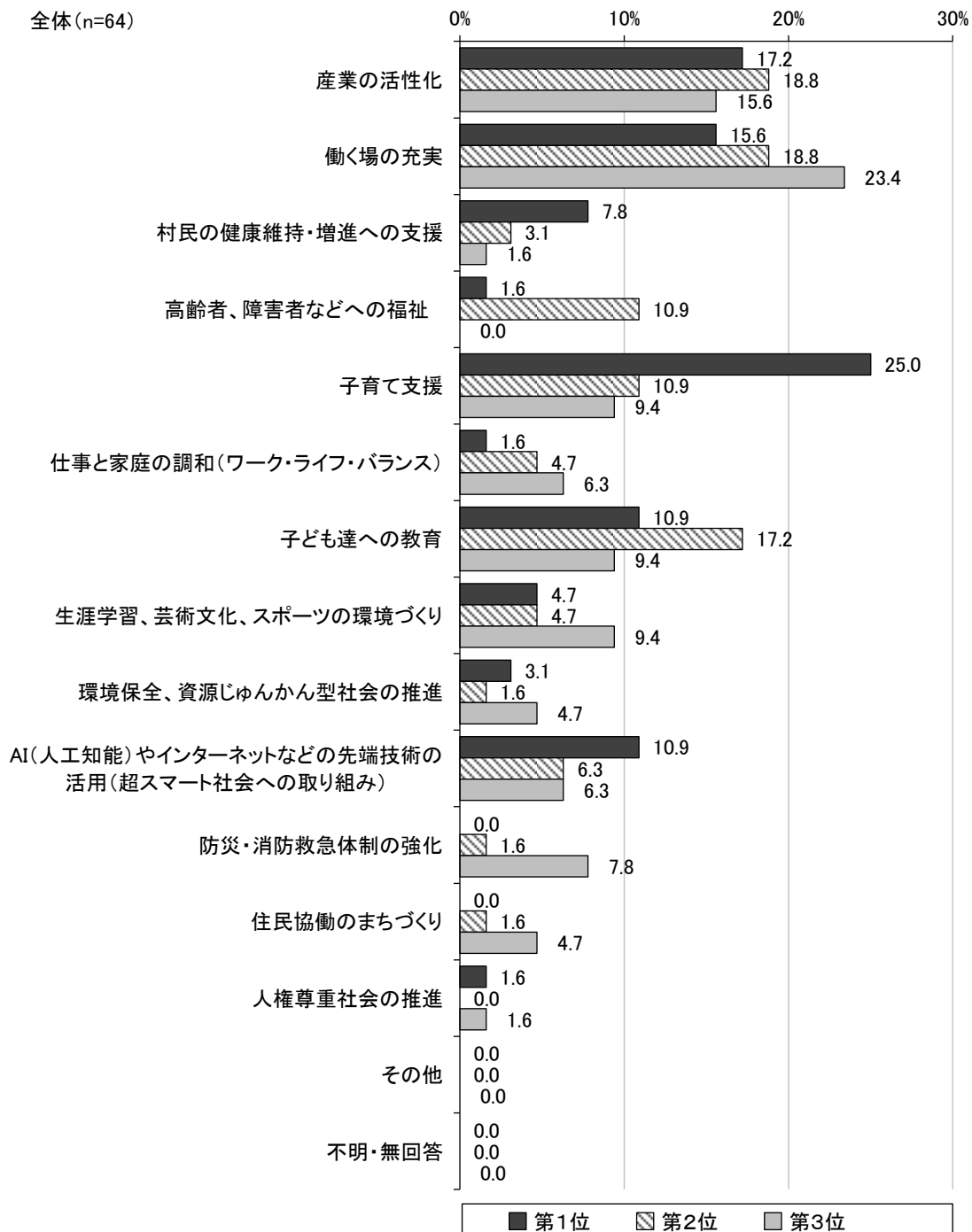
大切にすること	件数
利便性	5
環境保全	4
住みやすさ	4
村の魅力づくり	4
村民の意見	3
自然	2
人とのつながり	2
安心・安全	2
若者の意見	1
子育て	1
先端技術	1
バリアフリー	1
住居	1
楽しさ	1
いじめをなくす	1
新しい考え・行動力	1
余計なことしない	1

問 23 玉川村の発展にとってどのような取り組みが特に重要と考えますか。(数字を記入)

第1位では「子育て支援」が25.0%と最も多く、次いで「産業の活性化」が17.2%、「働く場の充実」が15.6%となっています。

第2位では「産業の活性化」「働く場の充実」が18.8%と最も多く、次いで「子ども達への教育」が17.2%となっています。

第3位では「働く場の充実」が23.4%と最も多く、次いで「産業の活性化」が15.6%、「子育て支援」「子ども達への教育」「生涯学習、芸術文化、スポーツの環境づくり」が9.4%となっています。



■玉川村のまちづくりで特に重要だと思うこと、次世代に残していきたいもの、村政に関して日頃考えている提案やアイデアなどを自由にご記入ください。

【産業・商業】

回答内容
買い物ができるところを増やしてほしい。遊べる場所がほしい。（２件）
買い物できる所を増やして欲しい
店を増やして欲しい（遊べる場所など）
お店を増やしてほしい。
ちゃんとしたスーパーを作って欲しい
百均が村内にあると便利だと思います
室内プールか、温泉施設が欲しい
先端技術

【観光・PR】

回答内容
子育て支援を増やしたり、働く場所を増やしたりして、子どもや人が集まれば、もっと活気がある村になると思う。また、自然豊かなことをもっとアピールして移住したい人が増えるようにする。
村内に人を呼び込む。そのために働く場や遊び場などを充実させる。だが、自然や歴史などを残していった方が良いと思う。
玉川は自然が豊かだけどその自然を活かせてないから自然を活かすといいと思う
外部から人（特に若者）を呼び寄せられるような発信をすること
遊び場があるまちづくり
若者が集まるかどうか
歴史を大切にしていきたい
観光地作り
乙字が滝

【子育て・教育】

回答内容
小学校で地域の育成会に入る子と入らない子がいるので、新しく玉川村に入ってきた小学生や新一年生に対して地域の育成会の連絡先一覧を渡すなど、分かりやすく丁寧に行政と地域や小学校が連携して行ってもらいたい。いまいち育成会の仕組みがわかりづらい。
空港公園は子供達にもお年寄りの方達にもいいと思うが、もう少し遊具や、健康器具的なものがあればいいのかなと思っています。
学校での行事を増やしてほしい。
学校給食のご飯をおいしくてほしい
中学２年の研修旅行は行き先を変えずに存続してほしい

【住環境・生活環境】

回答内容
産業は隣の市でも良いので、一次産業・農業を大事にして、あとはベットタウンとして発展させれば良いと思う。
利便性を活かして、玉川村の人口を増やすような取り組みをする事だと思います。
自然や住みやすさが、重要だと思います。

【環境保全】

回答内容
ポイ捨てをしない人が増えることなど
このまま自然を維持すること
自然

【防災・防犯】

回答内容
街灯を増やして欲しい。学校帰りが暗すぎて怖い人もいるし、危ない
街灯が少なく危ない

【道路・交通】

回答内容
通学しやすい歩道の整備（草などが酷く生えていて危ない）
乗合バスとかタクシーなど村民の足をしっかりしてほしい

【アンケート】

回答内容
このアンケートが子供には難しい
このアンケート難しいと思う

【その他】

回答内容
話し合って決める

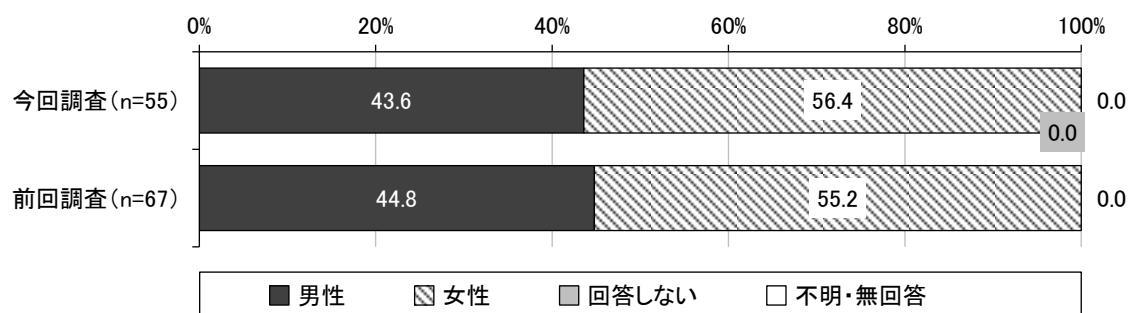
Ⅱ 高校生世代調査の結果

1 あなたご自身のことについて

問1 よろしければ、あなたの性別をお答えください。(1つに○)

「男性」が43.6%、「女性」が56.4%となっています。

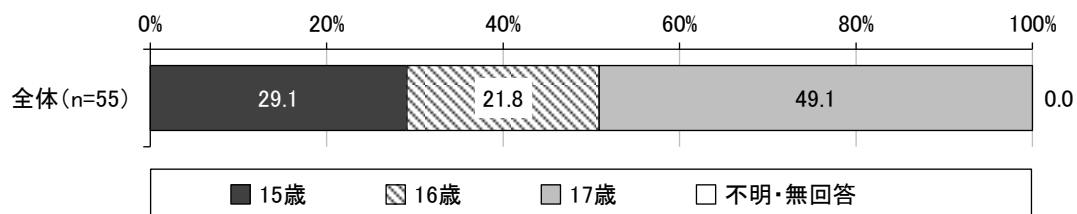
前回調査と比較すると、大きな差はありません。



※「回答しない」は今回調査のみの選択肢

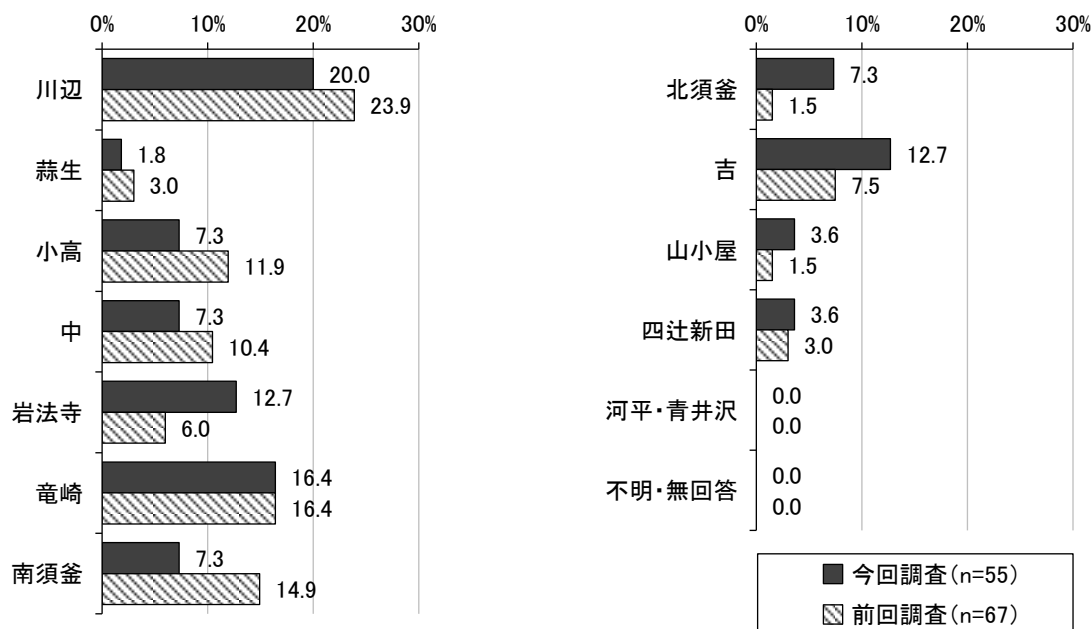
問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○、令和6年4月1日現在)

「17歳」が49.1%と最も多く、次いで「15歳」が29.1%、「16歳」が21.8%となっています。



問3 あなたが住んでいる地区をお答えください。(1つに○)

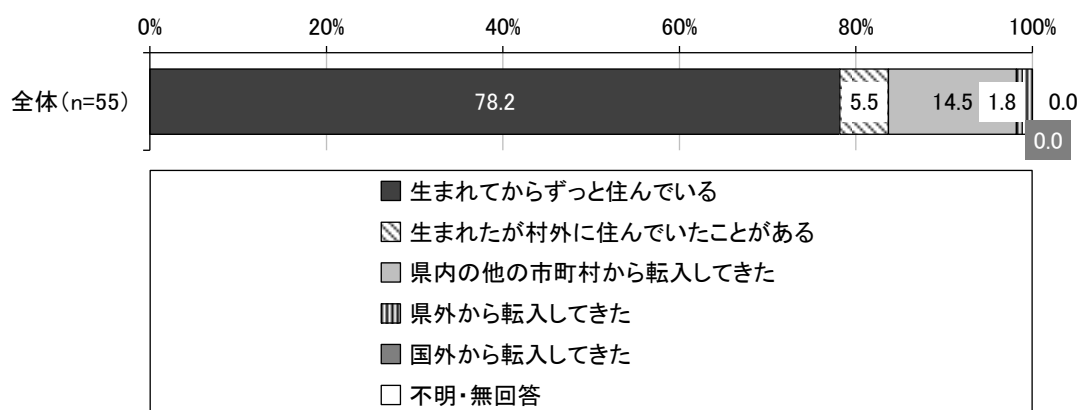
「川辺」が20.0%と最も多く、次いで「竜崎」が16.4%、「岩法寺」「吉」が12.7%となっています。
 前回調査と比較すると、「岩法寺」が6.7ポイント、「北須釜」が5.8ポイント、「吉」が5.2ポイント増加し、「南須釜」が7.6ポイント減少しています。



※今回調査の「山小屋」「河平・青井沢」は、前回調査では「山小屋・河平」「青井沢」

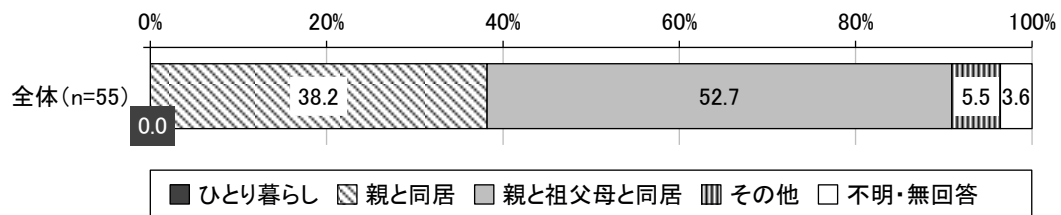
問4 あなたの玉川村での居住歴をお答えください。(1つに○)

「生まれてからずっと住んでいる」が78.2%と最も多く、次いで「県内の他の市町村から転入してきた」が14.5%、「生まれたが村外に住んでいたことがある」が5.5%となっています。



問5 あなたの家族（同居者）構成をお答えください。（1つに○）

「親と祖父母と同居」が52.7%と最も多く、次いで「親と同居」が38.2%となっています。



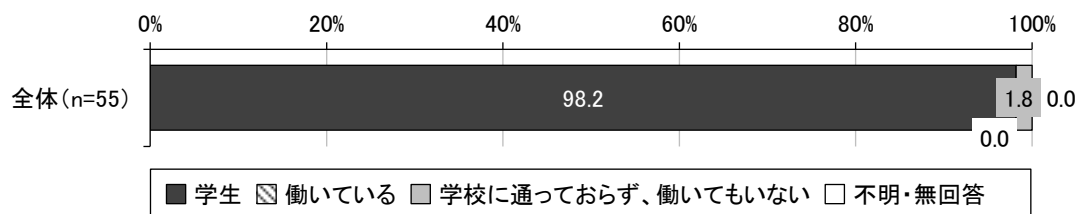
【その他回答】

- 親と姉と同居
- 施設
- 親、祖父母、妹
- 親と妹と同居

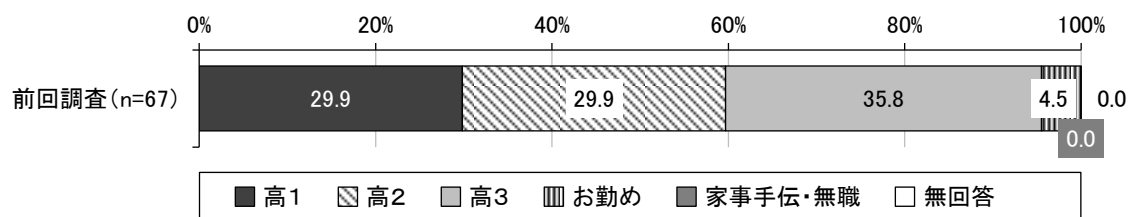
問6 あなたの今の状況にあてはまるものをお答えください。（1つに○）

育児や介護、病気などで一時的に休業中の場合は、現在働いているものとして回答してください。

「学生」が98.2%と最も多く、次いで「学校に通っておらず、働いてもいない」が1.8%となっています。



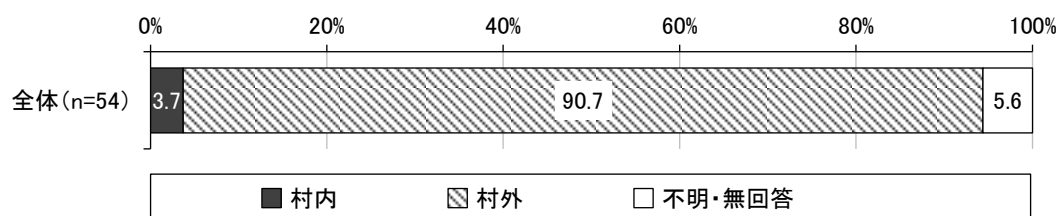
《参考》学年等



問6で「学生」「働いている」と答えた方

問7 あなたが主に働いている会社、または通学している学校の所在地をお答えください。
(1つに○)

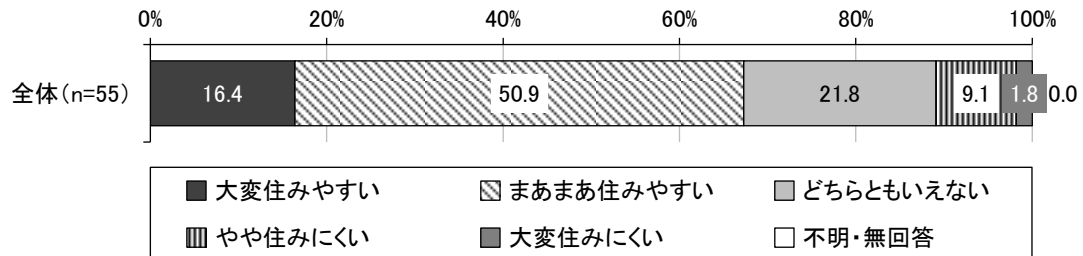
「村内」が3.7%、「村外」が90.7%となっています。



2 住み心地や定住意向について

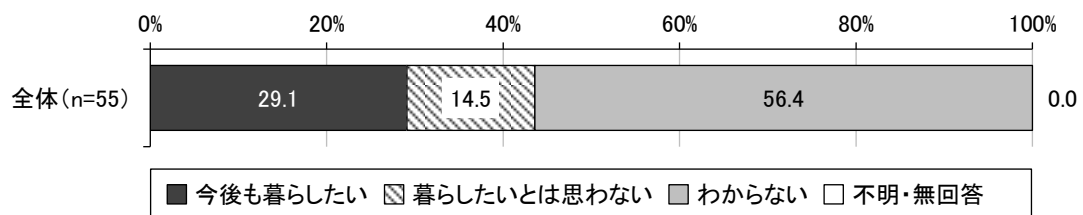
問8 あなたにとって、玉川村の住み心地はいかがですか。(1つに○)

「まあまあ住みやすい」が50.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が21.8%、「大変住みやすい」が16.4%となっています。

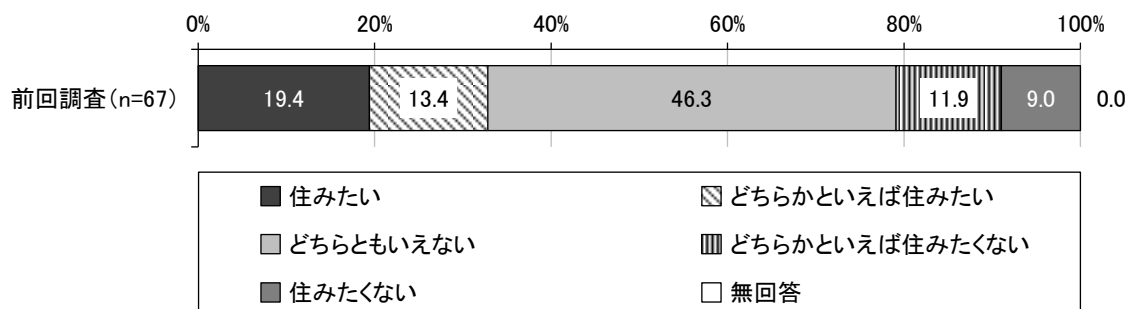


問9 あなたは、今後も玉川村で住み続けたいですか。(1つに○)

「わからない」が56.4%と最も多く、次いで「今後も暮らしたい」が29.1%、「暮らしたいとは思わない」が14.5%となっています。



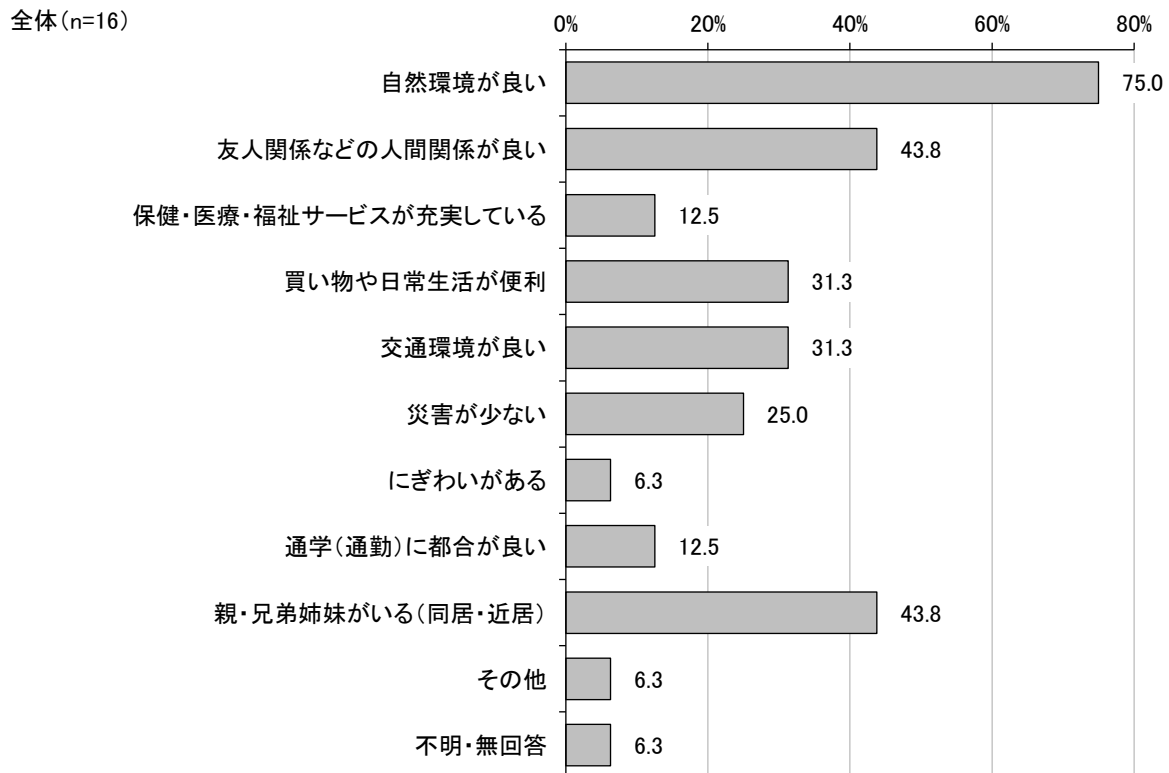
《参考》今後の定住意向について



問9で「今後も暮らしたい」と答えた方

問10 あなたが住み続けたいと思う理由を教えてください。(主なもの3つまで○)

「自然環境が良い」が75.0%と最も多く、次いで「友人関係などの人間関係が良い」「親・兄弟姉妹がいる(同居・近居)」が43.8%となっています。



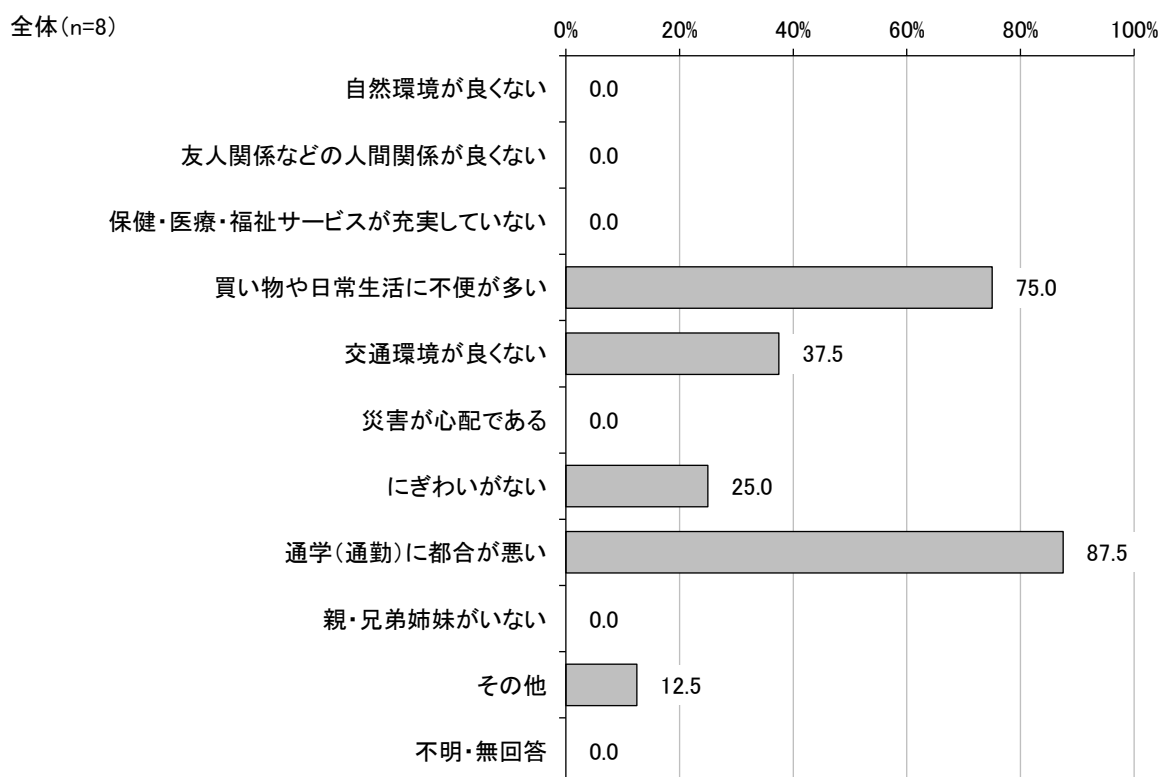
【その他回答】

●家があるから

問9で「暮らしたいとは思わない」と答えた方

問11 あなたが住み続けたくないと思う理由を教えてください。(主なもの3つまで○)

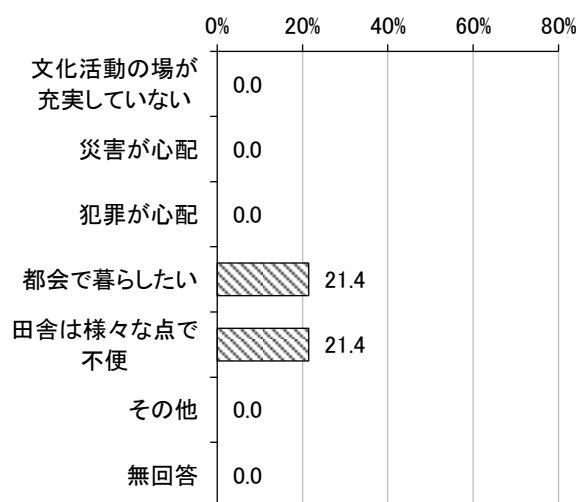
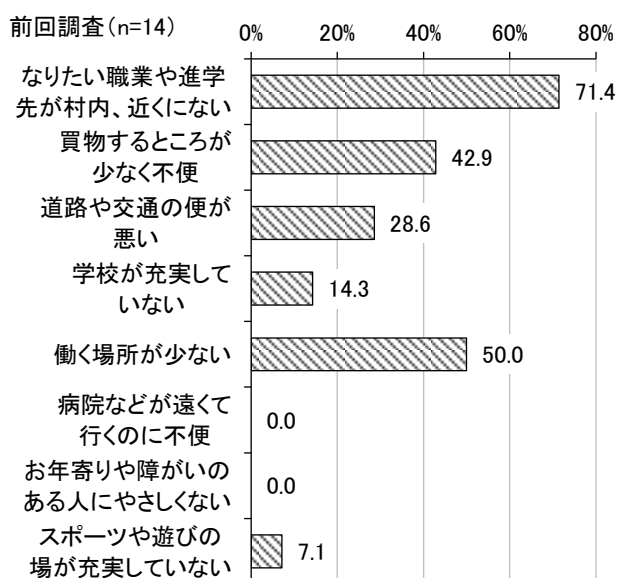
「通学(通勤)に都合が悪い」が87.5%(7件)と最も多く、次いで「買い物や日常生活に不便が多い」が75.0%(6件)、「交通環境が良くない」が37.5%(3件)となっています。



【その他回答】

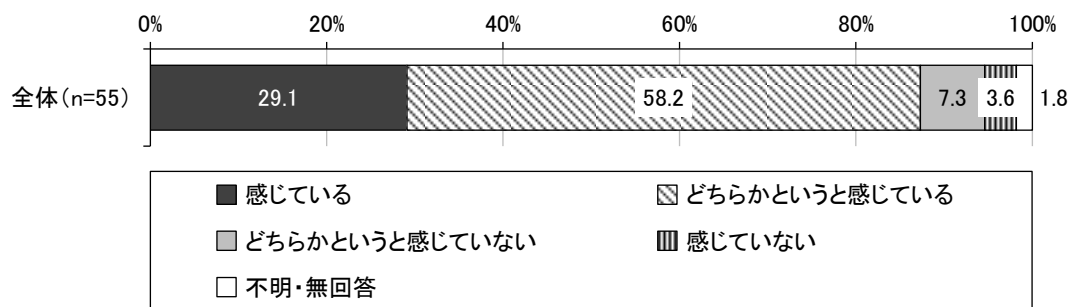
●進学

《参考》住みたくない理由

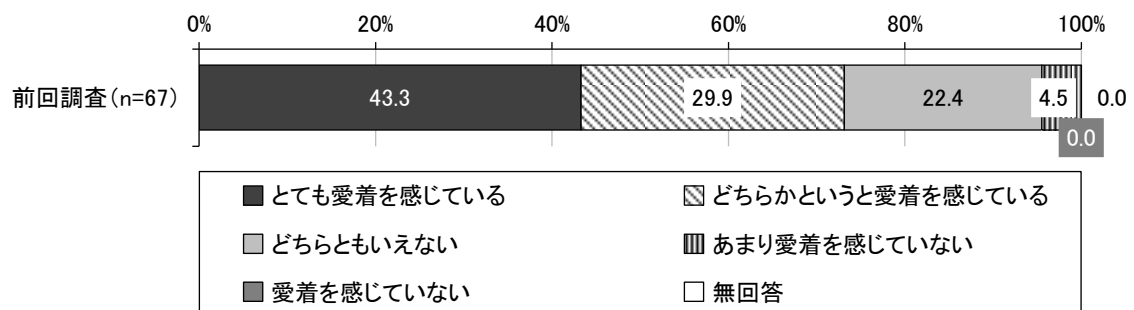


問 12 玉川村へ愛着や誇りを感じていますか。(1つに○)

「どちらかというと感じている」が58.2%と最も多く、次いで「感じている」が29.1%、「どちらかというと感じていない」が7.3%となっています。

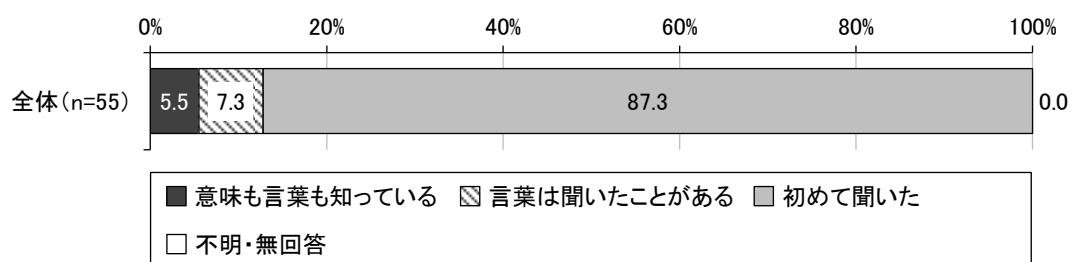


《参考》村への愛着度について



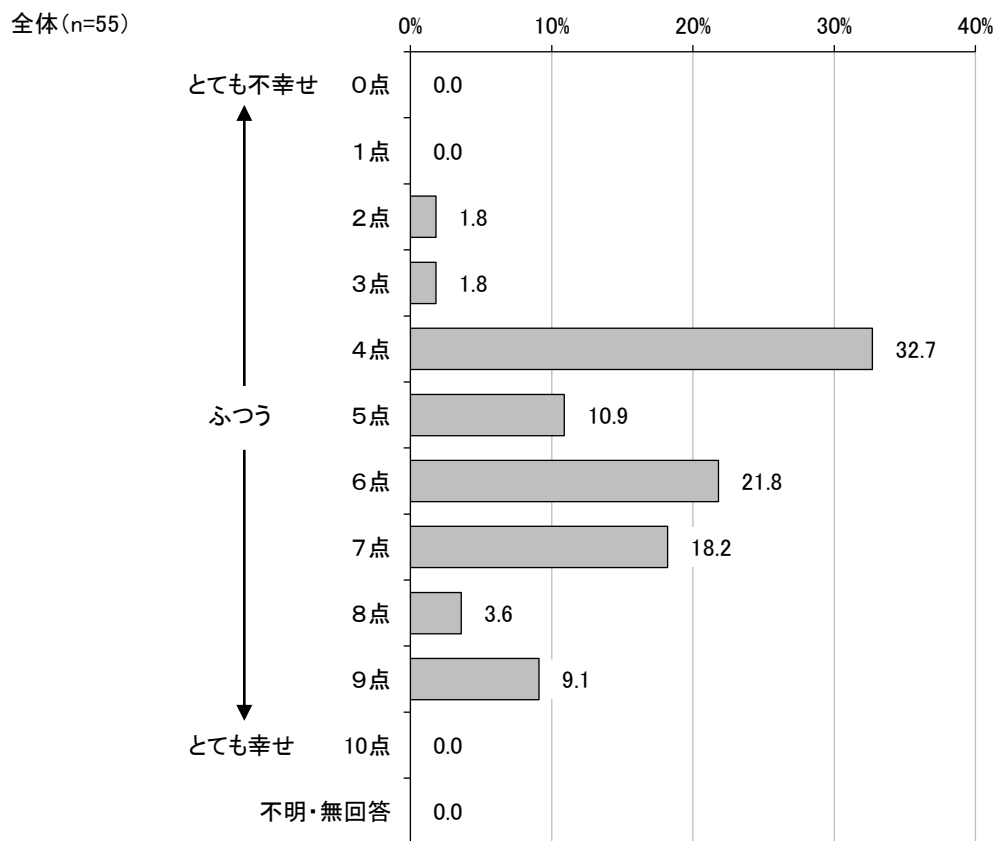
問 13 あなたは、「ウェルビーイング」という言葉を知っていますか。(1つに○)

「初めて聞いた」が87.3%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が7.3%、「意味も言葉も知っている」が5.5%となっています。



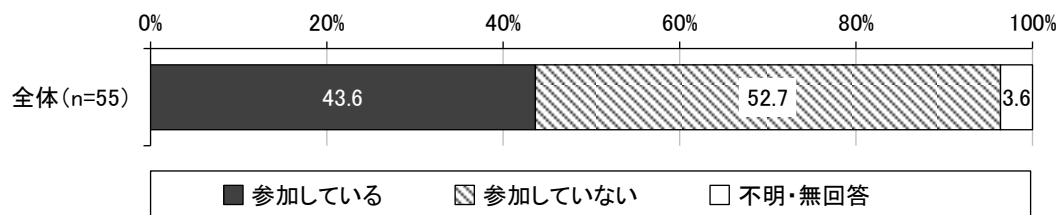
問 14 現在のあなたの幸福度はどのくらいですか。(1つに○)

「4点」が32.7%と最も多く、次いで「6点」が21.8%、「7点」が18.2%となっています。



問 15 あなたは現在、地域の行事やイベントに参加していますか。(1つに○)

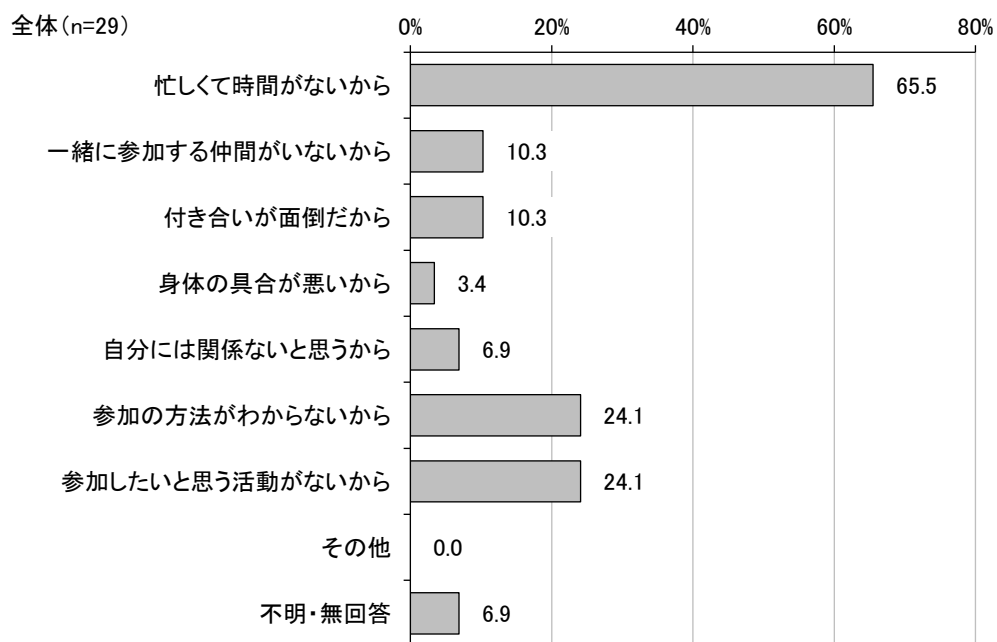
「参加している」が43.6%、「参加していない」が52.7%となっています。



問 15 で「参加していない」と答えた方

問 16 参加していない理由を教えてください。(主なもの3つまで○)

「忙しくて時間がないから」が 65.5%と最も多く、次いで「参加の方法がわからないから」「参加したいと思う活動がないから」が 24.1%となっています。

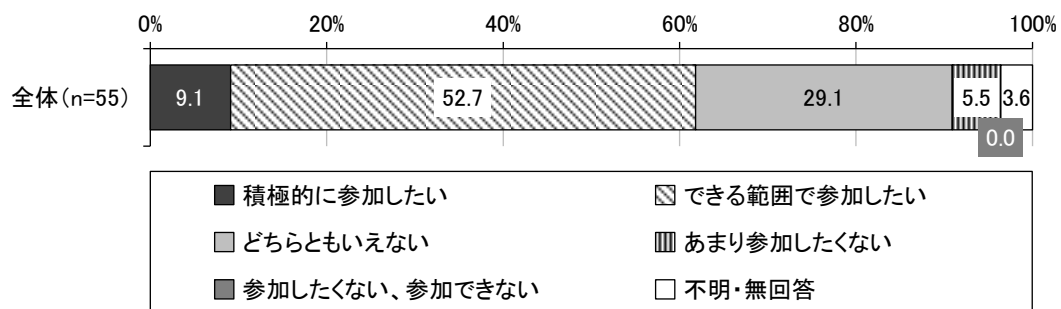


【その他回答】

- どこでやっているのか分からないから

問 17 あなたは、地域の行事やイベントに参加したいと思いますか。(1つに○)

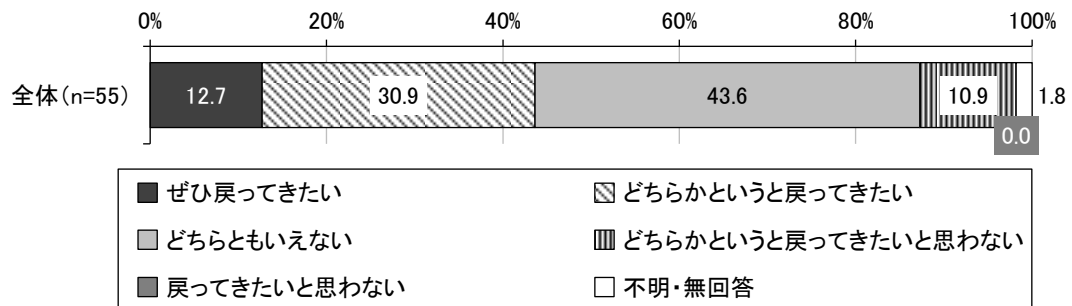
「できる範囲で参加したい」が 52.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 29.1%、「積極的に参加したい」が 9.1%となっています。



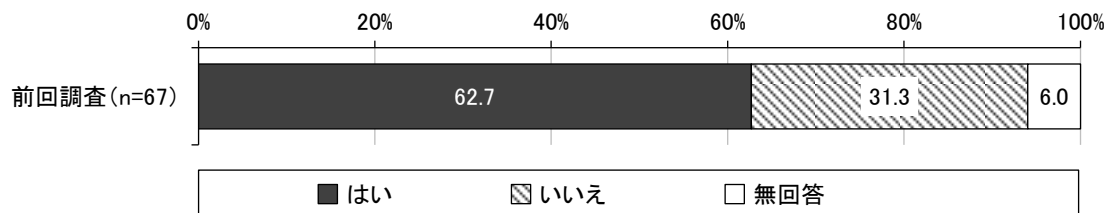
3 これからの生活について

問 18 今後、進学や就職で村外に移住した場合、村内に戻ってきたいと思いますか。(1つに○)

「どちらともいえない」が43.6%と最も多く、次いで「どちらかというに戻ってきたい」が30.9%、「ぜひ戻ってきたい」が12.7%となっています。

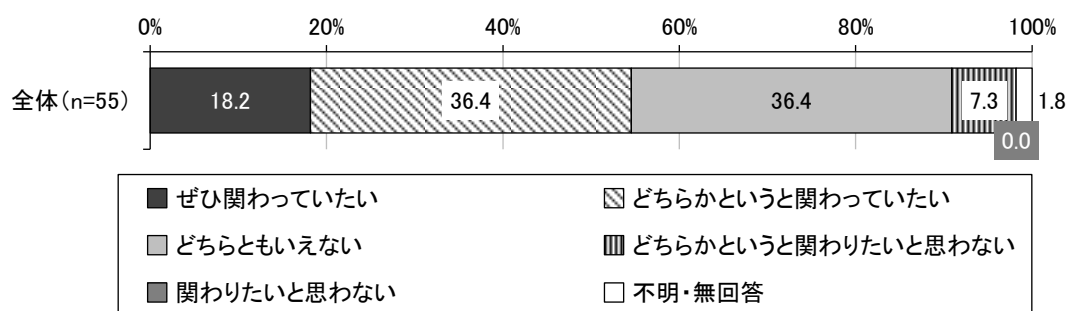


《参考》村への居住・帰村希望について



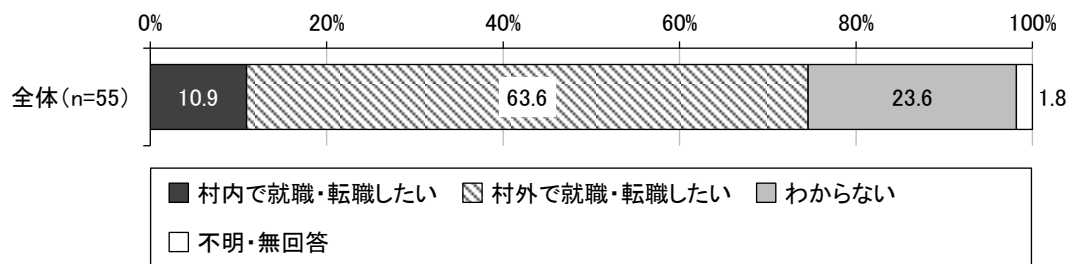
問 19 もし村外に移り住んだとしても、玉川村と関わりたいですか。(1つに○)

「どちらかというに関わっていたい」「どちらともいえない」が36.4%と最も多く、次いで「ぜひ関わっていたい」が18.2%となっています。



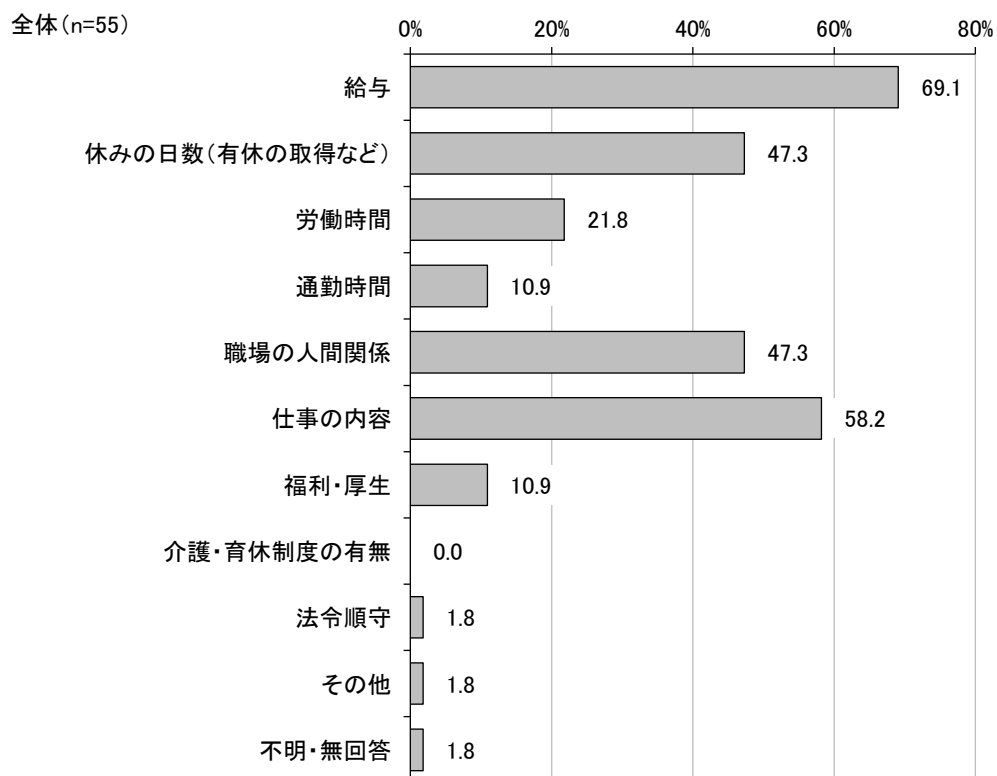
問 20 あなたは今後、職に就く、もしくは転職する場合、どこで働きたいですか。(1つに○)

「村外で就職・転職したい」が63.6%と最も多く、次いで「わからない」が23.6%、「村内で就職・転職したい」が10.9%となっています。



問 21 あなたは（将来的に）仕事を選択する上で何を重視しますか。(主なもの3つまで○)

「給与」が69.1%と最も多く、次いで「仕事の内容」が58.2%、「休みの日数（有休の取得など）」「職場の人間関係」が47.3%となっています。

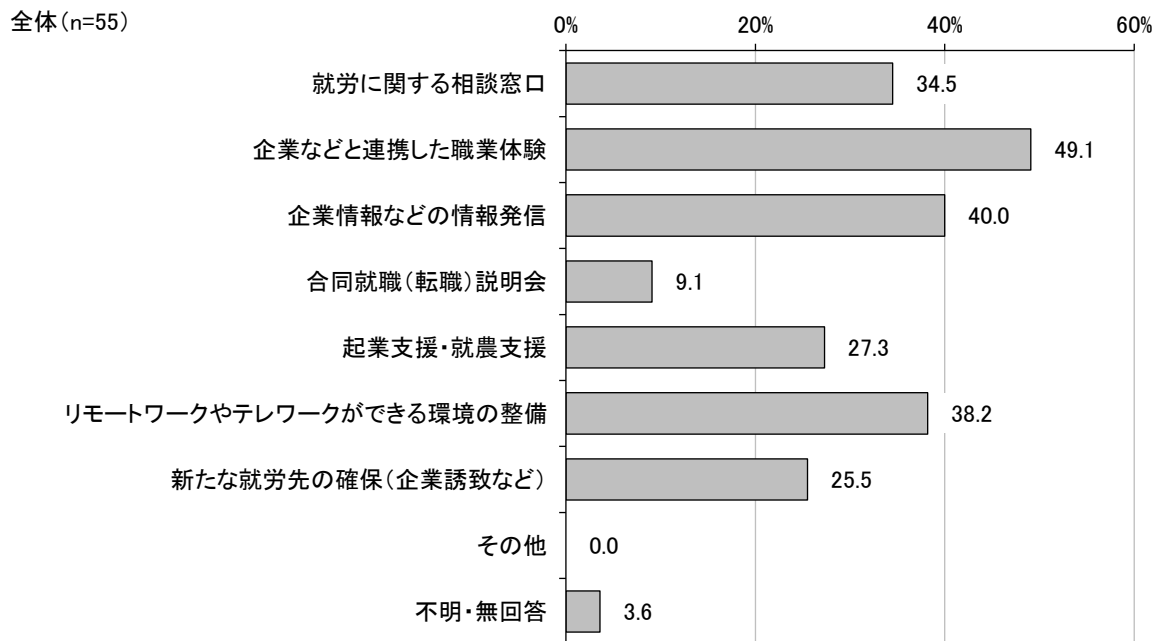


【その他回答】

- 自分が楽しいと思えるもの

問 22 村内での就労のために、村では何に取り組むべきだと思いますか。(主なもの3つまで○)

「企業などと連携した職業体験」が49.1%と最も多く、次いで「企業情報などの情報発信」が40.0%、「リモートワークやテレワークができる環境の整備」が38.2%となっています。

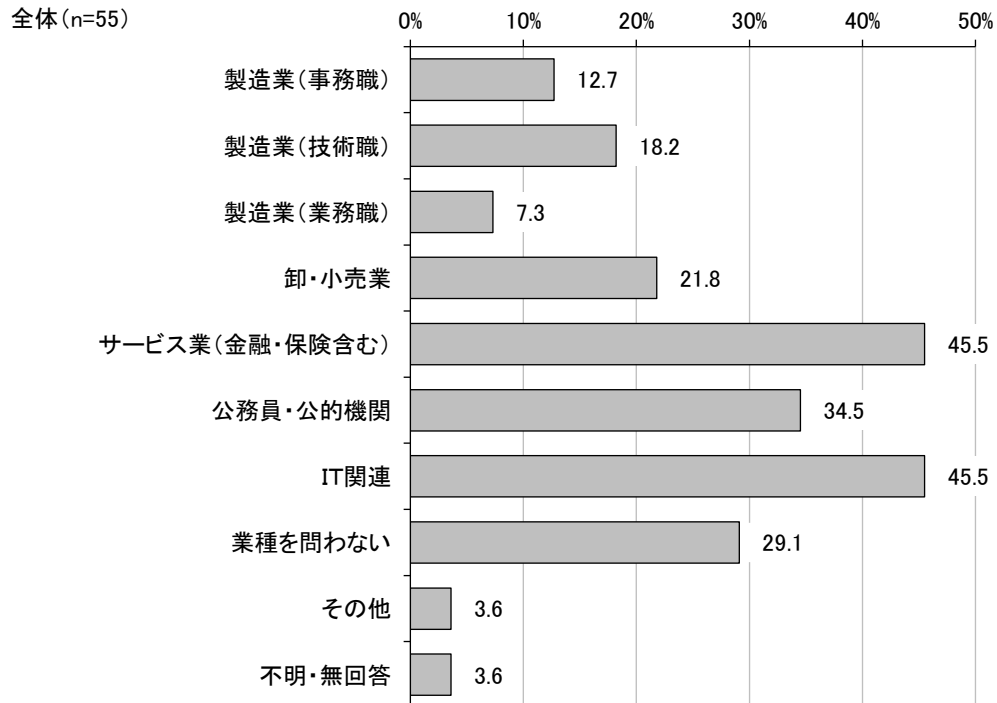


【その他回答】

●分からない

問 23 若者のUターン、Iターンを増やすためには、どのような仕事があればよいと思いますか。
(主なもの3つまで○)

「サービス業（金融・保険含む）」「IT関連」が45.5%と最も多く、次いで「公務員・公的機関」が34.5%となっています。



【その他回答】

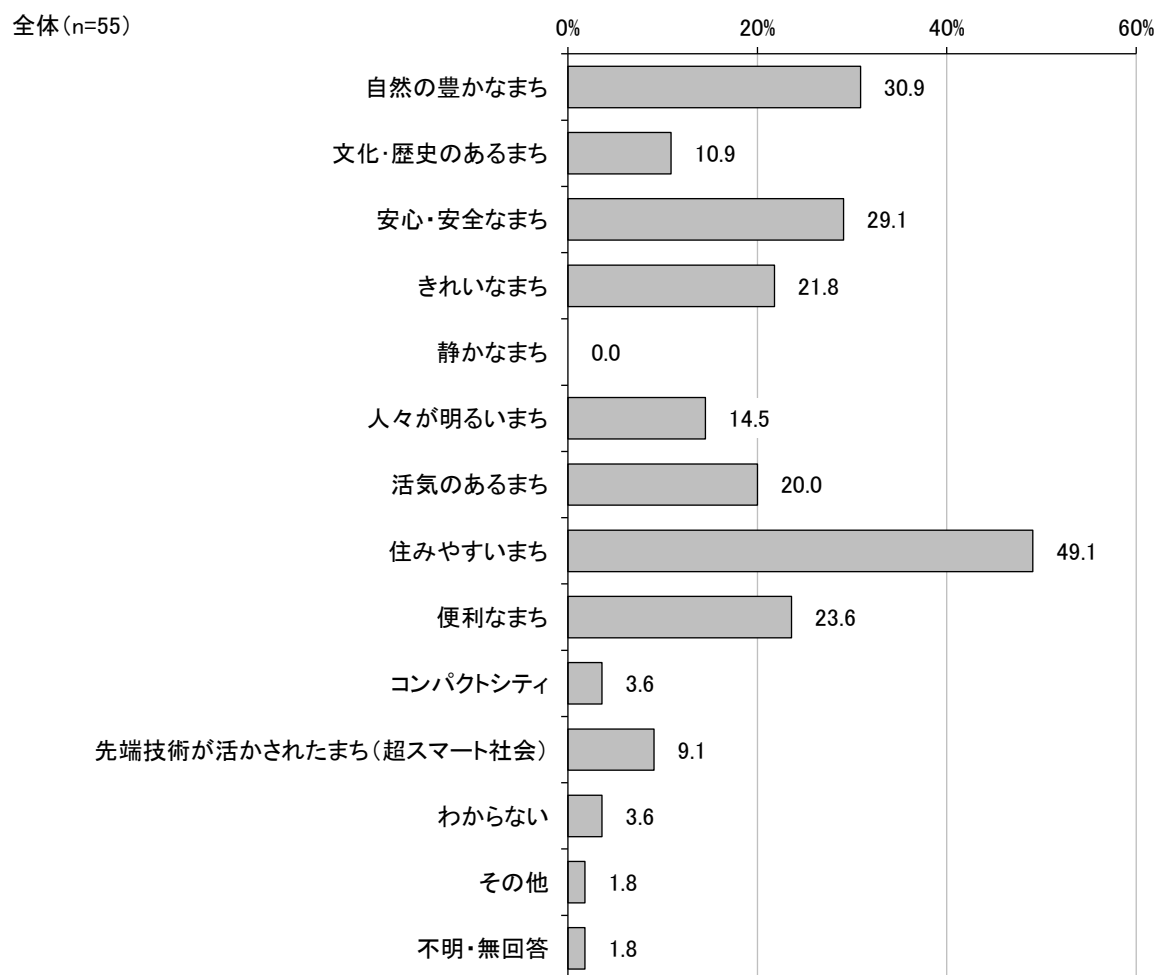
- さるなし
- 分からない

4 将来像や今後の取り組みについて

問 24 あなたは、これからの玉川村にどのようなまちづくりを期待しますか。

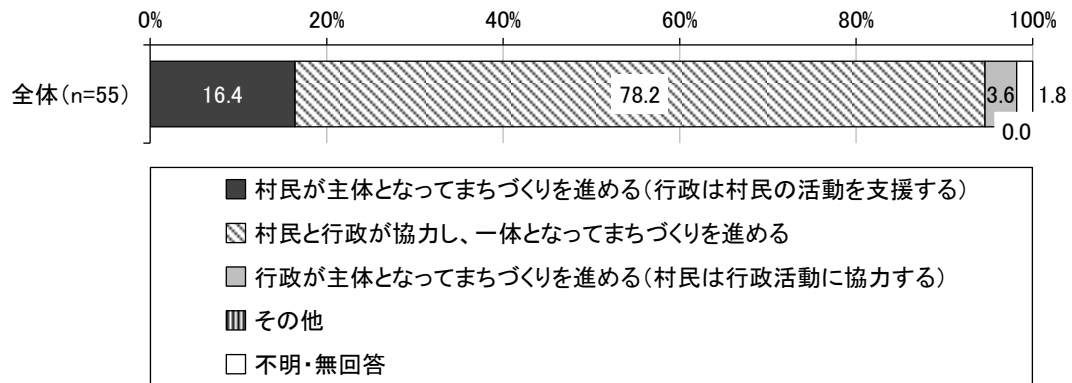
(主なものを2つまで○)

「住みやすいまち」が49.1%と最も多く、次いで「自然の豊かなまち」が30.9%、「安心・安全なまち」が29.1%となっています。



問 25 あなたは、これからのまちづくりの進め方についてどのように考えますか。(1つに○)

「村民と行政が協力し、一体となってまちづくりを進める」が 78.2%と最も多く、次いで「村民が主体となってまちづくりを進める(行政は村民の活動を支援する)」が 16.4%、「行政が主体となってまちづくりを進める(村民は行政活動に協力する)」が 3.6%となっています。



問 26 玉川村には自然、歴史、文化、景観、産業、場所など、数多くの魅力があります。あなたが特に魅力だと感じるものは何ですか。下の2つの枠内に具体的に記入してください。

【玉川村の魅力 その1】

魅 力	件数
自然	23
福島空港	5
さるなし	5
乙字ヶ滝	3
人がら	1
景観	1
特産品	1
その他	5

【玉川村の魅力 その2】

魅 力	件数
福島空港	9
自然	6
景観	6
人がら	3
産業	3
さるなし	2
乙字ヶ滝	2
交通機関	2
道の駅	2
特産品	1
その他	7

問 27 玉川村のまちづくりを進めるにあたって、どのようなことを大切にしたいですか。下の2つの枠内に具体的にキーワードとして記入してください。

【大切にすること その1】

大切にすること	件数
自然	10
村民の意見	8
人とのつながり（コミュニティ）	6
施策	6
利便性	4
安心・安全	3
福島空港	1
その他	5

【大切にすること その2】

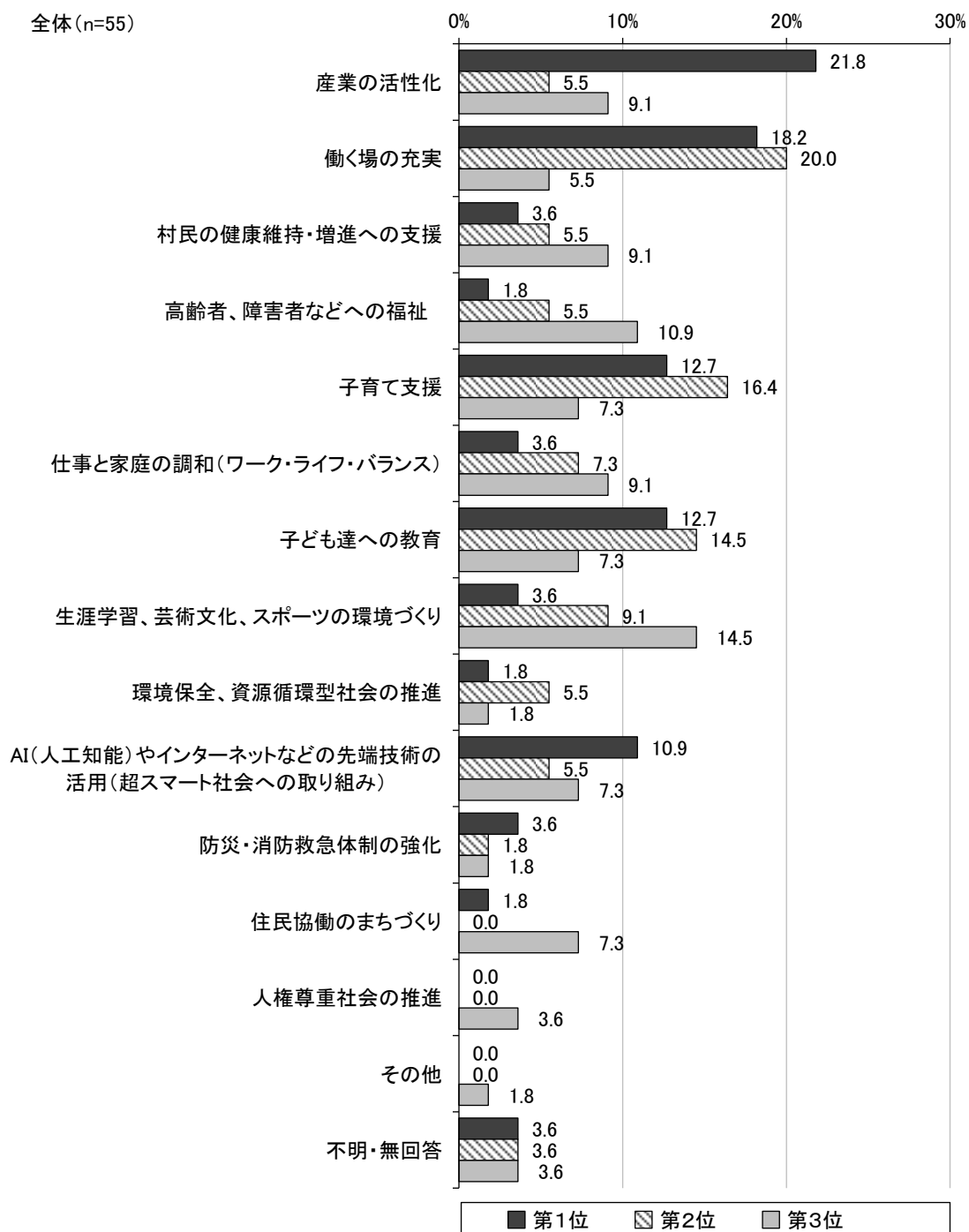
大切にすること	件数
村民の意見	8
自然	6
利便性	6
人とのつながり（コミュニティ）	3
活気のあるまち	2
イベント・行事	2
福島空港	1
安心・安全	1
その他	9

問 28 玉川村の発展にとってどのような取り組みが特に重要と考えますか。下表から3つまで選んでください。(数字を記入)

第1位では「産業の活化」が 21.8%と最も多く、次いで「働く場の充実」が 18.2%、「子育て支援」「子ども達への教育」が 12.7%となっています。

第2位では「働く場の充実」が 20.0%と最も多く、次いで「子育て支援」が 16.4%、「子ども達への教育」が 14.5%となっています。

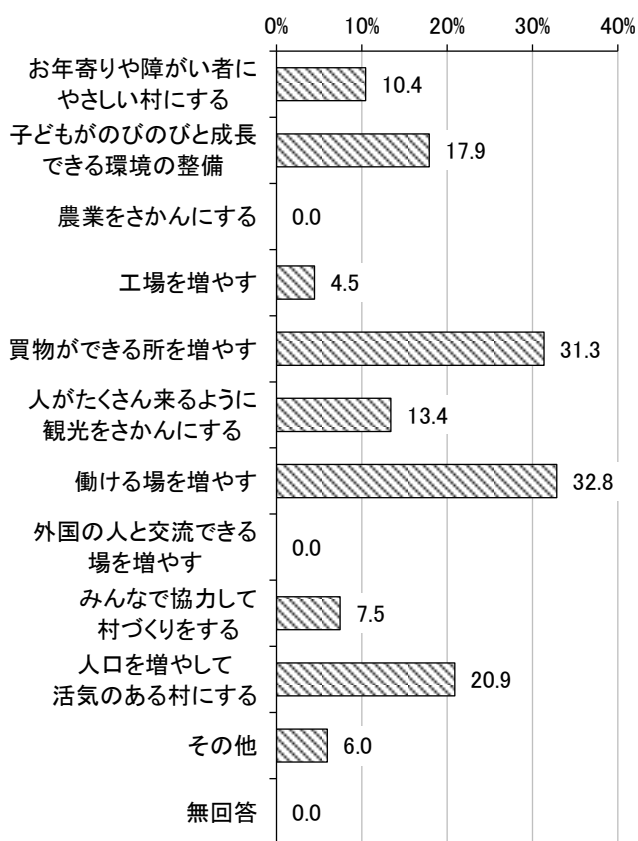
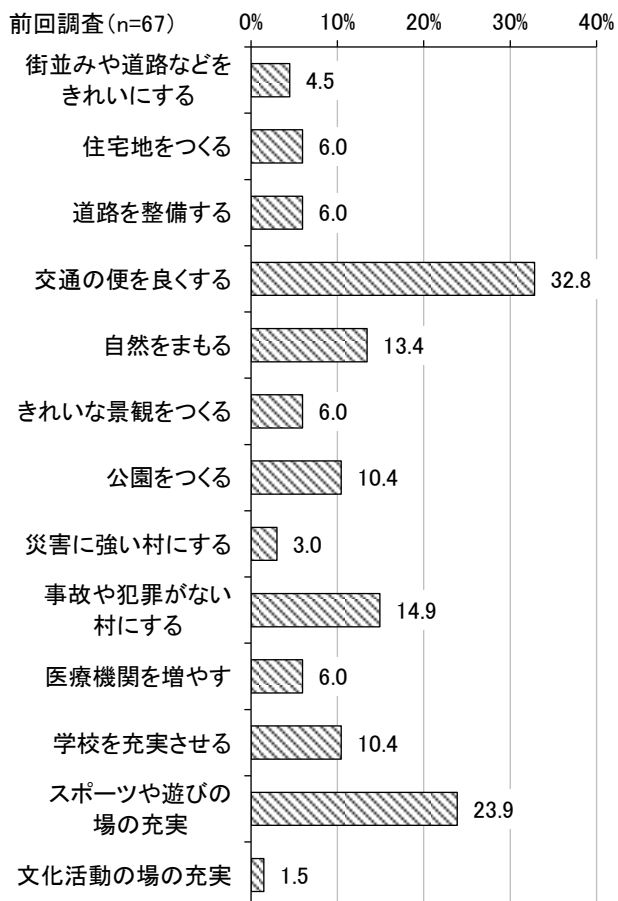
第3位では「生涯学習、芸術文化、スポーツの環境づくり」が 14.5%と最も多く、次いで「高齢者、障害者などへの福祉」が 10.9%、「産業の活性化」「村民の健康維持・増進への支援」「仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）」が 9.1%となっています。



【その他回答】

- 現在、高校は村外にあり、高校生は皆、電車、バス等交通費が非常にかかってしまい、各家庭の負担が大きい。それを支援する制度など頂きたい。

《参考》今後の村づくりで力を入れるところ



■玉川村のまちづくりで特に重要だと思うこと、次世代に残していきたいもの、村政に関して日頃考えている提案やアイデアなどを自由にご記入ください。

【産業・商業】

回答内容
空港の周辺がとてもさびしい。空港を中心に発展させてほしい。
村外で働く人が住みやすいと思えるまち。現状、村外で働く人の方が多いと感じるから。まちの活性化というよりは村民を守る形でまちづくりに取り組んでいただきたい。
アクセスしやすい場所に観光スポットを作ること。

【防災・防犯】

回答内容
安全のために街灯を増やす。遊べる所を増やしてほしい。

【子育て・教育】

回答内容
中高生の人々が育成会に参加できるようにする

【道路・交通】

回答内容
コミュニティバスのようなものが欲しい(免許ない人、若者、年寄りなど)⇒交通事故を減らす
駅をよく使うのもっと綺麗にして欲しいです。

【住環境・生活環境】

回答内容
本屋・図書館等の施設が欲しい。
ショッピングモールとか作った方が人が集まると思う。道路沿いの草刈りした方がいいと思う。
日常で使うお店などを増やして欲しい
イオンモールを作ること
公園に大型の遊具を設置する(トランポリン、ローラー滑り台など)
玉川村にいて生活用品が揃うと有効的である為メイク用品や生活必需品の種類が豊富になることやお店の種類の充実が必要だと思う。

【環境保全】

回答内容
自然や伝統行事を潰さずに発展させていくこと

【行政】

回答内容
事業を行なう時、村民の声をもっと聴いてほしい。小さな村に対し、ハコものが多すぎる。
村の人の意見を取り入れる
若い世代の声をさらに取り入れること

【その他】

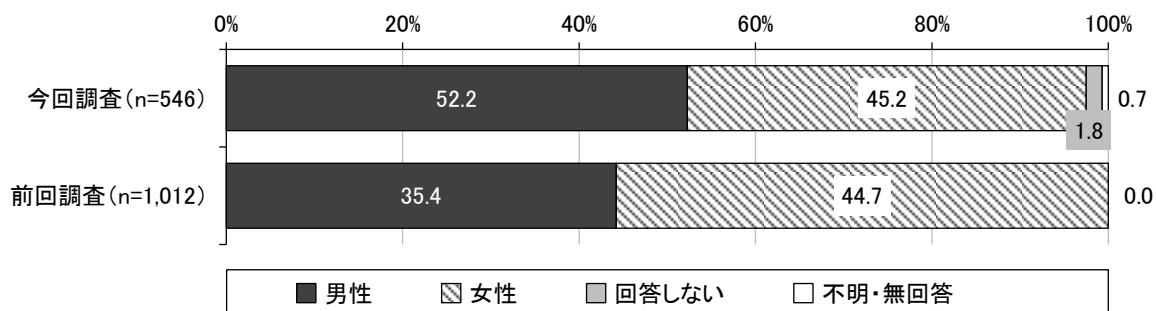
回答内容
若者が集まれるような施設を作る。老人ホームなどに行っていない高齢者も気楽に集まって話ができる施設を作る⇒集まりやすい所に
もっと便利さを増やす
それぞれの地域での集まりで若い人が減っていて、行事があまりないから、若い人達が増えてイベントが増えたらいいなと思いました。
クックちゃん可愛いけど正直、古いと思う。新しく、リニューアルしてもいいと思う。玉川村中でイラストを募集してもう少し可愛いものにしても良いのではないかな？
クックちゃんやさるなしなど村の特徴的なものを次世代にも残して行ってほしいです

Ⅲ 村民調査の結果

1 あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

「男性」が52.2%と最も多く、次いで「女性」が45.2%、「回答しない」が1.8%となっています。
 前回調査と比較すると、「男性」が16.8ポイント増加しています。
 年代別にみると、〔20代〕では「女性」、その他の年代では「男性」が最も多くなっています。



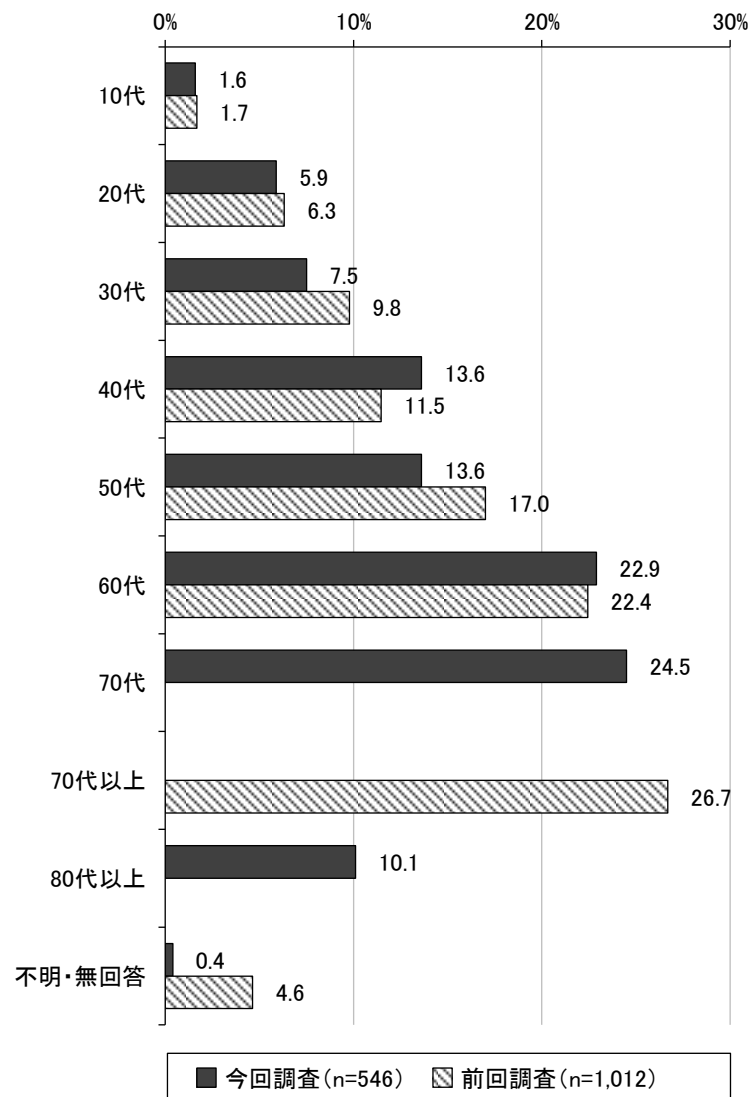
※「回答しない」は今回調査のみの選択肢

		n	男性	女性	回答しない	不明・無回答
		%				
全体		546	52.2	45.2	1.8	0.7
年代別	10代	9	66.7	33.3	—	—
	20代	32	43.8	53.1	3.1	—
	30代	41	53.7	43.9	2.4	—
	40代	74	48.6	45.9	5.4	—
	50代	74	54.1	41.9	4.1	—
	60代	125	50.4	48.0	0.8	0.8
	70代	134	55.2	44.8	—	—
	80代以上	55	54.5	43.6	—	1.8

問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○、令和6年4月1日現在)

「70代」が24.5%と最も多く、次いで「60代」が22.9%、「40代」「50代」が13.6%となっています。

前回調査と比較すると、「70代以上」(今回調査:「70代」と「80代以上」の合計)が7.9ポイント増加しています。



※「70代」「80代以上」は今回調査のみの選択肢

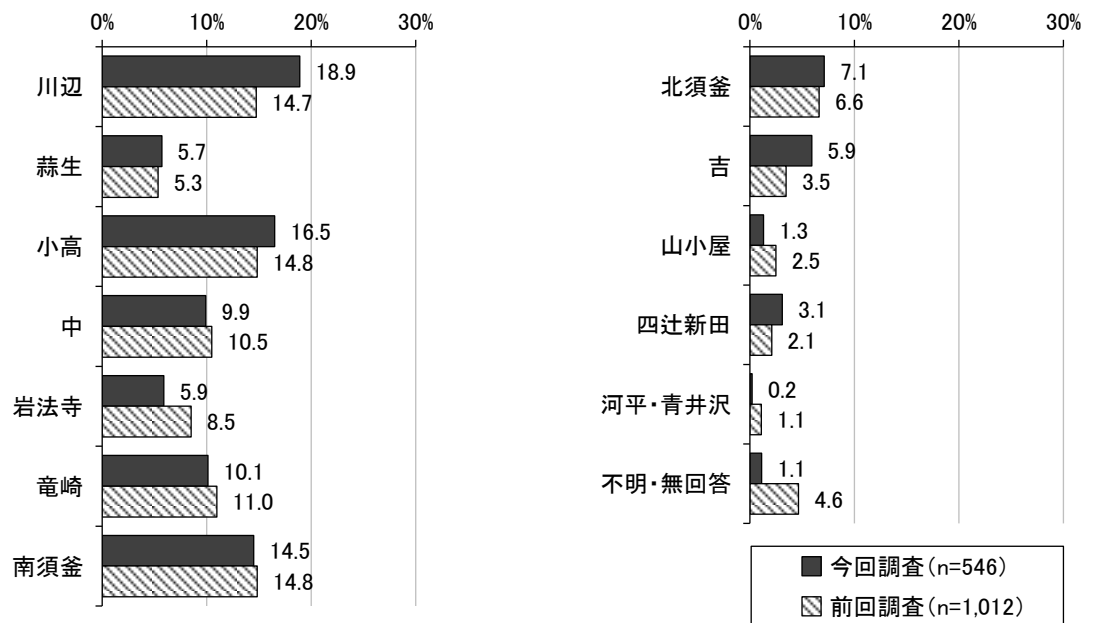
※「70代以上」は前回調査のみの選択肢

問3 あなたが住んでいる地区をお答えください。(1つに○)

「川辺」が18.9%と最も多く、次いで「小高」が16.5%、「南須釜」が14.5%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

年代別にみると、〔30代〕〔80代以上〕では「南須釜」、〔50代〕〔70代〕では「小高」、その他の年代では「川辺」が最も多くなっています。



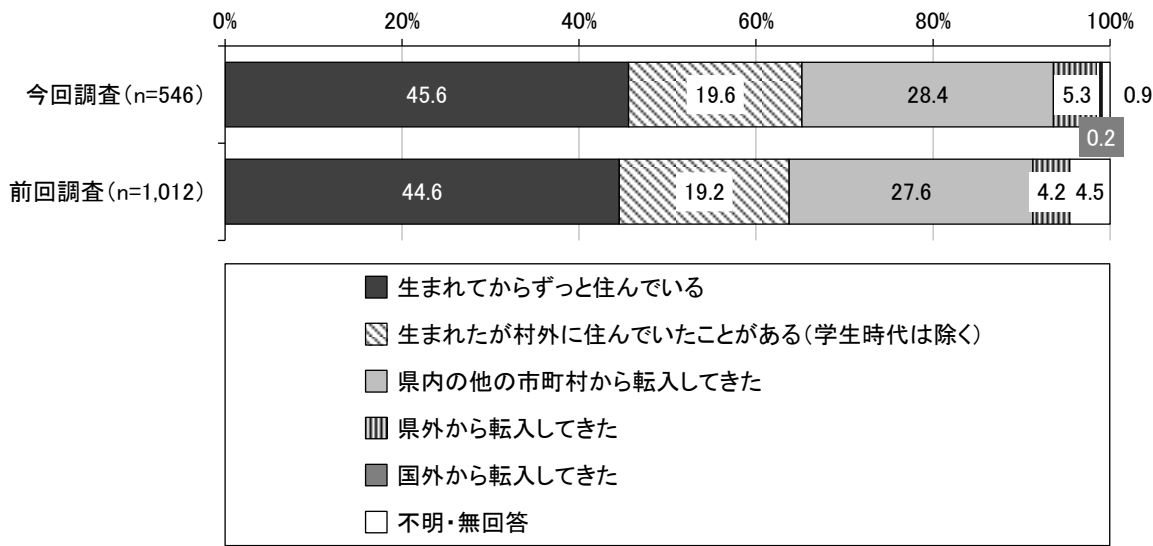
	n	川 辺	蒜 生	小 高	中	岩 法 寺	竜 崎	南 須 釜	北 須 釜	吉	山 小 屋	四 辻 新 田	河 平 ・ 青 井 沢	不 明 ・ 無 回 答
全体	546	18.9	5.7	16.5	9.9	5.9	10.1	14.5	7.1	5.9	1.3	3.1	0.2	1.1
年代別	10代	9	—	22.2	—	—	22.2	—	—	11.1	22.2	—	22.2	—
	20代	32	25.0	12.5	12.5	6.3	12.5	12.5	3.1	—	—	3.1	—	—
	30代	41	14.6	9.8	12.2	7.3	4.9	14.6	17.1	7.3	9.8	—	2.4	—
	40代	74	23.0	4.1	16.2	8.1	4.1	17.6	14.9	5.4	5.4	—	—	1.4
	50代	74	16.2	2.7	21.6	13.5	9.5	6.8	16.2	2.7	8.1	—	—	2.7
	60代	125	20.0	5.6	10.4	11.2	5.6	7.2	16.8	8.0	5.6	3.2	5.6	0.8
	70代	134	21.6	4.5	22.4	9.0	4.5	10.4	9.0	9.7	4.5	1.5	3.0	—
	80代以上	55	10.9	5.5	18.2	9.1	5.5	7.3	21.8	9.1	5.5	1.8	3.6	1.8

問4 あなたの玉川村での居住歴をお答えください。(1つに○)

「生まれてからずっと住んでいる」が45.6%と最も多く、次いで「県内の他の市町村から転入してきた」が28.4%、「生まれたが村外に住んでいたことがある(学生時代は除く)」が19.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

年代別にみると、〔30代〕では「県内の他の市町村から転入してきた」、その他の年代では「生まれてからずっと住んでいる」が最も多くなっています。



※「国外から転入してきた」は今回調査のみの選択肢

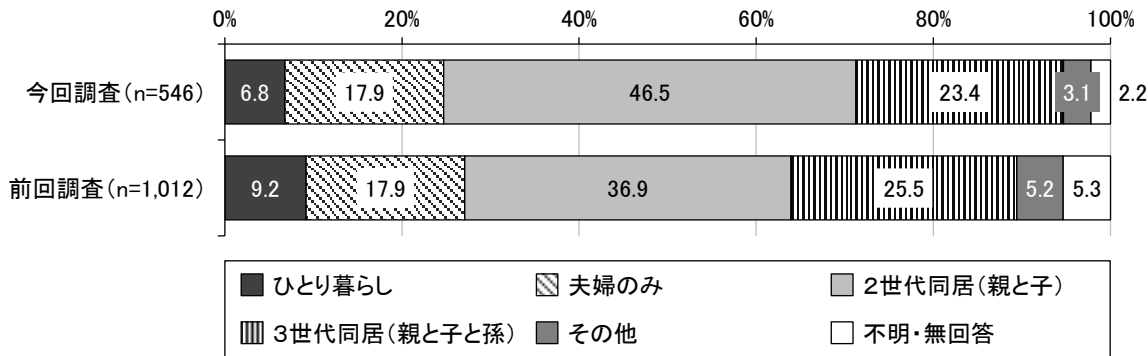
	n	生まれてからずっと住んでいる	除く(学生時代は除く)	生まれたが村外に住んでいたことがある(学生時代は除く)	県内の他の市町村から転入してきた	県外から転入してきた	国外から転入してきた	不明・無回答
%								
全体	546	45.6	19.6	28.4	5.3	0.2	0.9	
年代別								
10代	9	66.7	11.1	11.1	11.1	-	-	
20代	32	50.0	25.0	18.8	6.3	-	-	
30代	41	29.3	31.7	36.6	2.4	-	-	
40代	74	33.8	29.7	32.4	4.1	-	-	
50代	74	41.9	10.8	37.8	9.5	-	-	
60代	125	48.8	19.2	30.4	1.6	-	-	
70代	134	47.0	20.9	22.4	8.2	0.7	0.7	
80代以上	55	63.6	5.5	23.6	3.6	-	3.6	

問5 あなたの家族（同居者）構成をお答えください。（1つに○）

「2世代同居（親と子）」が46.5%と最も多く、次いで「3世代同居（親と子と孫）」が23.4%、「夫婦のみ」が17.9%となっています。

前回調査と比較すると、「2世代同居（親と子）」が9.6ポイント増加しています。

年代別にみると、すべての年代で「2世代同居（親と子）」が最も多くなっています。



※前回調査：「単身者」「夫婦」「親と子」「親と子と孫」

	n	ひとり暮らし	夫婦のみ	2世代同居（親と子）	3世代同居（親と子と孫）	その他	不明・無回答
全体	546	6.8	17.9	46.5	23.4	3.1	2.2
年代別	10代	9	—	33.3	55.6	11.1	—
	20代	32	3.1	21.9	37.5	28.1	9.4
	30代	41	2.4	2.4	70.7	24.4	—
	40代	74	5.4	5.4	48.6	33.8	6.8
	50代	74	6.8	13.5	48.6	23.0	2.7
	60代	125	4.8	23.2	55.2	16.8	—
	70代	134	12.7	25.4	33.6	21.6	4.5
	80代以上	55	5.5	23.6	43.6	21.8	—

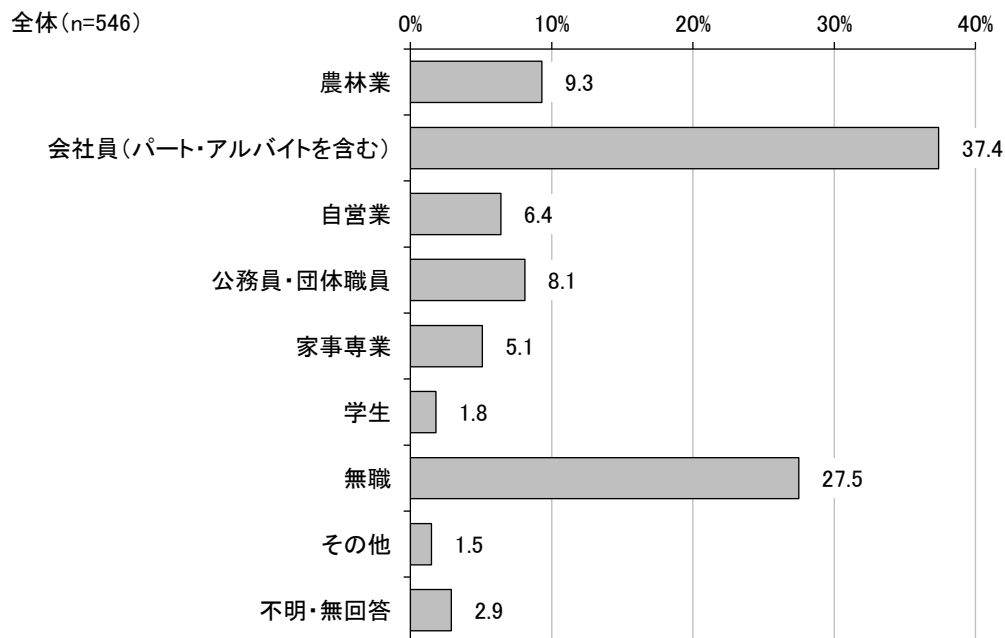
【その他回答】

- 妻と子供（同一回答他1件）
- 夫婦と息子の3人
- 夫婦と子夫婦
- 夫婦と義母の3人
- 夫婦と親
- 夫婦子1人
- 旦那さんの祖父さん、子どもと、旦那
- 旦那さんと、子供と、祖父
- 子供2人
- 親と子と叔父
- 親と子とおじ
- 親、等
- 兄夫婦と子
- 4世代同居（同一回答他3件）
- 4世代

問6 あなたの主な職業をお答えください。(1つに○)

「会社員（パート・アルバイトを含む）」が37.4%と最も多く、次いで「無職」が27.5%、「農林業」が9.3%となっています。

年代別にみると、〔70代〕〔80代以上〕では「無職」、その他の年代では「会社員（パート・アルバイトを含む）」が最も多くなっています。



	n	農林業	会社員(パート・アルバイトを含む)	自営業	公務員・団体職員	家事専業	学生	無職	その他	不明・無回答
全体	546	9.3	37.4	6.4	8.1	5.1	1.8	27.5	1.5	2.9
年代別	10代	9	22.2	-	-	-	66.7	11.1	-	-
	20代	32	50.0	-	25.0	3.1	12.5	3.1	3.1	3.1
	30代	41	78.0	7.3	7.3	4.9	-	2.4	-	-
	40代	74	62.2	4.1	18.9	-	-	6.8	5.4	-
	50代	74	63.5	6.8	14.9	1.4	-	8.1	1.4	1.4
	60代	125	40.8	8.8	5.6	10.4	-	22.4	-	2.4
	70代	134	6.7	6.7	0.7	6.7	-	53.7	1.5	4.5
	80代以上	55	1.8	7.3	-	3.6	-	65.5	-	5.5

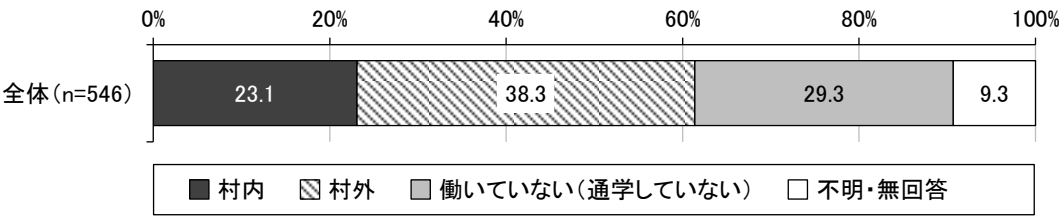
【その他回答】

- 会社役員（同一回答他1件）
- 主婦
- 農業（同一回答他1件）
- 管理人
- シルバー会員
- 臨時職員
- 就労B型事業所
- シルバー人材

問7 あなたが主に働いている会社、または通学している学校の所在地をお答えください。
(1つに○)

「村外」が38.3%と最も多く、次いで「働いていない(通学していない)」が29.3%、「村内」が23.1%となっています。

年代別にみると、〔70代〕〔80代以上〕では「働いていない(通学していない)」、その他の年代では「村外」が最も多くなっています。



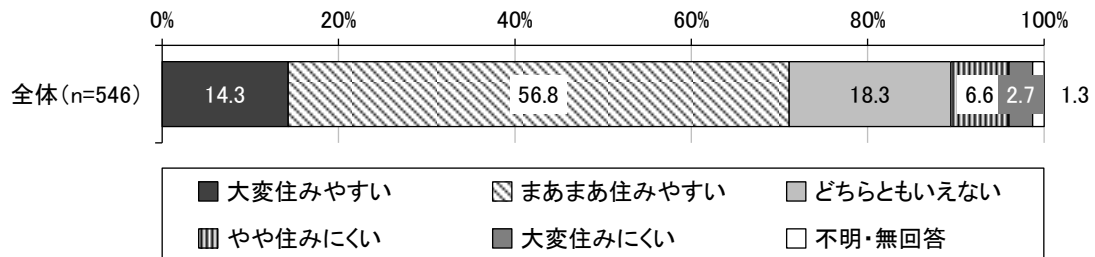
		n	村 内	村 外	学働 して いて いな い (通)	不 明 ・ 無 回 答
		%				
全体		546	23.1	38.3	29.3	9.3
年代別	10代	9	11.1	77.8	11.1	—
	20代	32	25.0	68.8	6.3	—
	30代	41	17.1	75.6	7.3	—
	40代	74	29.7	63.5	6.8	—
	50代	74	29.7	58.1	10.8	1.4
	60代	125	24.0	36.8	32.0	7.2
	70代	134	21.6	8.2	54.5	15.7
	80代以上	55	12.7	3.6	50.9	32.7

2 住み心地や定住意向について

問8 あなたにとって、玉川村の住み心地はいかがですか。(1つに○)

「まあまあ住みやすい」が56.8%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が18.3%、「大変住みやすい」が14.3%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「まあまあ住みやすい」が最も多くなっています。



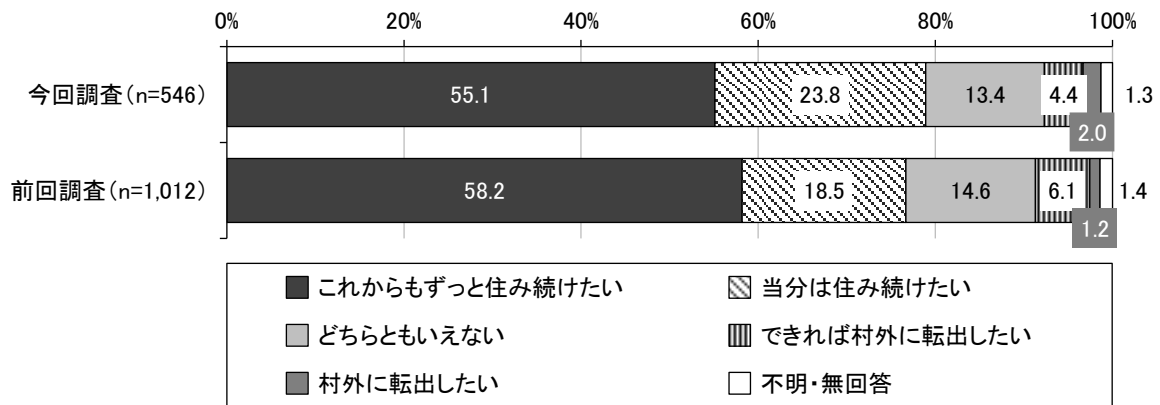
	n	大変住みやすい	まあまあ住みやすい	どちらともいえない	やや住みにくい	大変住みにくい	不明・無回答
%							
全体	546	14.3	56.8	18.3	6.6	2.7	1.3
年代別	10代	9	11.1	66.7	-	11.1	11.1
	20代	32	21.9	53.1	9.4	6.3	3.1
	30代	41	7.3	58.5	24.4	2.4	7.3
	40代	74	9.5	58.1	20.3	5.4	6.8
	50代	74	13.5	58.1	13.5	10.8	1.4
	60代	125	11.2	56.8	24.0	5.6	1.6
	70代	134	16.4	59.0	15.7	7.5	0.7
	80代以上	55	25.5	47.3	20.0	5.5	-

問9 あなたは、今後も玉川村で住み続けたいですか。(1つに○)

「これからもずっと住み続けたい」が55.1%と最も多く、次いで「当分は住み続けたい」が23.8%、「どちらともいえない」が13.4%となっています。

前回調査と比較すると、「当分は住み続けたい」が5.3ポイント増加しています。

年代別にみると、〔30代〕〔40代〕では「当分は住み続けたい」、その他の年代では「これからもずっと住み続けたい」が最も多くなっています。



※前回調査：「できれば村外に移転したい」「村外に移転したい」

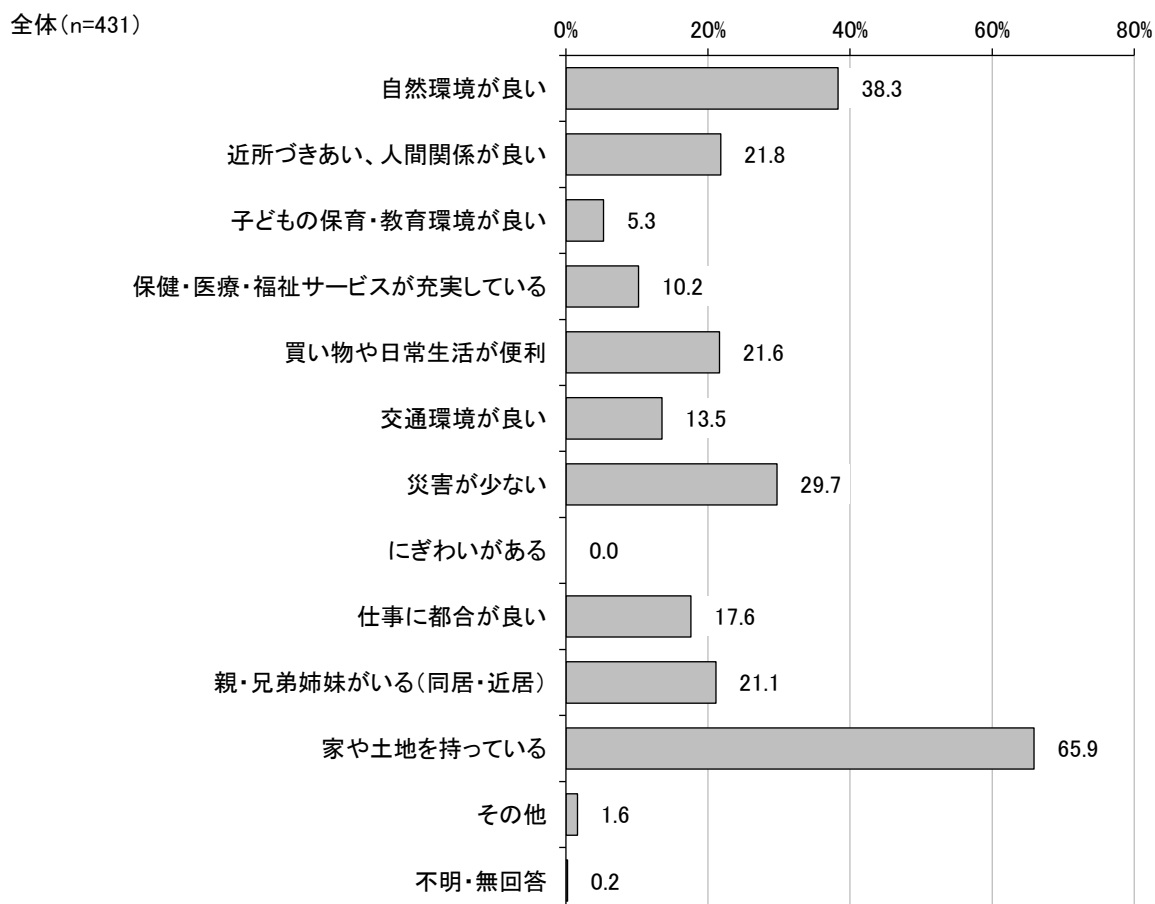
		n	これから もずっと住 み続けた	当分は住 み続けたい	どちらとも いえない	できれば 村外に転出 した	村外に転出 したい	不明・無 回答
%								
全体		546	55.1	23.8	13.4	4.4	2.0	1.3
年代別	10代	9	22.2	33.3	11.1	11.1	22.2	－
	20代	32	37.5	28.1	12.5	12.5	9.4	－
	30代	41	26.8	51.2	12.2	4.9	4.9	－
	40代	74	32.4	33.8	21.6	8.1	4.1	－
	50代	74	41.9	29.7	20.3	5.4	1.4	1.4
	60代	125	63.2	21.6	10.4	4.8	－	－
	70代	134	71.6	14.9	10.4	0.7	－	2.2
	80代以上	55	81.8	5.5	9.1	－	－	3.6

問9で「これからもずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と答えた方

問10 あなたが住み続けたいと思う理由を教えてください。(主なもの3つまで○)

「家や土地を持っている」が65.9%と最も多く、次いで「自然環境が良い」が38.3%、「災害が少ない」が29.7%となっています。

年代別にみると、〔20代〕では「親・兄弟姉妹がいる(同居・近居)」、その他の年代では「家や土地を持っている」が最も多くなっています。



	n	自然環境が良い	近所づきあい、人間関係が良い	子どもの保育・教育環境が良い	保健・医療・福祉サービスが充実している	買い物や日常生活が便利	交通環境が良い	災害が少ない	にぎわいがある	仕事に都合が良い	親・兄弟姉妹がいる(同居・近居)	家や土地を持っている	その他	不明・無回答
全体	431	38.3	21.8	5.3	10.2	21.6	13.5	29.7	0.0	17.6	21.1	65.9	1.6	0.2
年代別	10代	5	100.0	-	-	-	20.0	-	40.0	-	20.0	40.0	60.0	-
	20代	21	28.6	33.3	14.3	4.8	28.6	28.6	9.5	-	23.8	38.1	33.3	-
	30代	32	28.1	12.5	18.8	6.3	9.4	15.6	3.1	-	28.1	40.6	56.3	3.1
	40代	49	46.9	18.4	6.1	2.0	20.4	12.2	18.4	-	38.8	34.7	57.1	2.0
	50代	53	24.5	18.9	5.7	7.5	26.4	20.8	20.8	-	28.3	26.4	66.0	1.9
	60代	106	41.5	20.8	3.8	11.3	17.9	6.6	34.9	-	16.0	21.7	79.2	2.8
	70代	116	37.9	23.3	2.6	11.2	29.3	16.4	41.4	-	6.0	11.2	68.1	-
	80代以上	48	41.7	31.3	2.1	22.9	12.5	8.3	35.4	-	4.2	2.1	62.5	4.2

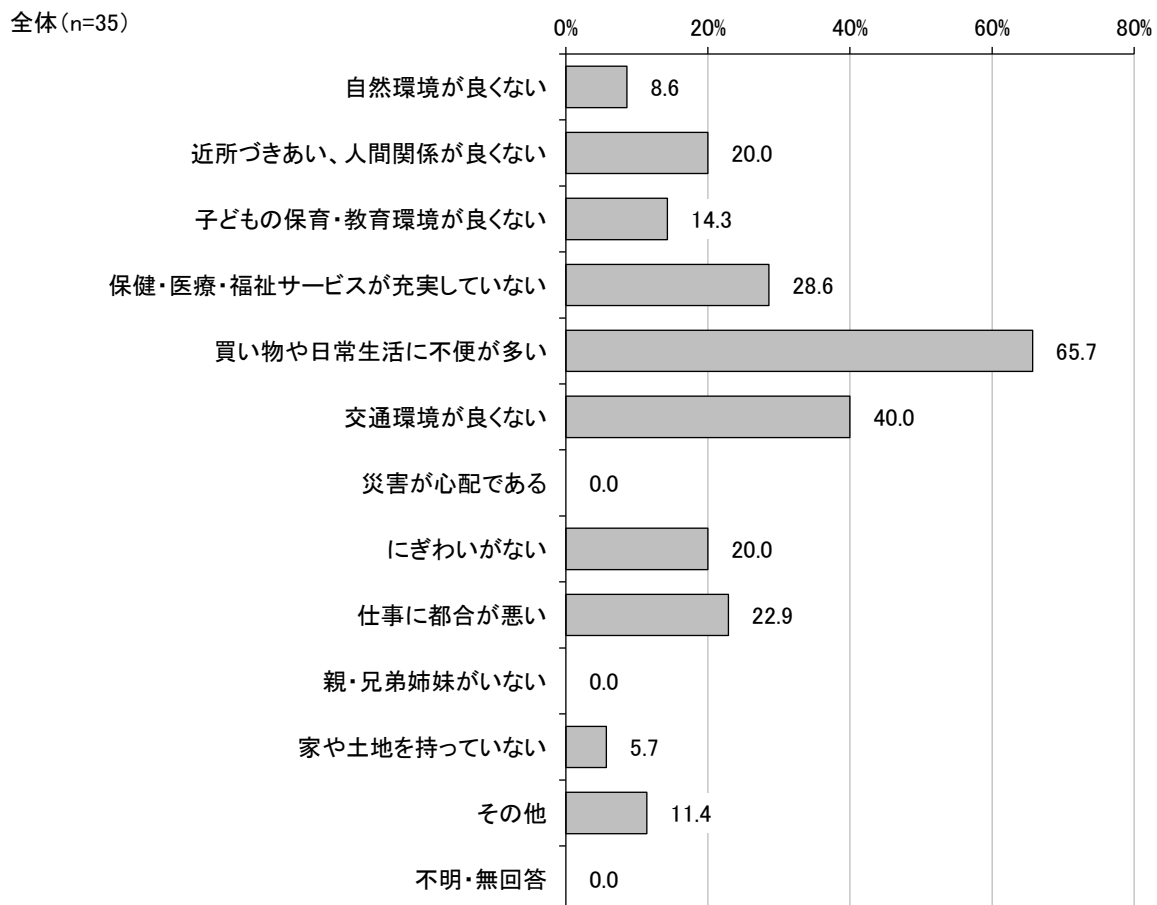
【その他回答】

- 10年～15年位から
- 今更行く所がない
- お金がない
- お墓を守っていきたいから
- 会社がある
- 子供にせわになっている
- 住み続けるしかない
- 村外に移る理由はないこのままでよい
- 他に行く所がない

問9で「できれば村外に転出したい」「村外に転出したい」と答えた方

問11 あなたが住み続けたくないと思う理由を教えてください。(主なもの3つまで○)

「買い物や日常生活に不便が多い」が65.7%と最も多く、次いで「交通環境が良くない」が40.0%、「保健・医療・福祉サービスが充実していない」が28.6%となっています。

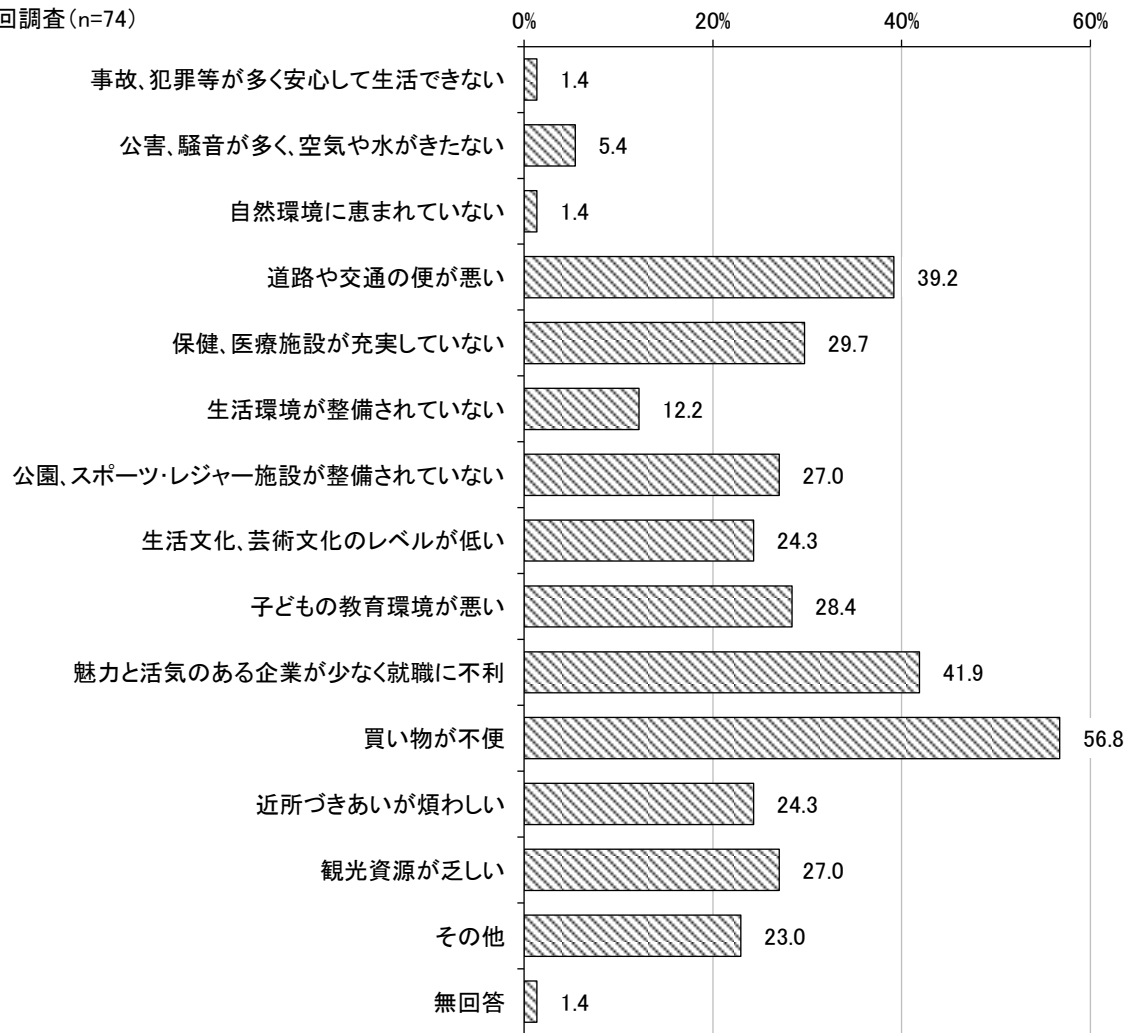


【その他回答】

- 公共投資に有義性がみいだせない
- 区費や、ちょう収金ばかりある（高い）無だにお金取りすぎる（いいかげんにしてほしい）
- 医、食
- 水が不味すぎる

【参考】

前回調査 (n=74)



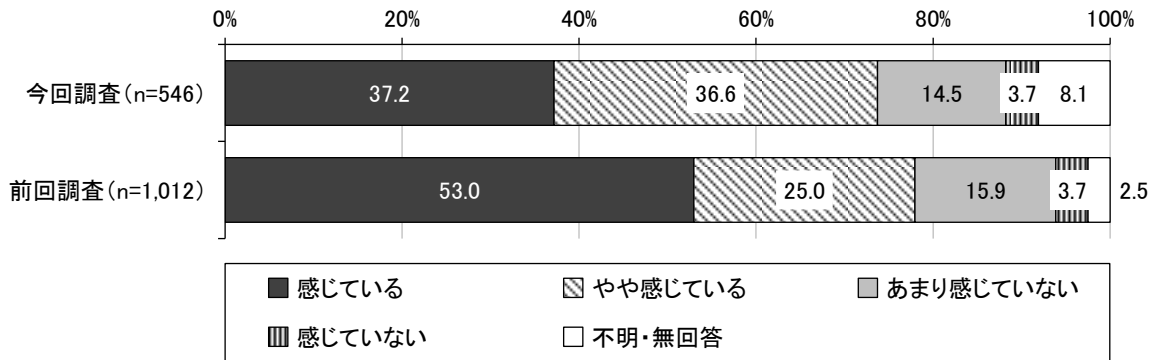
	n	自然環境が良くない	近所づきあい、人間関係が良くない	子どもの保育・教育環境が良くない	保健・医療・福祉サービスが充実していない	買い物や日常生活に不便が多い	交通環境が良くない	災害が心配である	にぎわいが少ない	仕事に都合が悪い	親・兄弟姉妹がいない	家や土地を持っていない	その他	不明・無回答
全体	35	8.6	20.0	14.3	28.6	65.7	40.0	-	20.0	22.9	-	5.7	11.4	-
年代別	10代	3	-	-	-	100.0	66.7	-	-	66.7	-	-	-	-
	20代	7	-	-	42.9	57.1	28.6	-	57.1	14.3	-	-	14.3	-
	30代	4	25.0	25.0	50.0	75.0	25.0	-	-	25.0	-	25.0	-	-
	40代	9	-	22.2	22.2	11.1	55.6	44.4	-	11.1	22.2	-	11.1	-
	50代	5	-	20.0	-	40.0	100.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-	-
	60代	6	33.3	50.0	16.7	16.7	66.7	33.3	-	16.7	16.7	-	16.7	-
	70代	1	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-

問 12 あなたは、玉川村に愛着を感じていますか。(1 つに○)

「感じている」が 37.2%と最も多く、次いで「やや感じている」が 36.6%、「あまり感じていない」が 14.5%となっています。

前回調査と比較すると、「やや感じている」が 11.6 ポイント増加し、「感じている」が 15.8 ポイント減少しています。

年代別にみると、〔20 代〕〔70 代〕〔80 代以上〕では「感じている」、その他の年代では「やや感じている」が最も多くなっています。

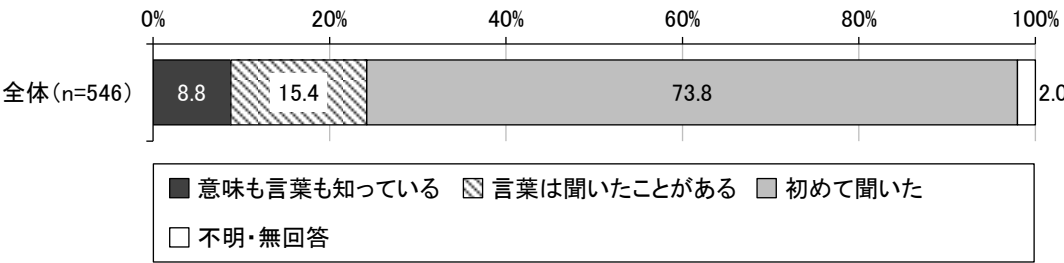


		n	感じている	やや感じている	あまり感じていない	感じていない	不明・無回答
		%					
全体		546	37.2	36.6	14.5	3.7	8.1
年代別	10代	9	44.4	55.6	—	—	—
	20代	32	40.6	37.5	6.3	9.4	6.3
	30代	41	19.5	53.7	17.1	4.9	4.9
	40代	74	33.8	36.5	20.3	5.4	4.1
	50代	74	29.7	39.2	20.3	6.8	4.1
	60代	125	36.8	38.4	14.4	3.2	7.2
	70代	134	38.8	34.3	11.9	1.5	13.4
	80代以上	55	58.2	20.0	10.9	—	10.9

問 13 あなたは、「ウェルビーイング」という言葉を知っていますか。(1 つに○)

「初めて聞いた」が 73.8%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が 15.4%、「意味も言葉も知っている」が 8.8%となっています。

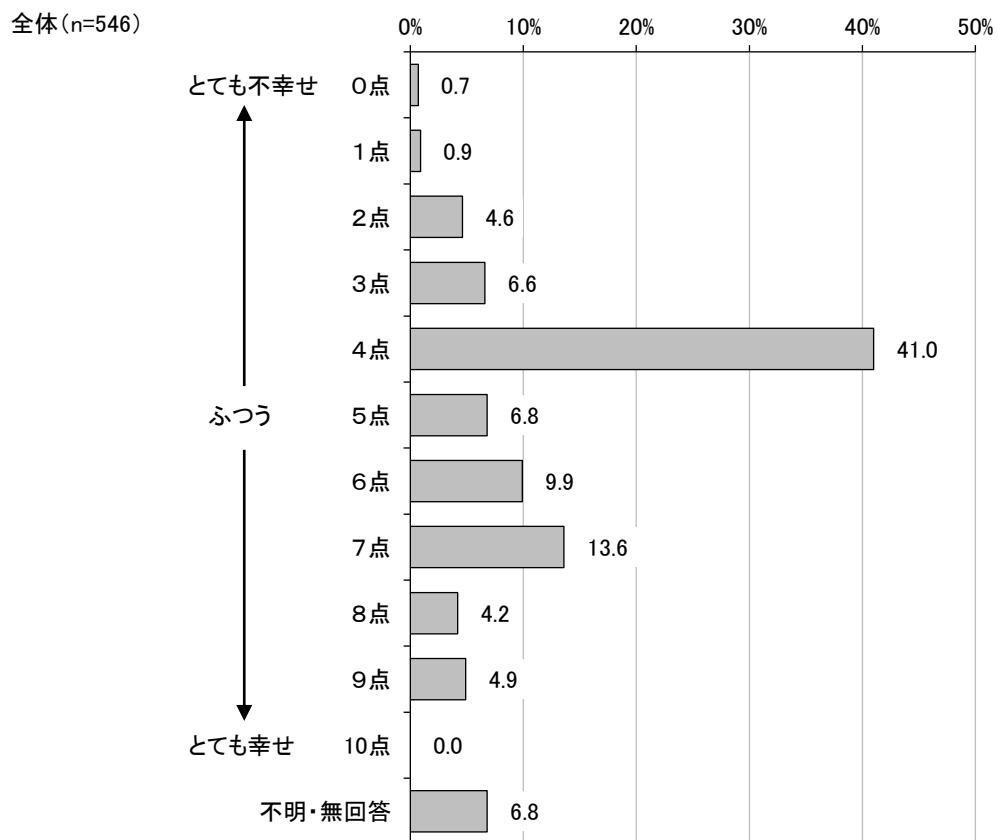
年代別にみると、すべての年代で「初めて聞いた」が最も多くなっています。



		n	意味も言葉も知っている	言葉は聞いたことがある	初めて聞いた	不明・無回答
		%				
全体		546	8.8	15.4	73.8	2.0
年代別	10代	9	—	11.1	88.9	—
	20代	32	34.4	9.4	56.3	—
	30代	41	12.2	12.2	75.6	—
	40代	74	12.2	16.2	71.6	—
	50代	74	13.5	13.5	73.0	—
	60代	125	4.8	16.8	77.6	0.8
	70代	134	4.5	17.9	72.4	5.2
	80代以上	55	1.8	14.5	80.0	3.6

問 14 現在のあなたの幸福度はどのくらいですか。(1つに○)

「4点」が41.0%と最も多く、次いで「7点」が13.6%、「6点」が9.9%となっています。
年代別にみると、〔30代〕では「6点」、その他の年代では「4点」が最も多くなっています。



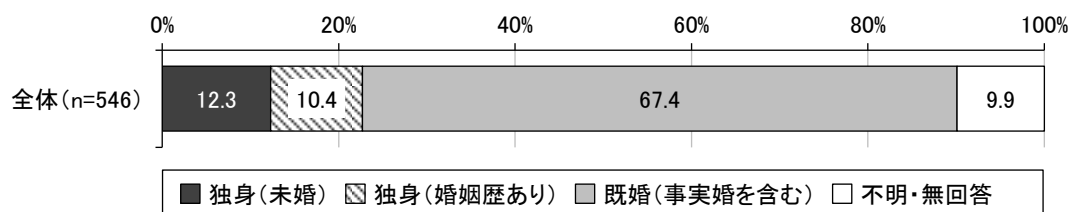
	n	0点 とても不幸せ	1点	2点	3点	4点	5点 ふつう	6点	7点	8点	9点	10点 とても幸せ	不明・無回答
全体	546	0.7	0.9	4.6	6.6	41.0	6.8	9.9	13.6	4.2	4.9	-	6.8
年代別	10代	9	-	-	11.1	-	11.1	22.2	33.3	11.1	11.1	-	-
	20代	32	-	-	6.3	34.4	9.4	15.6	18.8	9.4	3.1	-	3.1
	30代	41	-	-	2.4	14.6	22.0	9.8	26.8	12.2	4.9	-	7.3
	40代	74	1.4	1.4	8.1	4.1	32.4	9.5	6.8	20.3	8.1	5.4	2.7
	50代	74	2.7	1.4	12.2	10.8	32.4	5.4	6.8	8.1	6.8	5.4	8.1
	60代	125	-	0.8	3.2	7.2	44.8	7.2	12.0	15.2	1.6	1.6	6.4
	70代	134	0.7	1.5	2.2	4.5	53.7	5.2	6.7	11.2	2.2	6.0	6.0
	80代以上	55	-	-	3.6	1.8	50.9	1.8	3.6	9.1	-	12.7	16.4

3 結婚や出産について

問 15 あなたは、現在、結婚していますか。(1つに○)

「既婚（事実婚を含む）」が 67.4%と最も多く、次いで「独身（未婚）」が 12.3%、「独身（婚姻歴あり）」が 10.4%となっています。

年代別にみると、〔20 代〕では「独身（未婚）」、その他の年代では「既婚（事実婚を含む）」が最も多くなっています。



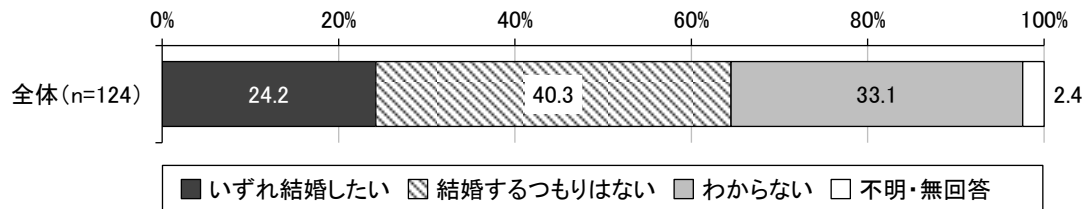
		n	独身 (未婚)	独身 (婚姻歴あり)	既婚 (事実婚を含む)	不明・ 無回答
		%				
全体		546	12.3	10.4	67.4	9.9
年代別	10代	9	100.0	—	—	—
	20代	32	62.5	6.3	28.1	3.1
	30代	41	24.4	12.2	58.5	4.9
	40代	74	16.2	13.5	70.3	—
	50代	74	13.5	12.2	70.3	4.1
	60代	125	2.4	7.2	84.8	5.6
	70代	134	2.2	12.7	70.1	14.9
	80代以上	55	—	9.1	52.7	38.2

問 15 で「独身（未婚）」「独身（婚姻歴あり）」と答えた方

問 16 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。（1 つに○）

「結婚するつもりはない」が 40.3%と最も多く、次いで「わからない」が 33.1%、「いずれ結婚したい」が 24.2%となっています。

年代別にみると、〔20 代〕〔40 代〕では「わからない」、〔30 代〕では「いずれ結婚したい」、その他の年代では「結婚するつもりはない」が最も多くなっています。

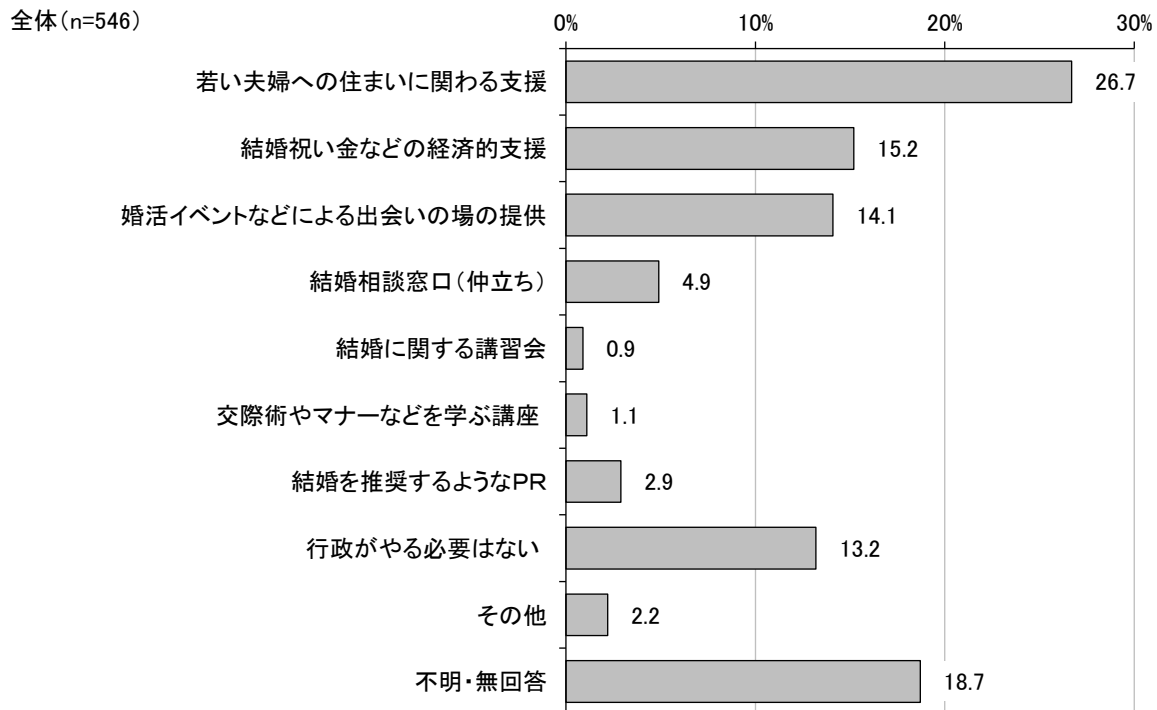


	n	い ず れ 結 婚 し た い	結 婚 す る つ も り は な い	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
%					
全体	124	24.2	40.3	33.1	2.4
年代別	10代	9	88.9	—	11.1
	20代	22	27.3	13.6	59.1
	30代	15	46.7	13.3	40.0
	40代	22	31.8	22.7	40.9
	50代	19	5.3	63.2	31.6
	60代	12	—	75.0	25.0
	70代	20	5.0	80.0	15.0
	80代以上	5	—	60.0	—

問 17 村で重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思いますか。(1つに○)

「若い夫婦への住まいに関わる支援」が 26.7%と最も多く、次いで「結婚祝い金などの経済的支援」が 15.2%、「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」が 14.1%となっています。

年代別にみると、〔20 代〕では「結婚祝い金などの経済的支援」、〔30 代〕では「若い夫婦への住まいに関わる支援」「結婚祝い金などの経済的支援」、〔80 代以上〕では「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」、その他の年代では「若い夫婦への住まいに関わる支援」が最も多くなっています。



	n	若い夫婦への住まいに関わる支援	結婚祝い金などの経済的支援	婚活イベントなどによる出会いの場の提供	結婚相談窓口(仲立ち)	結婚に関する講習会	交際術やマナーなどを学ぶ講座	結婚を推奨するようなPR	行政がやる必要はない	その他	不明・無回答
全体	546	26.7	15.2	14.1	4.9	0.9	1.1	2.9	13.2	2.2	18.7
年代別	10代	9	33.3	55.6	11.1	-	-	-	-	-	-
	20代	32	21.9	28.1	9.4	-	-	-	15.6	9.4	15.6
	30代	41	31.7	31.7	7.3	-	-	-	17.1	-	12.2
	40代	74	35.1	17.6	10.8	2.7	1.4	-	24.3	2.7	4.1
	50代	74	32.4	17.6	14.9	1.4	-	2.7	13.5	1.4	14.9
	60代	125	32.8	12.0	19.2	4.0	0.8	2.4	12.8	0.8	14.4
	70代	134	19.4	6.7	12.7	10.4	2.2	7.5	9.7	2.2	27.6
	80代以上	55	10.9	9.1	16.4	9.1	-	1.8	5.5	3.6	41.8

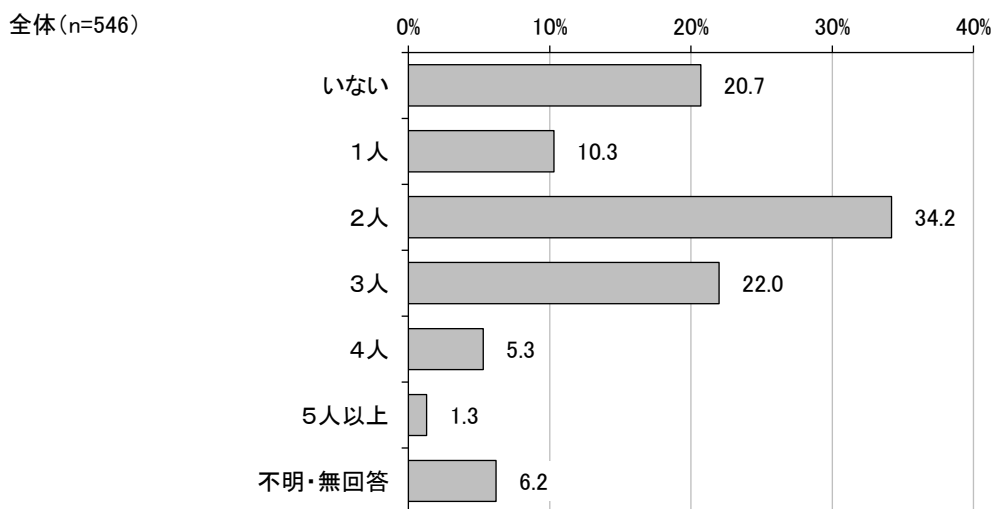
【その他回答】

- 10 年遅すぎ
- TV 出演
- 婚活サイトや民間の結婚相談所との連携、専門家の協力をえる。
- 知人が世話するのがいいかも
- 独身者が地域事業、イベントに参加し易い環境からの出会い。
- 非正規職員を無くす？
- 本人が結婚したいと思う事！！
- むかしからの仲人の普及
- レクレーション等
- わからない
- 結婚そのものに対する経済的な支援とその後を考えられる出産や子育てに対する経済的な支援(村がこれらの費用の一部又は全部を村が負担するなど)
- 行政がやる必要はないと思うが出会いの場の提供という成婚測定ができないものに比べたら結婚祝金で新婚旅行の足しになった方が良い。

問 18 あなたは、現在、お子さんが何人いますか。(1 つに○)

「2 人」が 34.2%と最も多く、次いで「3 人」が 22.0%、「いない」が 20.7%となっています。

年代別にみると、〔20 代〕〔30 代〕では「いない」、〔40 代〕では「いない」「2 人」、その他の年代では「2 人」が最も多くなっています。



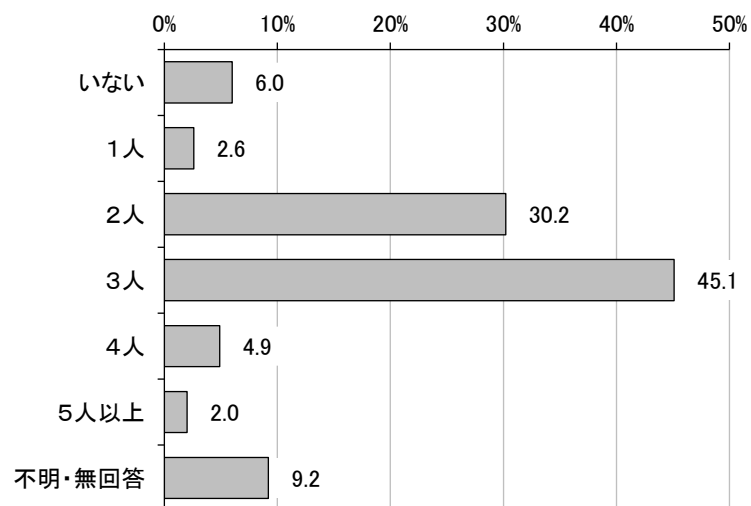
		n	い な い	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以 上	不 明 ・ 無 回 答
%									
全体		546	20.7	10.3	34.2	22.0	5.3	1.3	6.2
年 代 別	10代	9	100.0	—	—	—	—	—	—
	20代	32	71.9	15.6	3.1	3.1	—	—	6.3
	30代	41	34.1	26.8	19.5	9.8	2.4	2.4	4.9
	40代	74	28.4	14.9	28.4	20.3	6.8	1.4	—
	50代	74	21.6	12.2	45.9	10.8	2.7	2.7	4.1
	60代	125	10.4	7.2	41.6	32.8	4.0	0.8	3.2
	70代	134	11.2	5.2	38.1	28.4	8.2	—	9.0
	80代以上	55	3.6	7.3	34.5	21.8	9.1	3.6	20.0

問 19 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか（現在いるお子さんの人数も含む）。
（1つに○）

「3人」が45.1%と最も多く、次いで「2人」が30.2%、「いない」が6.0%となっています。

年代別にみると、〔60代〕〔70代〕〔80代以上〕では「3人」、その他の年代では「2人」が最も多くなっています。

全体(n=546)

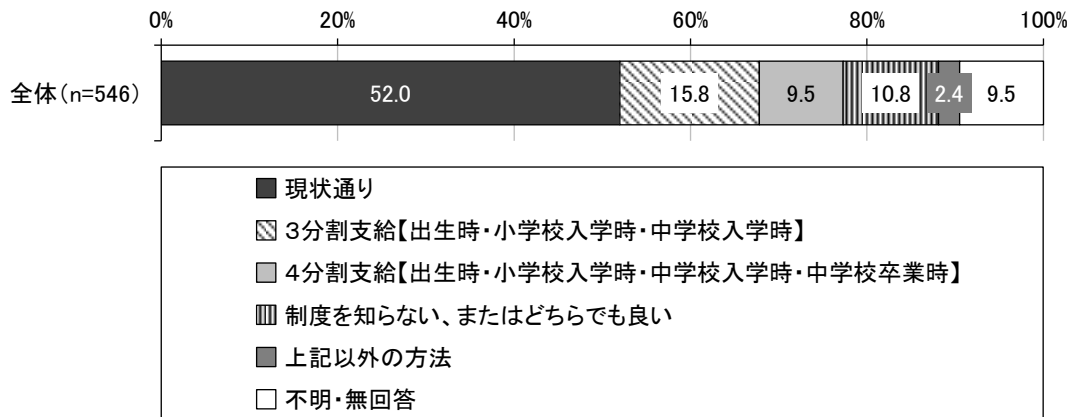


		n	いない	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明・無回答
		%							
全体		546	6.0	2.6	30.2	45.1	4.9	2.0	9.2
年代別	10代	9	–	11.1	77.8	11.1	–	–	–
	20代	32	21.9	6.3	40.6	25.0	–	3.1	3.1
	30代	41	7.3	4.9	46.3	31.7	2.4	4.9	2.4
	40代	74	8.1	2.7	43.2	35.1	6.8	2.7	1.4
	50代	74	12.2	4.1	37.8	32.4	2.7	5.4	5.4
	60代	125	2.4	0.8	26.4	57.6	5.6	–	7.2
	70代	134	3.0	2.2	17.2	56.7	6.0	0.7	14.2
	80代以上	55	1.8	–	16.4	45.5	7.3	1.8	27.3

問 20 村では、現在たまかわっ子誕生祝い金（第1子 10 万円、第2子 20 万円、第3子以降 50 万円）を出生時に一括給付していますが、更なる支援の充実を図るため、今後の給付方法はどうかと思いませんか。（祝い金の支給額を変更しません）（1 つに○）

「現状通り」が 52.0%と最も多く、次いで「3分割支給【出生時・小学校入学時・中学校入学時】」が 15.8%、「制度を知らない、またはどちらでも良い」が 10.8%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「現状通り」が最も多くなっています。



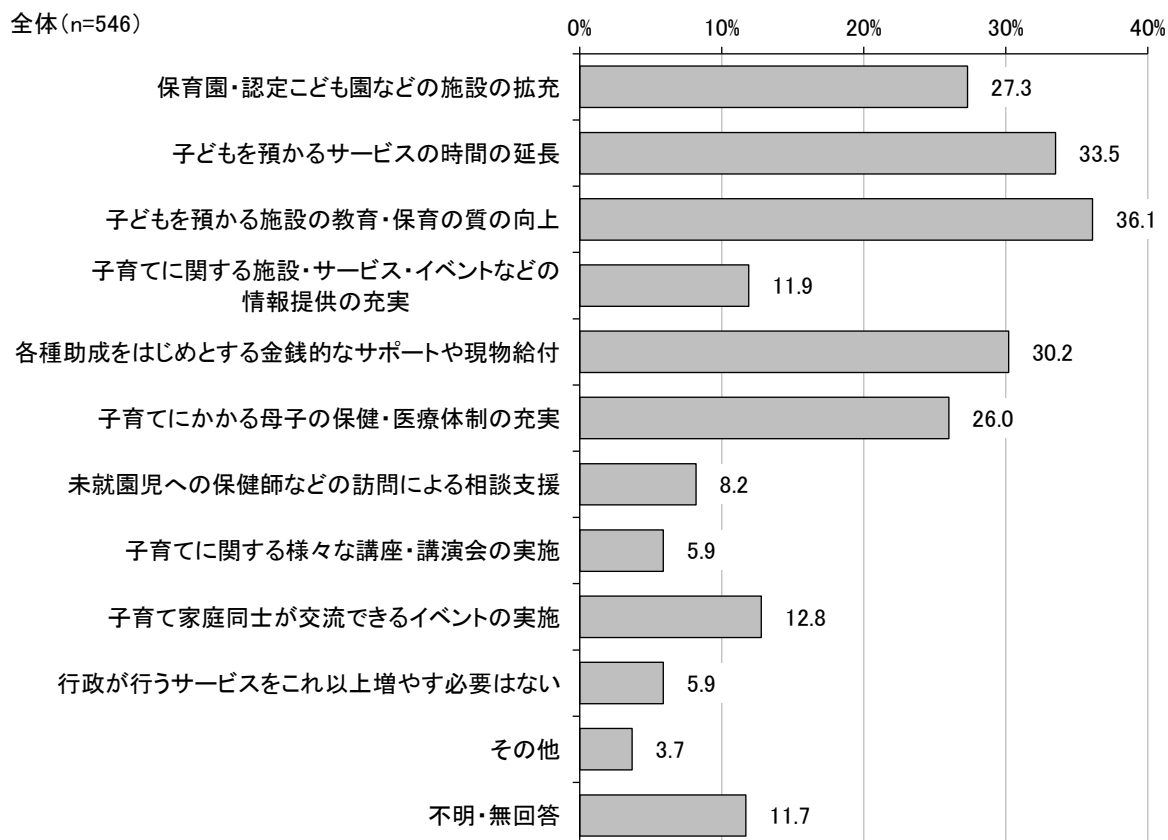
	n	現状通り	入学時・3分割支給【出生時・小学校入学時・中学校入学時】	入学時・4分割支給【出生時・小学校入学時・中学校入学時・中学校卒業時】	制度を知らない、またはどちらでも良い	上記以外の方法	不明・無回答
%							
全体	546	52.0	15.8	9.5	10.8	2.4	9.5
年代別	10代	9	55.6	22.2	22.2	-	-
	20代	32	56.3	15.6	6.3	15.6	3.1
	30代	41	70.7	7.3	7.3	4.9	4.9
	40代	74	52.7	24.3	6.8	10.8	5.4
	50代	74	41.9	20.3	16.2	10.8	2.7
	60代	125	57.6	14.4	12.8	10.4	0.8
	70代	134	46.3	12.7	7.5	14.2	2.2
	80代以上	55	49.1	12.7	3.6	7.3	-

【その他回答】※「特になし」は除く

- 4分割支給5万円×4回
- 5～10年前にすべきでした。
- 医療費、学費他の免除、予防接種費用の免除など
- 祝い金配布より必要経費の援助、例えば学童児なら入学時にかかる費用を物品で配る
- 祝い金を増やす
- 介護医療関係にもっとお金支給してもらいたい
- 給付の必要はない
- 高校生まで支給する
- 出産費用が多額なのでそこに支給すべき
- 出生時一括50万円
- 特に興味がない
- 小5万、中10万、高20万、大30万、または就職の4回とする
- そのお金をこども園、小中学校に直接渡し、集金をなくす。
- 第1子、第2子も金額を増やした方が良い
- 名前がださい
- 畑のある住居10年間無料(新しい通信設備整備された)
- 現在の祝い金を残したままさらに上乗せで入学時や卒業時にまた別の給付金を支給すべきだと思います。あとこれに収入による差は設けるべきではないとも思います。
- 祝い金はいらない。

問21 今後、育児に関するサービスとして、村で最も力を入れるべき事業は何だと思えますか。
(主なもの3つまで○)

「子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上」が36.1%と最も多く、次いで「子どもを預かるサービスの時間の延長」が33.5%、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が30.2%となっています。



年代別にみると、〔50代〕では「子どもを預かるサービスの時間の延長」、〔60代〕〔70代〕では「子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上」、〔80代以上〕では「保育園・認定こども園などの施設の拡充」、その他の年代では「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が最も多くなっています。

	n	施設の拡充	子どもの延長時間を預かるサービスの向上	子どもの質の向上	子育てイベントに関する施設・サービスの充実	各種サポートをはじめとする金銭的助成	医療体制の充実	未就学児への保健師などの訪問による相談支援	講演会の実施	子育て家庭同士が交流できるイベントの実施	行政が行うサービスはこれ以上増やす必要はない	その他	不明・無回答
%													
全体	546	27.3	33.5	36.1	11.9	30.2	26.0	8.2	5.9	12.8	5.9	3.7	11.7
年代別	10代	9	44.4	55.6	33.3	—	55.6	55.6	11.1	—	11.1	—	—
	20代	32	28.1	25.0	37.5	12.5	56.3	31.3	—	9.4	9.4	6.3	9.4
	30代	41	12.2	36.6	36.6	17.1	51.2	24.4	4.9	4.9	17.1	4.9	14.6
	40代	74	28.4	35.1	40.5	16.2	51.4	25.7	5.4	6.8	13.5	6.8	—
	50代	74	23.0	37.8	35.1	14.9	24.3	28.4	5.4	10.8	8.1	9.5	10.8
	60代	125	36.8	38.4	40.0	12.0	27.2	24.8	9.6	5.6	12.8	4.8	3.2
	70代	134	23.1	31.3	34.3	11.2	19.4	26.1	11.2	5.2	16.4	3.7	0.7
	80代以上	55	27.3	20.0	25.5	1.8	5.5	18.2	10.9	—	9.1	9.1	34.5

【その他回答】

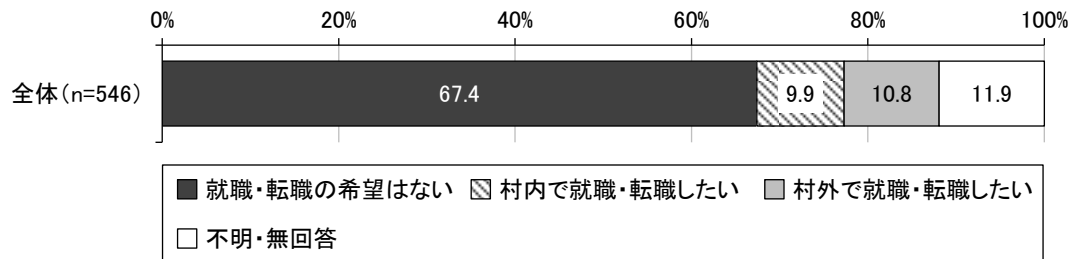
- 各種補助金の廃止、村イベントの廃止
- 給食費無料（同一回答他2件）
- 給食費の無償化
- 行政が行うサービスには限界があり自分の子は親がまずしっかり育てる
- 病児保育施設を開設
- 病児保育のサービス
- 保育園入園への条件の撤廃
- 保育料無料！！近くの村（泉崎、中島）は無料なのに！！
- 無職の母親も子どもを預かる時間延長
- 療育の質の向上
- わからない
- 障害児発達支援などの未就学児から障害児を預かる施設、体制
- 村制度の情報発信や利用しやすさを考えてほしい（行政の都合だけではなく村民の都合も合わせてほしい）
- 保育園の無料化

4 働くことについて

問 22 あなたは、今後、新たに職に就く、もしくは転職の希望はありますか。(1つに○)

「就職・転職の希望はない」が67.4%と最も多く、次いで「村外で就職・転職したい」が10.8%、「村内で就職・転職したい」が9.9%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「就職・転職の希望はない」が最も多くなっています。

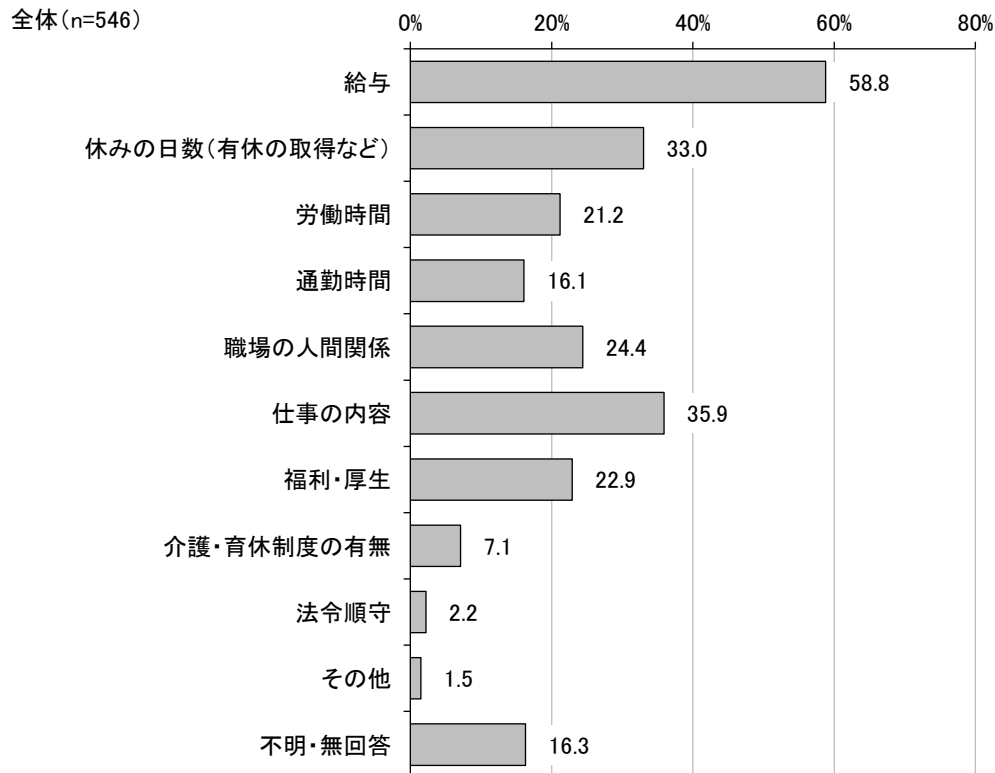


		n	就職・転職の希望はない	村内で就職・転職したい	村外で就職・転職したい	不明・無回答
	%					
全体		546	67.4	9.9	10.8	11.9
年代別	10代	9	22.2	—	77.8	—
	20代	32	43.8	18.8	34.4	3.1
	30代	41	61.0	7.3	29.3	2.4
	40代	74	70.3	14.9	14.9	—
	50代	74	63.5	14.9	17.6	4.1
	60代	125	80.8	11.2	1.6	6.4
	70代	134	72.4	4.5	2.2	20.9
	80代以上	55	52.7	3.6	—	43.6

問 23 あなたは（将来的に）仕事を選択する上で何を重視しますか。（主なもの3つまで○）

「給与」が 58.8%と最も多く、次いで「仕事の内容」が 35.9%、「休みの日数（有休の取得など）」が 33.0%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「給与」が最も多くなっています。



	n	給与	の休 取 み の 日 数 (有 休)	労働 時間	通勤 時間	職場 の 人 間 関 係	仕事 の 内 容	福利 ・ 厚生	有 無 介 護 ・ 育 休 制 度 の	法令 順 守	その他	不明 ・ 無 回 答
全体	546	58.8	33.0	21.2	16.1	24.4	35.9	22.9	7.1	2.2	1.5	16.3
年代別												
10代	9	77.8	77.8	11.1	11.1	55.6	33.3	22.2	-	-	-	-
20代	32	65.6	59.4	34.4	9.4	43.8	28.1	9.4	6.3	-	3.1	9.4
30代	41	82.9	65.9	36.6	14.6	24.4	34.1	22.0	2.4	2.4	-	4.9
40代	74	75.7	40.5	28.4	17.6	28.4	43.2	29.7	1.4	1.4	1.4	1.4
50代	74	77.0	40.5	13.5	31.1	20.3	44.6	24.3	1.4	2.7	-	4.1
60代	125	53.6	28.8	20.8	16.0	27.2	40.0	23.2	11.2	3.2	0.8	12.8
70代	134	47.0	17.2	22.4	13.4	18.7	33.6	24.6	11.9	2.2	1.5	26.9
80代以上	55	25.5	14.5	1.8	5.5	16.4	16.4	14.5	7.3	1.8	5.5	50.9

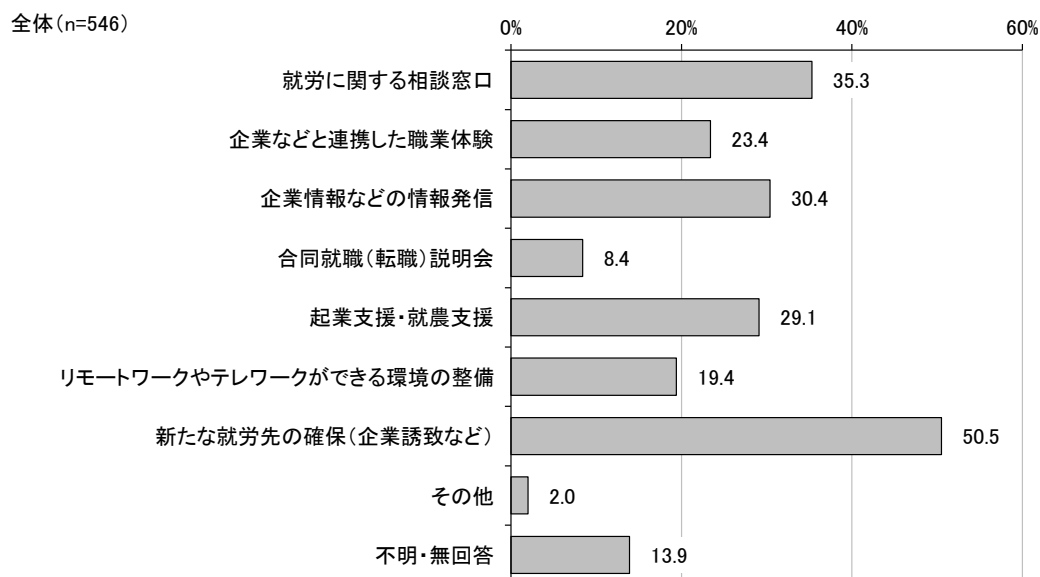
【その他回答】

- 80代現職
- 90才のため仕事は無理
- 医療（日、祝日、夜間対応）
- 高齢者のためわからない
- 高齢の為無職
- なし
- 年金生活者なので健康に注意
- 無理※年齢的に
- 趣味に費やせる時間

問 24 村内での就労のために、村では何に取り組むべきだと思いますか。(主なもの3つまで○)

「新たな就労先の確保（企業誘致など）」が 50.5%と最も多く、次いで「就労に関する相談窓口」が 35.3%、「企業情報などの情報発信」が 30.4%となっています。

年代別にみると、〔20 代〕では「企業情報などの情報発信」「新たな就労先の確保（企業誘致など）」、〔80 代以上〕では「就労に関する相談窓口」、その他の年代では「新たな就労先の確保（企業誘致など）」が最も多くなっています。



	n	就労に関する相談窓口	企業などと連携した職業体験	企業情報などの情報発信	合同就職(転職)説明会	起業支援・就農支援	リモートワークやテレワークができる環境の整備	新たな就労先の確保(企業誘致など)	その他	不明・無回答
全体	546	35.3	23.4	30.4	8.4	29.1	19.4	50.5	2.0	13.9
年代別	10代	9	22.2	44.4	33.3	22.2	55.6	44.4	-	-
	20代	32	28.1	21.9	40.6	18.8	28.1	21.9	40.6	6.3
	30代	41	34.1	26.8	43.9	17.1	22.0	24.4	51.2	2.4
	40代	74	32.4	17.6	33.8	10.8	33.8	25.7	63.5	4.1
	50代	74	36.5	21.6	33.8	4.1	28.4	20.3	63.5	6.8
	60代	125	38.4	27.2	29.6	8.0	32.0	16.0	52.0	9.6
	70代	134	39.6	26.1	29.1	6.0	32.8	19.4	50.0	19.4
	80代以上	55	27.3	14.5	9.1	3.6	20.0	3.6	18.2	49.1

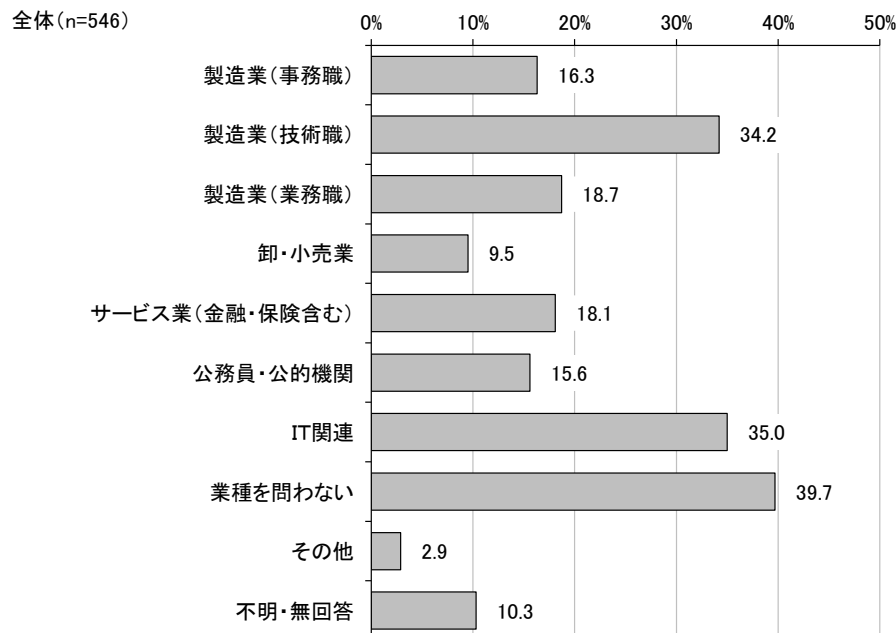
【その他回答】

- 企業誘致
- 企業うちをして下さい
- 経営者への勉強会、会社側への人集め指導、法●法規など
- 高齢者のためわからない
- 就業者のための住宅を増やす
- 村内にも仕事が内から
- 働く場所を作る
- 内職等、在宅で出来る仕事の情報発信

問 25 若者のUターン、Iターンを増やすためには、どのような仕事があればよいと思いますか。
(主なもの3つまで○)

「業種を問わない」が39.7%と最も多く、次いで「IT関連」が35.0%、「製造業(技術職)」が34.2%となっています。

年代別にみると、〔20代〕では「IT関連」「業種を問わない」、〔30代〕〔40代〕では「IT関連」、その他の年代では「業種を問わない」が最も多くなっています。



	n	製造業 (事務職)	製造業 (技術職)	製造業 (業務職)	卸・小売業	サービス業 (金融・保険含む)	公務員・公的機関	IT関連	業種を問わない	その他	不明・無回答
全体	546	16.3	34.2	18.7	9.5	18.1	15.6	35.0	39.7	2.9	10.3
年代別	10代	9	11.1	33.3	—	11.1	33.3	22.2	55.6	44.4	—
	20代	32	9.4	18.8	15.6	3.1	28.1	15.6	34.4	34.4	6.3
	30代	41	26.8	29.3	17.1	12.2	29.3	24.4	41.5	26.8	—
	40代	74	17.6	32.4	18.9	8.1	18.9	20.3	40.5	37.8	5.4
	50代	74	13.5	35.1	21.6	16.2	17.6	16.2	37.8	41.9	4.1
	60代	125	17.6	37.6	20.8	11.2	14.4	17.6	36.8	48.0	0.8
	70代	134	17.2	41.0	17.9	7.5	17.9	10.4	34.3	42.5	4.5
	80代以上	55	10.9	23.6	14.5	3.6	7.3	9.1	14.5	27.3	—

【その他回答】※「特にない」「分からない」等は除く

- 環境・水
- 企業誘致
- 協力隊員
- クリエイティブ職
- 農業(同一回答他1件)
- 金融
- 仕事があっても若者は増えない
- 大手企業の工場や商業施設の誘致
- 農業会社
- 農業支援

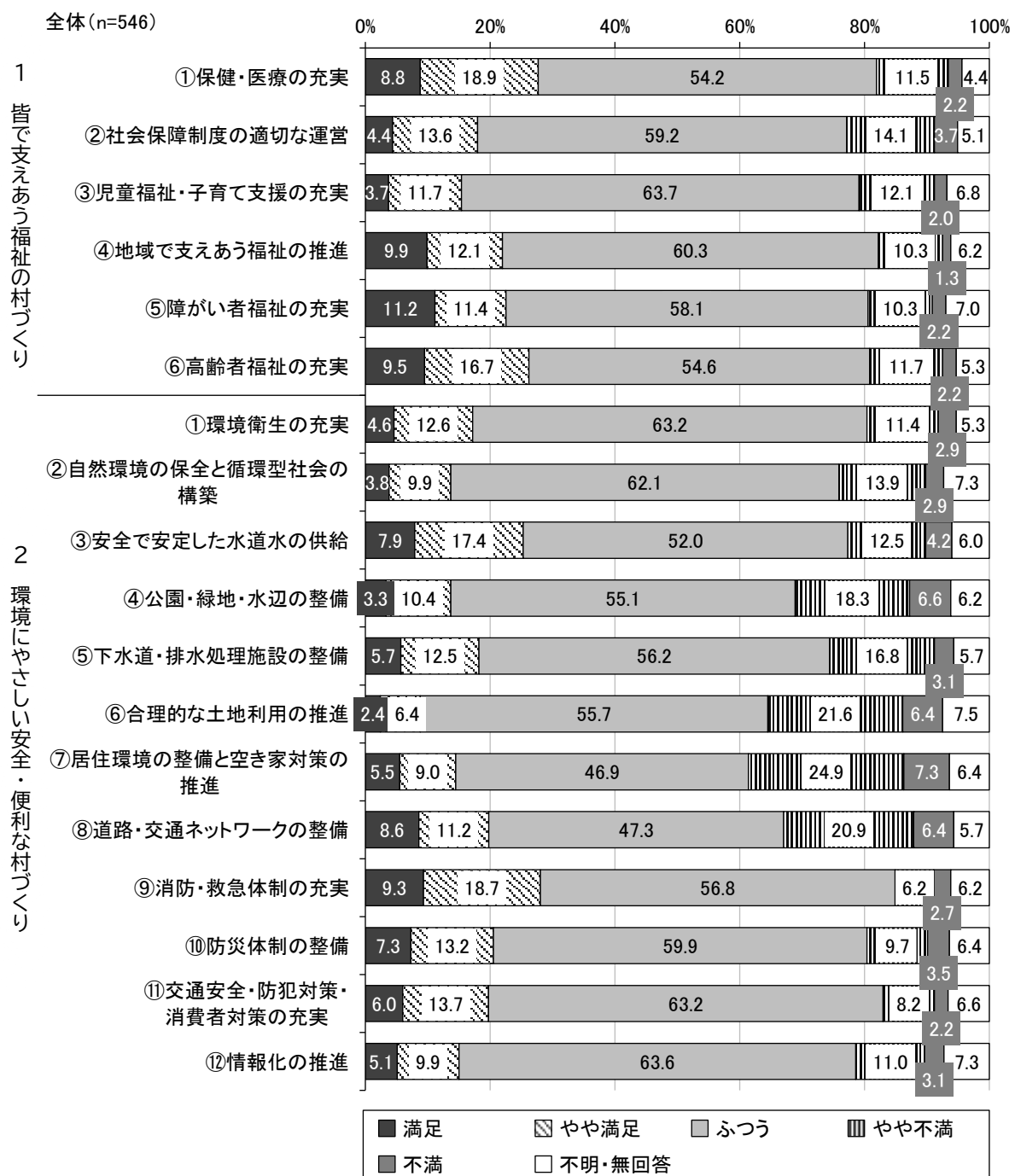
5 玉川村の取り組みへの満足度、今後の重要度について

問 26 あなたは、まちづくりの取り組みについて、どの程度満足していますか。また、今後はどの程度重要だと考えますか。

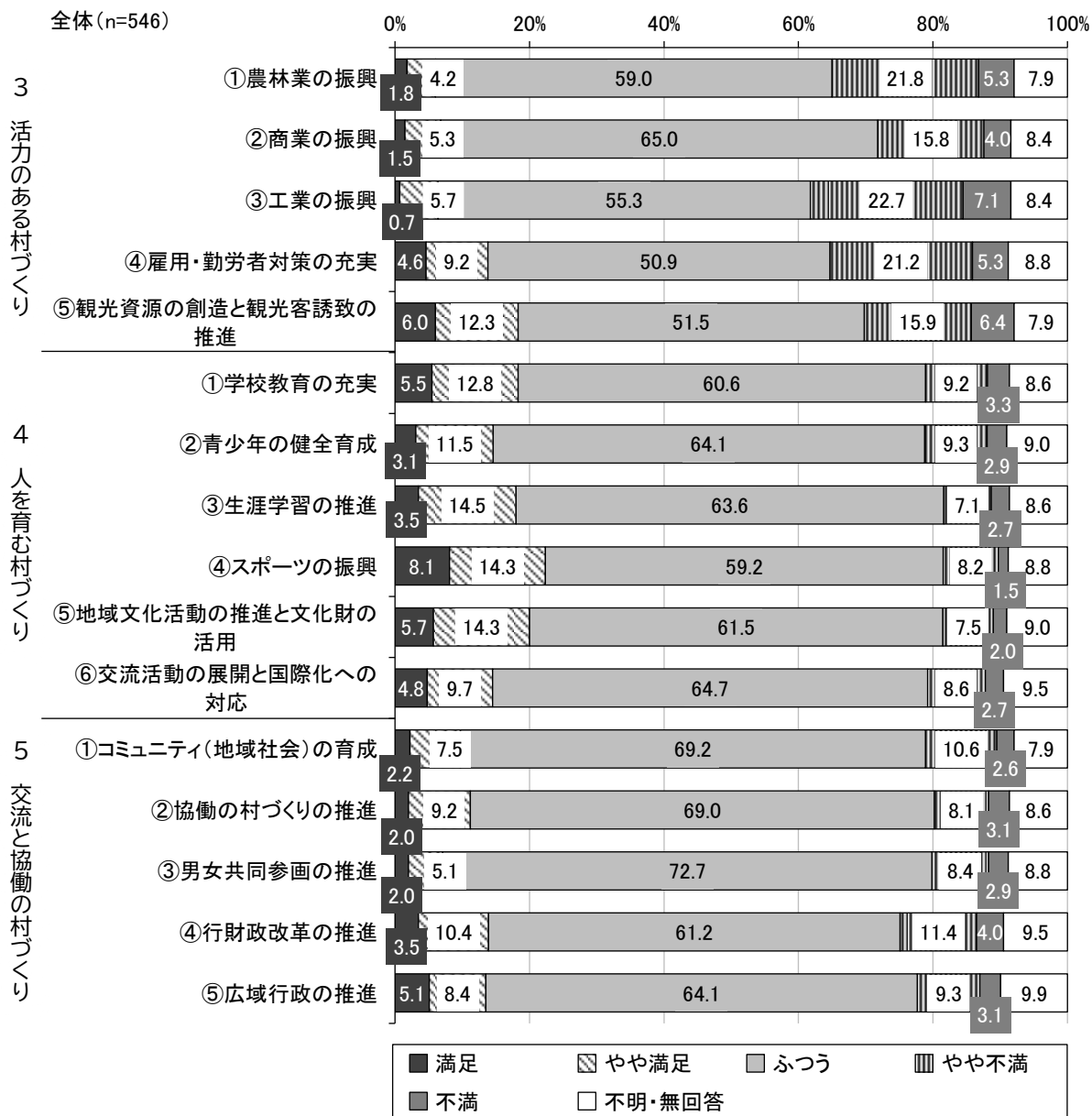
①現在の満足度（それぞれ1つずつ○）

『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）では、《2》の〔⑨消防・救急体制の充実〕が28.0%と最も多く、次いで《1》の〔①保健・医療の充実〕が27.7%、〔⑥高齢者福祉の充実〕が26.2%となっています。

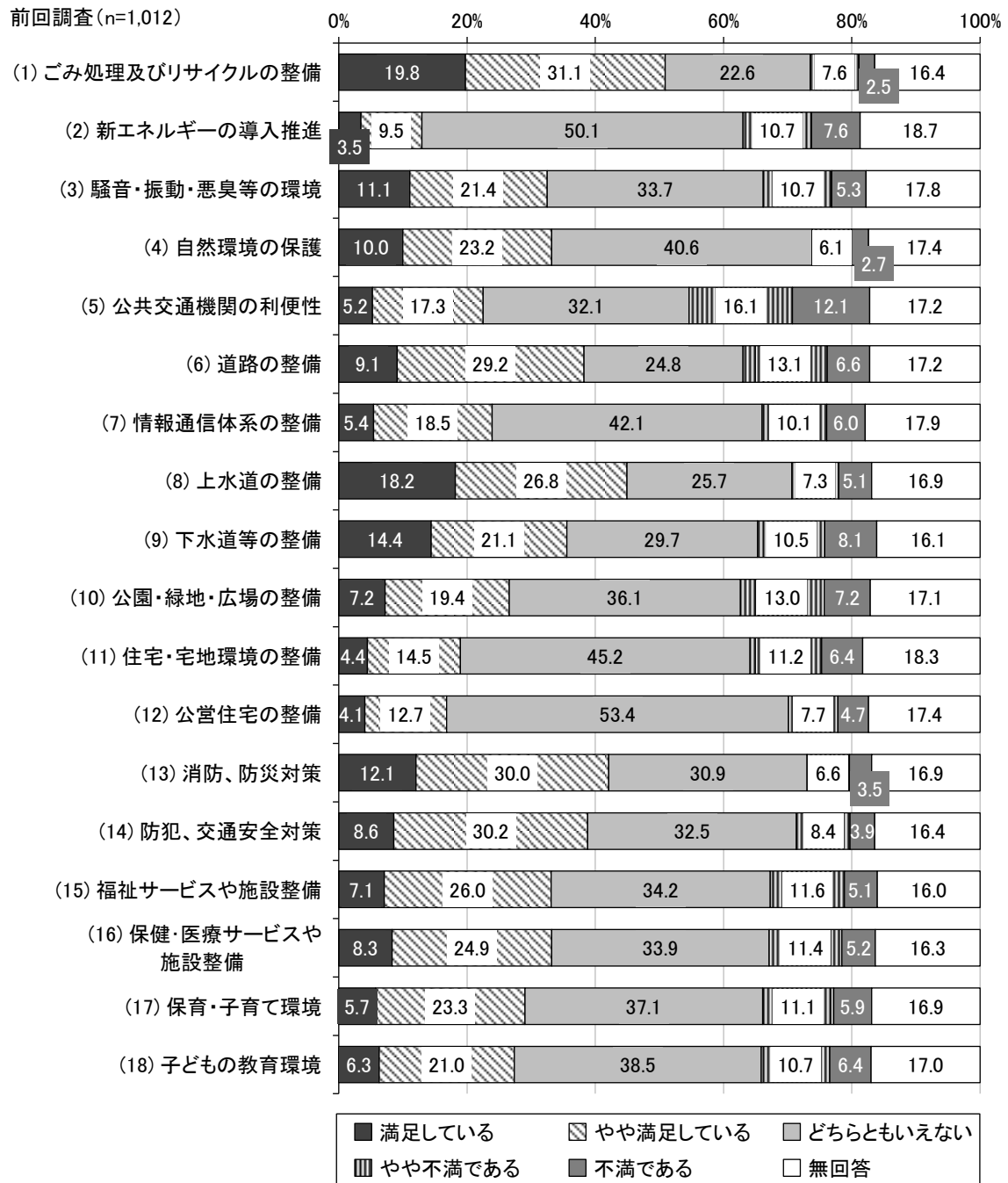
『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）では、《2》の〔⑦居住環境の整備と空き家対策の推進〕が32.2%と最も多く、次いで《3》の〔③工業の振興〕が29.8%、《2》の〔⑥合理的な土地利用の推進〕が28.0%となっています。



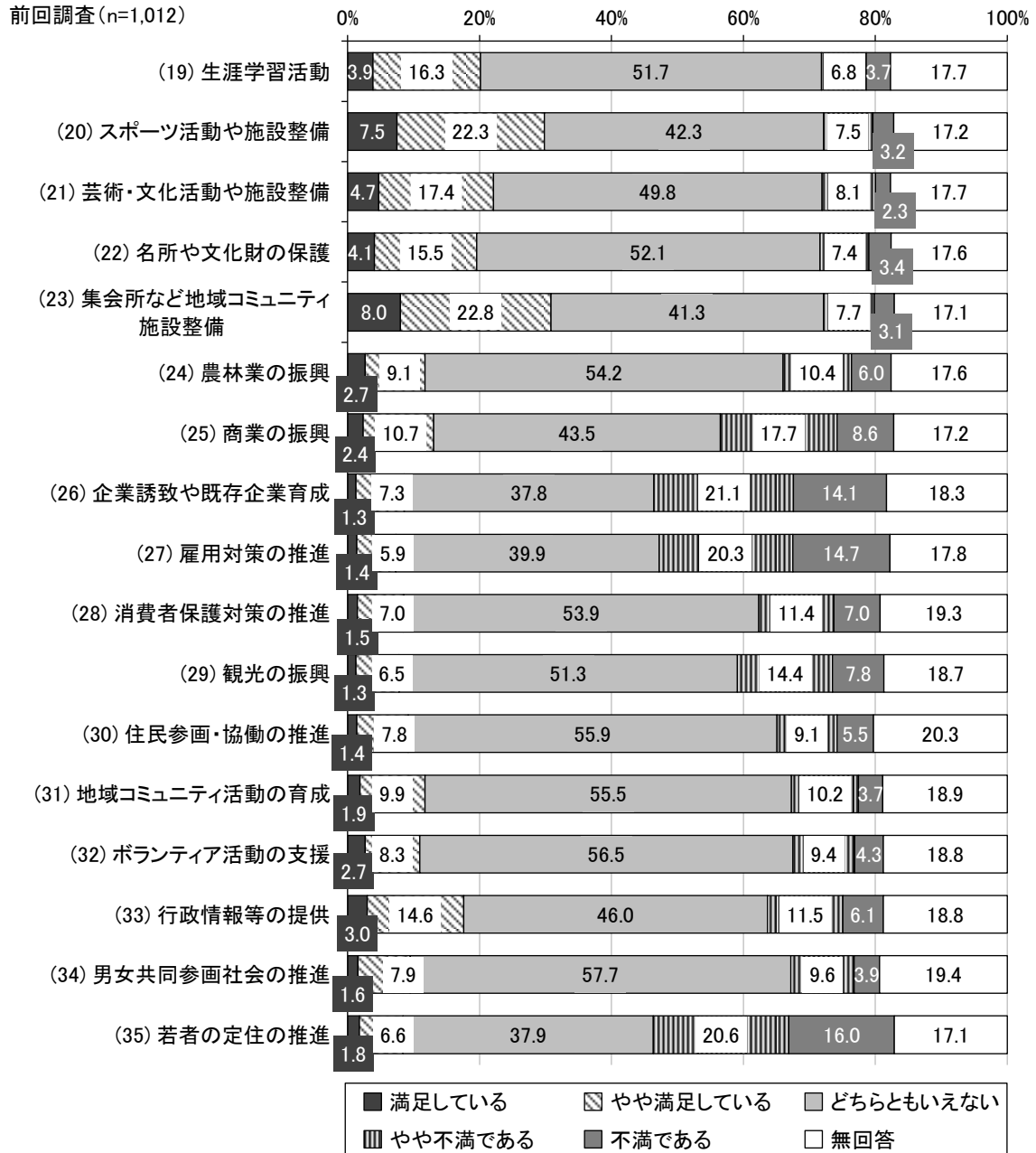
①現在の満足度



【参考】むらの各環境に関する満足度



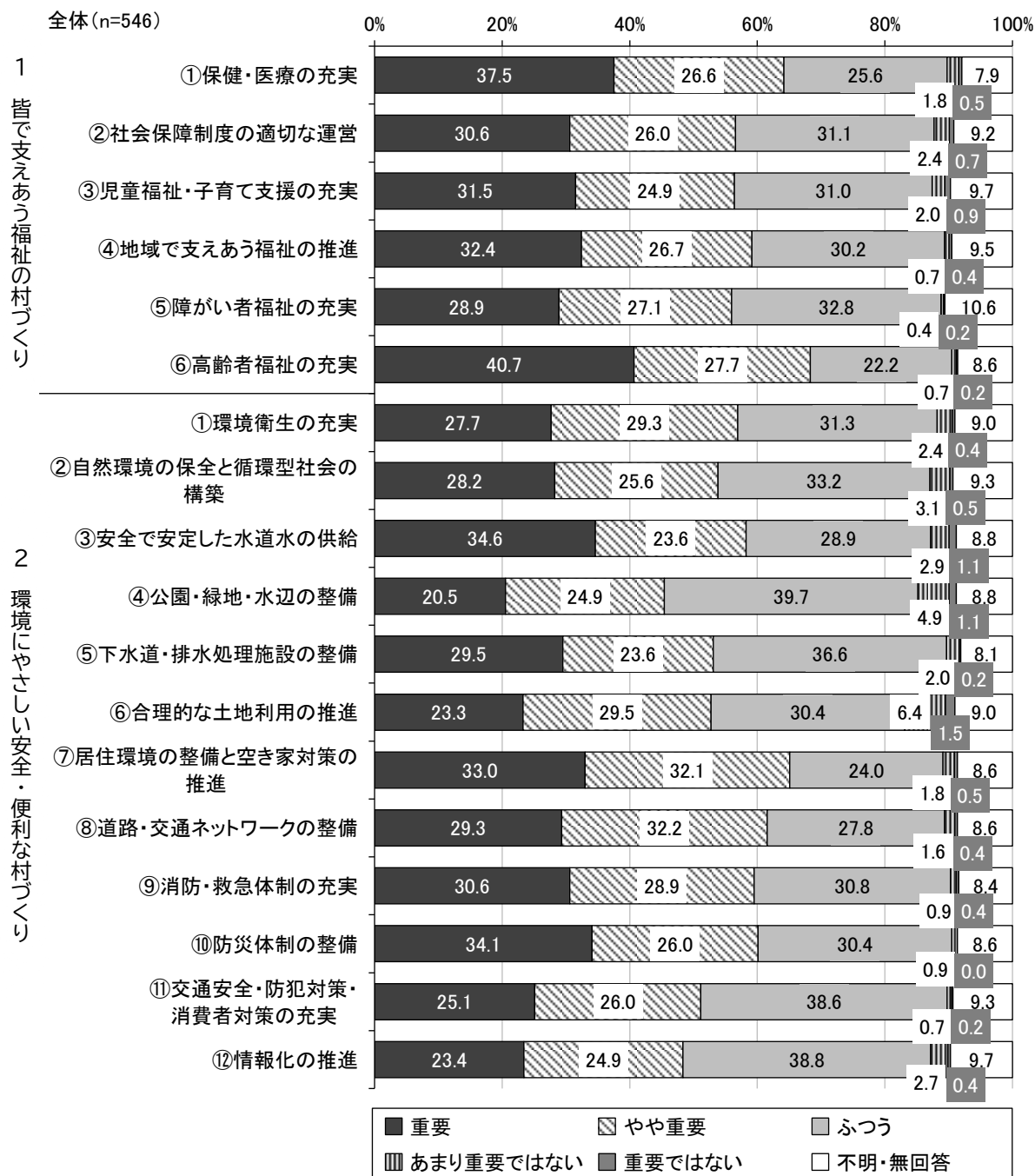
【参考】むらの各環境に関する満足度



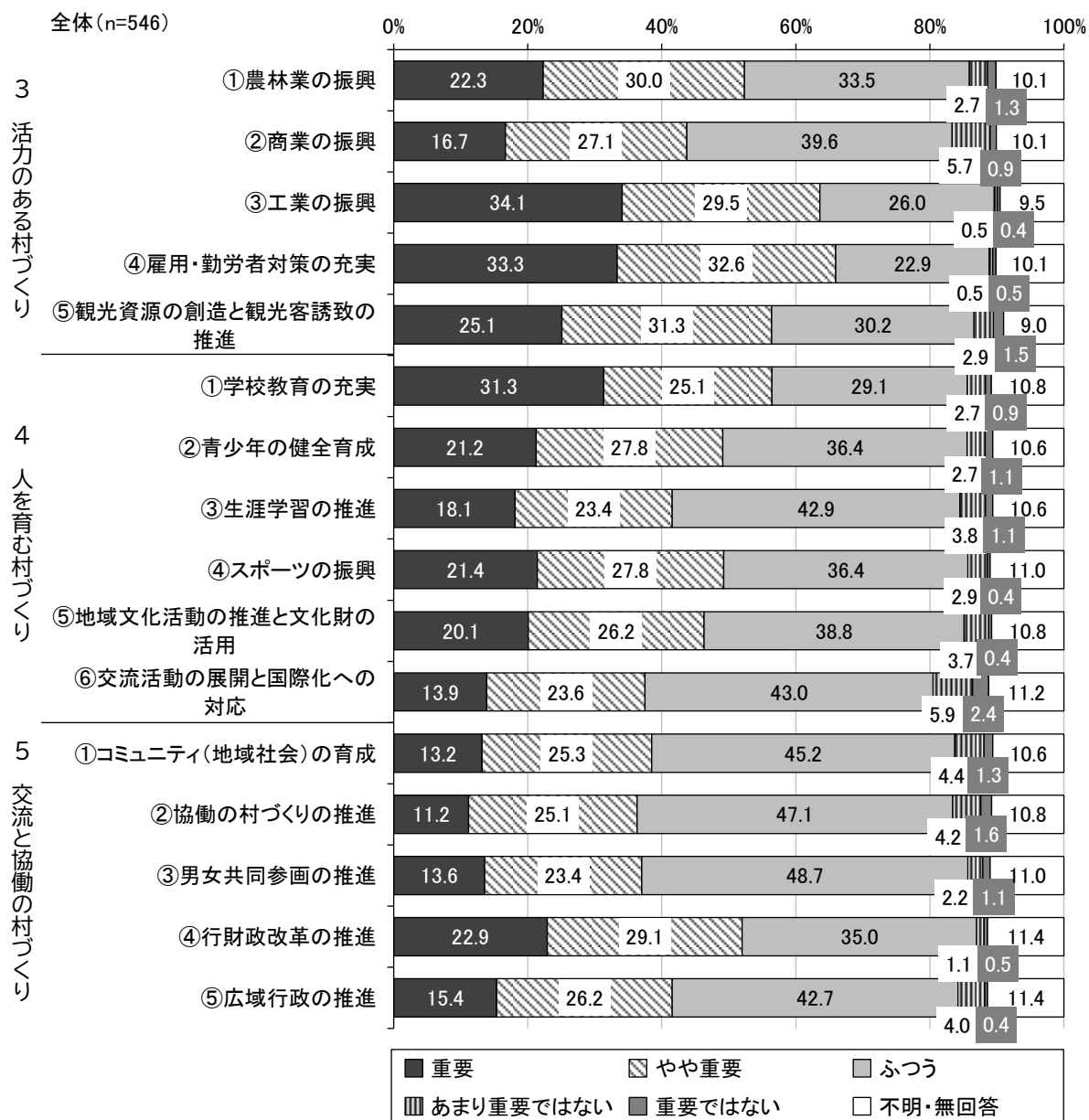
②今後の重要度（それぞれ1つずつ○）

『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）では、《1》の〔⑥高齢者福祉の充実〕が68.4%と最も多く、《3》の〔④雇用・勤労者対策の充実〕が65.9%、《2》の〔⑦居住環境の整備と空き家対策の推進〕が65.1%となっています。

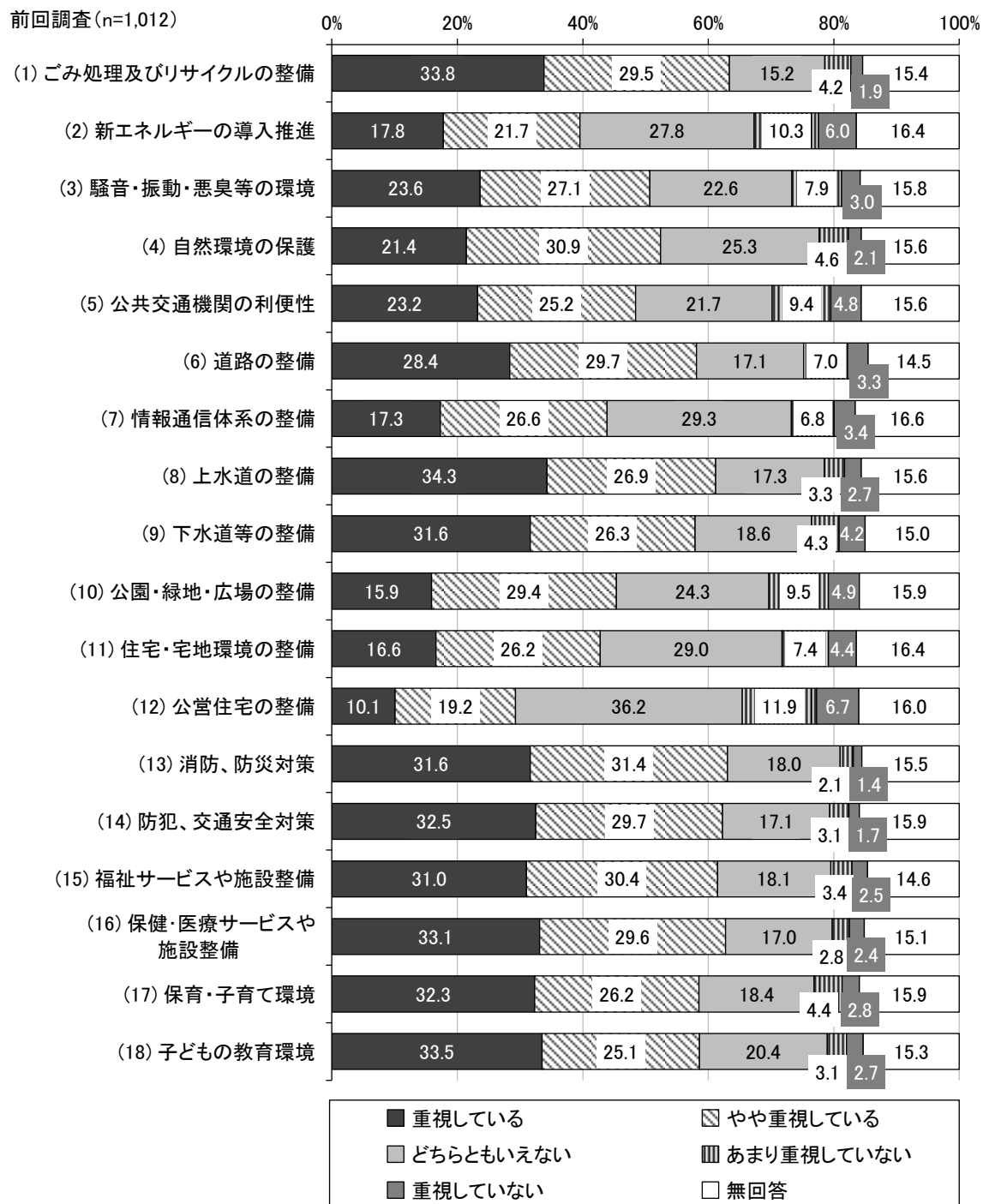
『重要ではない』（「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計）では、すべての項目で1割未満となっており、《4》の〔⑥交流活動の展開と国際化への対応〕が8.3%、《2》の〔⑥合理的な土地利用の推進〕が7.9%、《3》の〔②商業の振興〕が6.6%となっています。



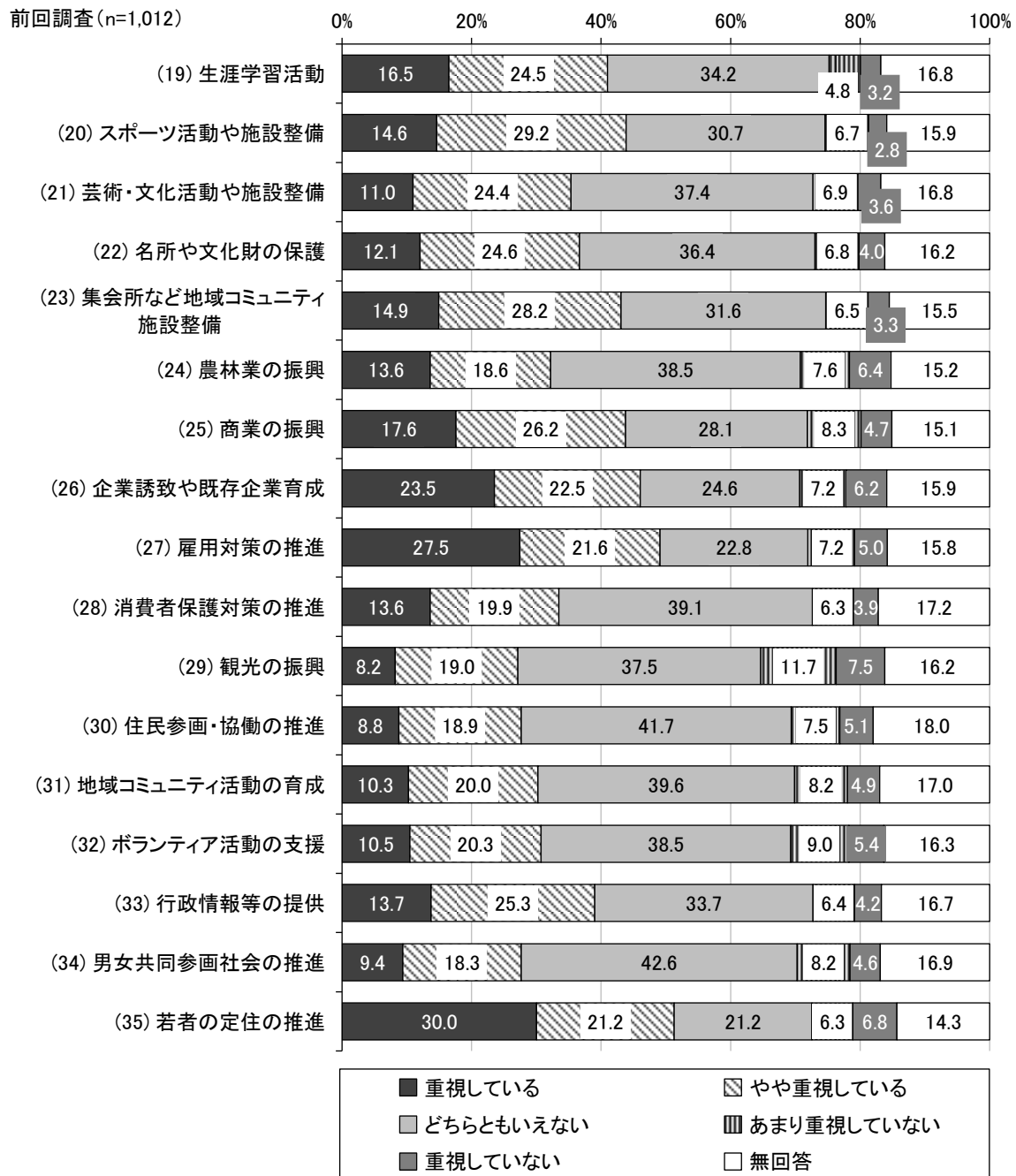
②今後の重要度



【参考】むらの各環境に関する重要度

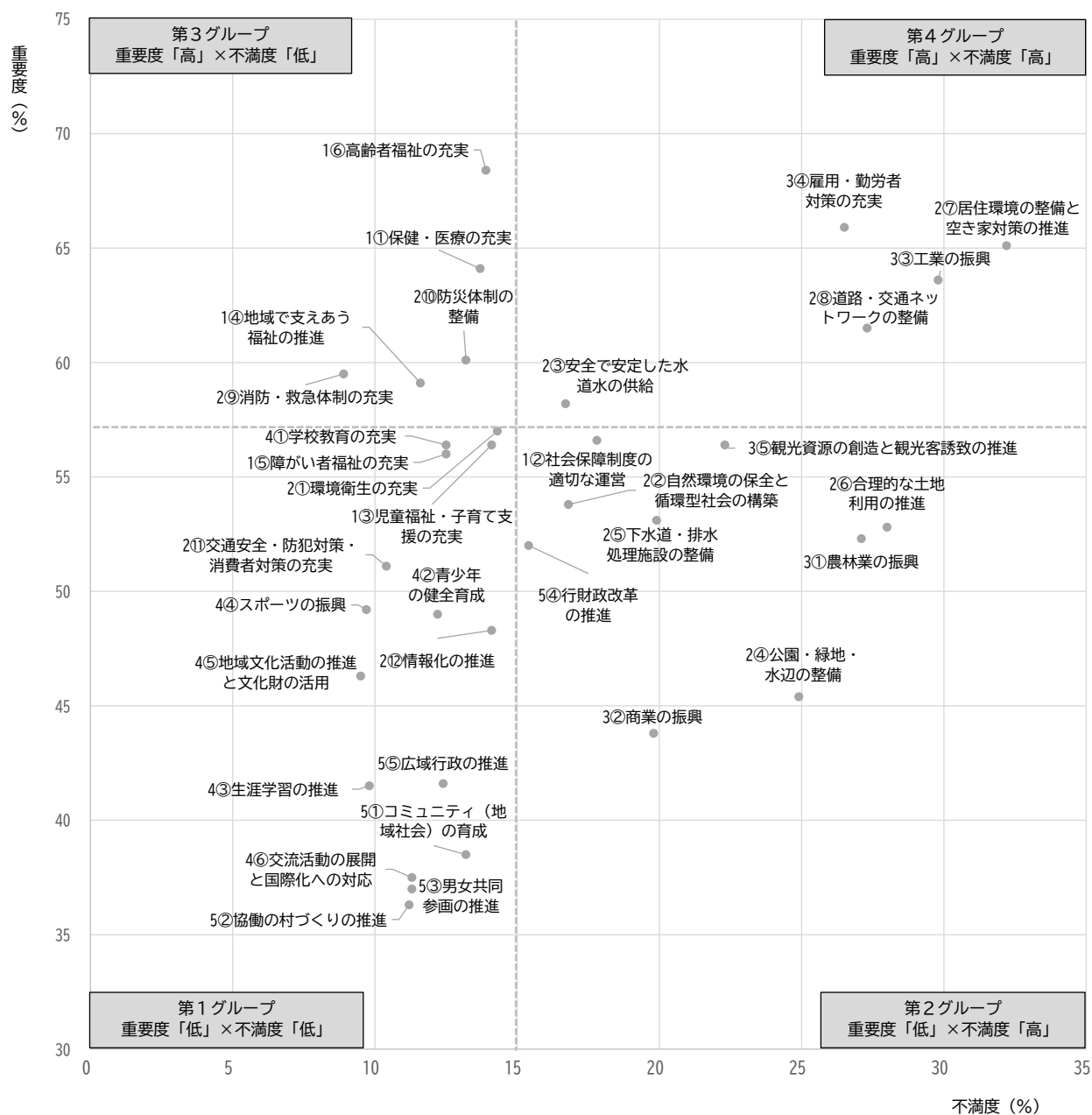


【参考】むらの各環境に関する重要度



■満足度と重要度の評価

村の取り組みの満足度と重要度について、重要度が高いものの、不満度も高い「第4グループ」には、「安全で安定した水道水の供給」、「雇用・就労者対策の充実」、「道路・交通ネットワークの整備」「工業の振興」、「居住環境の整備と空き家対策の推進」が属しています。

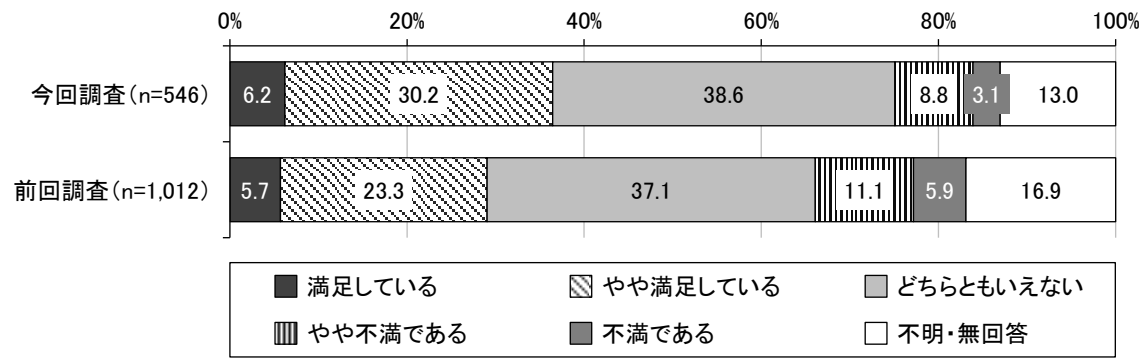


問 27 あなたは、村の「保育・子育て環境」に関する取り組みについて、満足していますか。
(1つに○)

「どちらともいえない」が 38.6%と最も多く、次いで「やや満足している」が 30.2%、「やや不満である」が 8.8%となっています。

前回調査と比較すると、「やや満足している」が 6.9 ポイント増加しています。

年代別にみると、〔70 代〕では「やや満足している」、その他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっています。

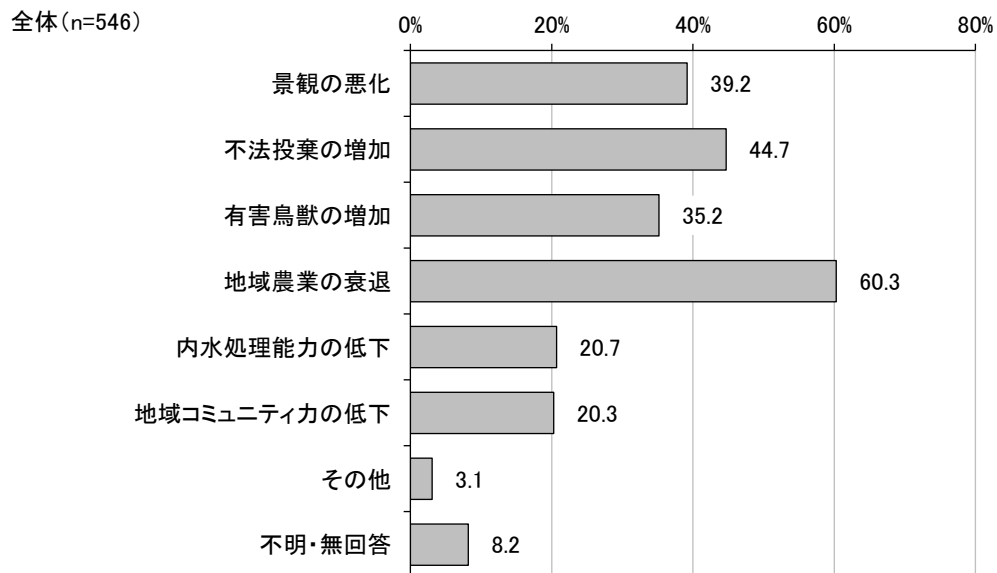


		n	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	不明・無回答
		%						
全体		546	6.2	30.2	38.6	8.8	3.1	13.0
年代別	10代	9	–	33.3	44.4	11.1	–	11.1
	20代	32	12.5	21.9	34.4	12.5	9.4	9.4
	30代	41	–	24.4	48.8	17.1	4.9	4.9
	40代	74	4.1	29.7	41.9	10.8	9.5	4.1
	50代	74	2.7	32.4	44.6	9.5	1.4	9.5
	60代	125	4.8	28.8	43.2	12.8	3.2	7.2
	70代	134	6.0	38.8	34.3	3.7	–	17.2
	80代以上	55	20.0	16.4	21.8	–	–	41.8

問 28 現在、国では阿武隈川流域の水害を防ぐため、村内に阿武隈川上流遊水地群（第2遊水地）の整備を進めています。国は令和10年度の完成を目指し整備を進めていますが、当該遊水地完成後の地域にはどのような影響があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「地域農業の衰退」が60.3%と最も多く、次いで「不法投棄の増加」が44.7%、「景観の悪化」が39.2%となっています。

年代別にみると、〔30代〕〔50代〕では「不法投棄の増加」、その他の年代では「地域農業の衰退」が最も多くなっています。



	n	景観の悪化	不法投棄の増加	有害鳥獣の増加	地域農業の衰退	内水処理能力の低下	地域コミュニティ力の低下	その他	不明・無回答
全体	546	39.2	44.7	35.2	60.3	20.7	20.3	3.1	8.2
年代別	10代	9	44.4	44.4	—	22.2	22.2	11.1	—
	20代	32	31.3	37.5	15.6	53.1	18.8	31.3	12.5
	30代	41	29.3	58.5	26.8	53.7	34.1	17.1	2.4
	40代	74	36.5	43.2	28.4	63.5	13.5	12.2	8.1
	50代	74	31.1	55.4	39.2	47.3	23.0	21.6	8.1
	60代	125	48.0	47.2	40.0	65.6	10.4	16.0	5.6
	70代	134	48.5	43.3	45.5	66.4	32.8	29.1	2.2
	80代以上	55	21.8	25.5	25.5	60.0	12.7	14.5	18.2

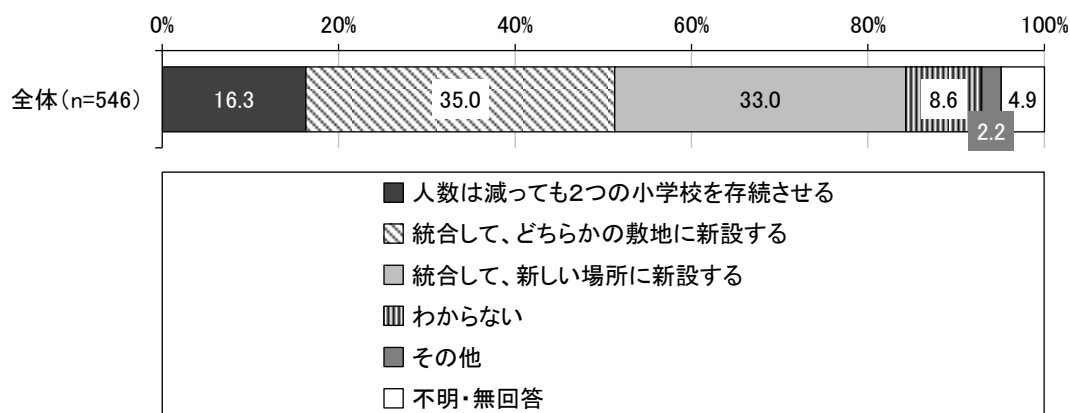
【その他回答】※「特になし」「分からない」等は除く

- 跡地活用次第で影響の度合いも変わるのでは。
- 完成像がわからないので、判断できない
- 広大な土地をどう活用するのか
- これ程広大な土地をつぶし、効果があるか非常に疑問
- 上記でメリットよりデメリットの方が上回るかと思えます
- 人口減少（同一回答他2件）
- 人口減少の加速
- 想定外の災害をもう1度見直して欲しい。
- 土地利用制限増加
- なに一つ良い事はない
- 平時の活用のしかたしだい
- 経済活動の低下
- 今まで洪水にならなかった所が水の流れの変化で洪水になる
- 役場の遊水地対策室業務は最低レベルで大変遺憾に思う。地域環境が大きく変わる事案なのに対策対応が未無。一部の人にとっては福島原発事故並みに匹敵する事案と受け止め、役場は対応するべきである

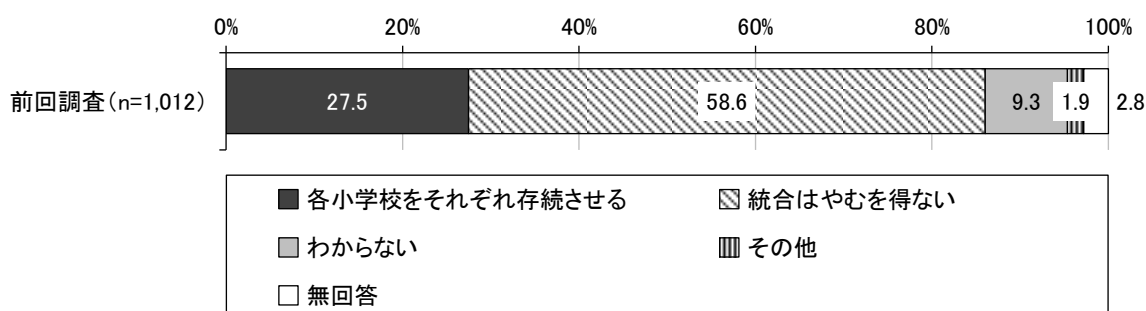
問 29 玉川第一小学校と須釜小学校について、今後どのような方向で進めるべきだと思いますか。
(1つに○)

「統合して、どちらかの敷地に新設する」が35.0%と最も多く、次いで「統合して、新しい場所に新設する」が33.0%、「人数は減っても2つの小学校を存続させる」が16.3%となっています。

年代別にみると、〔30代〕〔50代〕〔60代〕では「統合して、新しい場所に新設する」、その他の年代では「統合して、どちらかの敷地に新設する」が最も多くなっています。



【参考】



		%	n	人数は減つても2つの 小学校を存続させる	統合して、どちらかの 敷地に新設する	統合して、新しい場所 に新設する	わからない	その他	不明・無回答
全体			546	16.3	35.0	33.0	8.6	2.2	4.9
年代別	10代		9	22.2	44.4	22.2	－	11.1	－
	20代		32	21.9	43.8	21.9	3.1	3.1	6.3
	30代		41	22.0	29.3	36.6	4.9	4.9	2.4
	40代		74	14.9	41.9	32.4	2.7	4.1	4.1
	50代		74	14.9	29.7	39.2	9.5	4.1	2.7
	60代		125	20.8	30.4	34.4	12.0	0.8	1.6
	70代		134	11.2	37.3	33.6	9.7	0.7	7.5
	80代以上		55	14.5	36.4	23.6	12.7	－	12.7

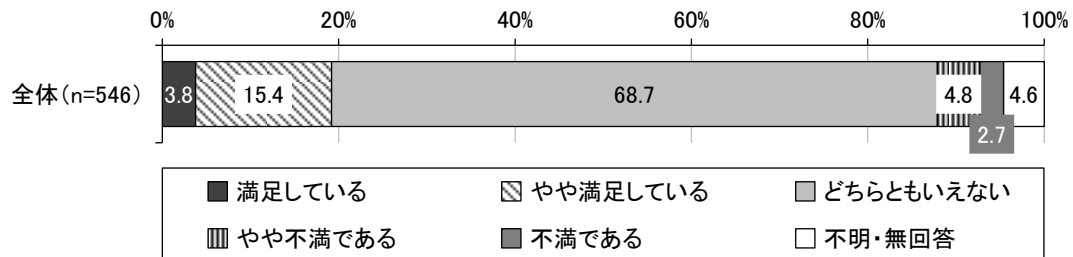
【その他回答】

- 現在の玉川第一小学校に移動する
- こども園となり
- 新設はしない
- 須釜地区に若い方が住める環境の整備、外からの子供の移住促進を考えてほしい
- 村民グラウンド近くに新しい小学校がベスト
- 玉川第一小に統合
- 玉川第一小の廃校
- 玉川第1小へ統合すべき
- 統合し、現存の校舎を改修する
- 統合して、今の施設を利用する
- 統合して新しい場所に新設する中学校と一緒にする
- 統合して今の建物を利用する
- 統合して玉一小を利用する
- 統合して玉川第一小学校の敷地に新設する
- 統合してどちらかの学校を存続させる
- 統合しても、新設の必要はない。それほど子供の数の増加はないと思う
- どちらかに、リフォームして使用する
- 認定子供のそばに集約
- 複式学級にしてまで存続させる必要があるのか？それによる子供の影響（学力低下等）をしっかりと考えてほしい。「複式学級をためてみる」のお試し期間になった子供はたまったものじゃない。そんなことするから村内少子化が進む！！しっかりと考えてほしい！！
- 私達時代昭和 25 年生まれで学校は●●分校に通学しました。複式学級でした
- 玉川中学校に近い事もあり、送迎の一元化出来る事を踏まえ、第一小学校に統合し、須釜小学校に役場として活用。現役場を更地にし、民間に売却または、住宅地に。
- 子供の人数が少なくなっていくから学校を減らすかどうかより若い人をどうやって増やしていくかの対策を考えた方がいいと思う

問 30 あなたは、村の「人権尊重や多文化共生」に関する取り組みについて、満足していますか。
(1つに○)

「どちらともいえない」が68.7%と最も多く、次いで「やや満足している」が15.4%、「やや不満である」が4.8%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「どちらともいえない」が最も多くなっています。

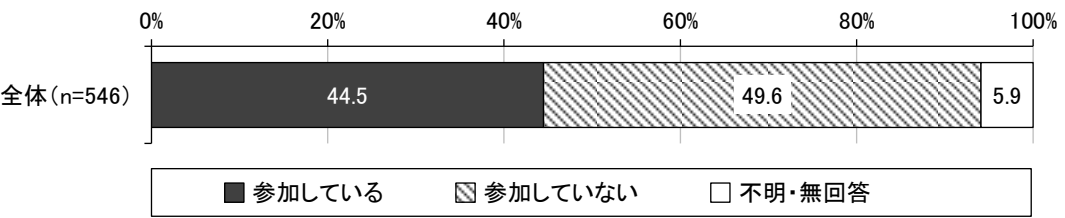


		n	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	不明・無回答
		%						
全体		546	3.8	15.4	68.7	4.8	2.7	4.6
年代別	10代	9	—	55.6	44.4	—	—	—
	20代	32	6.3	21.9	53.1	3.1	6.3	9.4
	30代	41	2.4	12.2	80.5	2.4	2.4	—
	40代	74	4.1	6.8	73.0	8.1	5.4	2.7
	50代	74	2.7	12.2	74.3	8.1	1.4	1.4
	60代	125	4.8	14.4	73.6	4.0	1.6	1.6
	70代	134	3.0	18.7	64.9	4.5	1.5	7.5
	80代以上	55	5.5	18.2	58.2	1.8	3.6	12.7

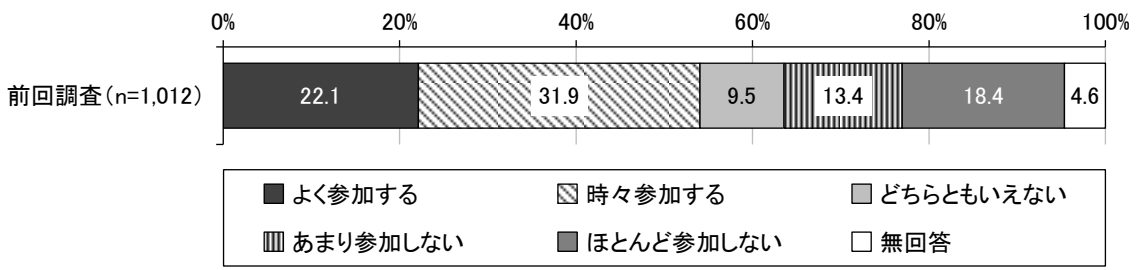
問 31 あなたは現在、地域の行事やイベントに参加していますか。(1つに○)

「参加している」が44.5%、「参加していない」が49.6%となっています。

年代別にみると、〔40代〕では「参加している」、その他の年代では「参加していない」が多くなっています。



【参考】



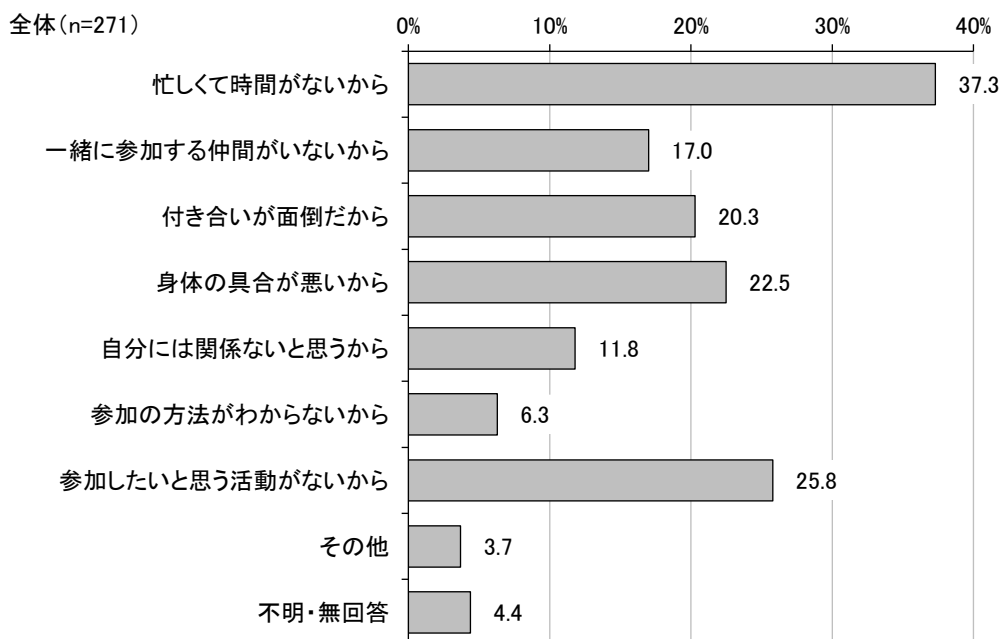
		n	参加している	参加していない	不明・無回答
			%		
全体		546	44.5	49.6	5.9
年代別	10代	9	22.2	77.8	－
	20代	32	34.4	59.4	6.3
	30代	41	46.3	53.7	－
	40代	74	60.8	36.5	2.7
	50代	74	43.2	54.1	2.7
	60代	125	48.0	48.8	3.2
	70代	134	45.5	46.3	8.2
	80代以上	55	20.0	60.0	20.0

問31で「参加していない」と答えた方

問32 参加していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「忙しくて時間がないから」が37.3%と最も多く、次いで「参加したいと思う活動がないから」が25.8%、「身体の具合が悪いから」が22.5%となっています。

年代別にみると、〔70代〕〔80代以上〕では「身体の具合が悪いから」、その他の年代では「忙しくて時間がないから」が最も多くなっています。



	n	忙しくて時間がないから	一緒に参加する仲間がないから	付き合いが面倒だから	身体の具合が悪いから	自分には関係ないと思うから	参加の方法がわからないから	参加したいと思う活動がないから	その他	不明・無回答
全体	271	37.3	17.0	20.3	22.5	11.8	6.3	25.8	3.7	4.4
年代別	10代	7	85.7	28.6	14.3	14.3	—	14.3	57.1	—
	20代	19	52.6	26.3	10.5	—	5.3	5.3	26.3	10.5
	30代	22	63.6	27.3	31.8	—	13.6	13.6	27.3	9.1
	40代	27	48.1	14.8	33.3	—	18.5	3.7	44.4	3.7
	50代	40	42.5	20.0	27.5	7.5	15.0	7.5	30.0	—
	60代	61	36.1	16.4	16.4	23.0	13.1	8.2	23.0	—
	70代	62	27.4	9.7	21.0	37.1	9.7	4.8	22.6	4.8
	80代以上	33	6.1	15.2	6.1	60.6	9.1	—	9.1	6.1

【その他回答】

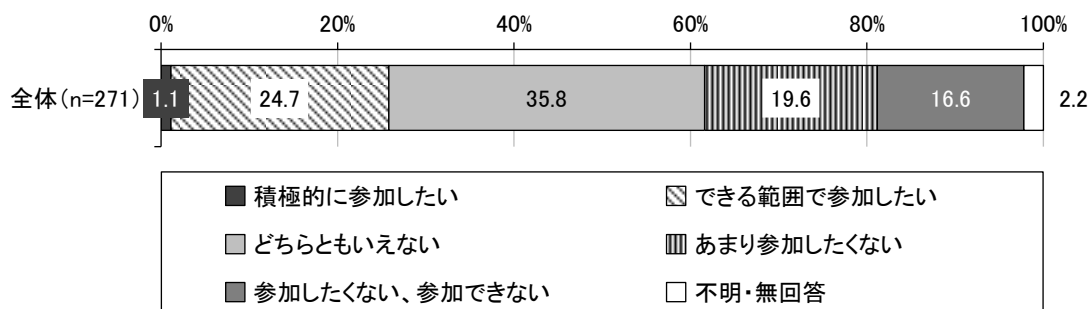
- 70才芝刈りしてました。その後病気にかかり今75才に今から何をしろと言いますか（年金生活）
- ウォーキングが無くなったからポイントはいらないので続けて欲しい
- 介護で手が離せない
- 関心がなかった
- 行事やイベントがいつどこで行われているかわからない、知らないため
- 高齢者の為参加しない
- 仕事でつかれているのにでるわけない
- 自分で取り組んでいるものがある
- そもそも村外にすることが多いから
- 仲間のさそいがいから行きづらい
- 何のイベントがあるかわからないから
- 前にスポーツクラブに入金しましたが参加したいスポーツが無くて、1年が過ぎました。今も同じですね
- 村八分になってしまった
- 免許返したので～。送迎があれば参加します
- 村外にいるから

問31で「参加していない」と答えた方

問33 あなたは、地域の行事やイベントに参加したいと思いますか。（1つに○）

「どちらともいえない」が35.8%と最も多く、次いで「できる範囲で参加したい」が24.7%、「あまり参加したくない」が19.6%となっています。

年代別にみると、〔30代〕では「できる範囲で参加したい」、〔80代以上〕では「参加したくない、参加できない」、その他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっています。



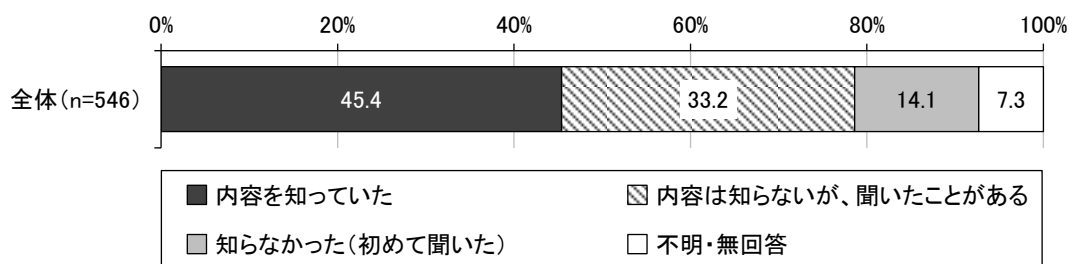
	n	い積極 的に 参加 した	しで きる 範 囲 で 参 加	いど ち ら と も い え な	なあ い ま り 参 加 し た く	参 加 で し た く ない 、	不 明 ・ 無 回 答
%							
全体	271	1.1	24.7	35.8	19.6	16.6	2.2
年代別	10代	7	-	42.9	-	42.9	14.3
	20代	19	-	26.3	36.8	15.8	21.1
	30代	22	9.1	31.8	27.3	18.2	13.6
	40代	27	-	14.8	37.0	29.6	18.5
	50代	40	2.5	22.5	32.5	27.5	12.5
	60代	61	-	31.1	47.5	9.8	9.8
	70代	62	-	25.8	40.3	19.4	11.3
	80代以上	33	-	12.1	21.2	18.2	42.4

6 将来像や今後の取り組みについて

問 34 あなたは、SDGs（持続可能な開発目標）を知っていましたか。（1つに○）

「内容を知っていた」が45.4%と最も多く、次いで「内容は知らないが、聞いたことがある」が33.2%、「知らなかった（初めて聞いた）」が14.1%となっています。

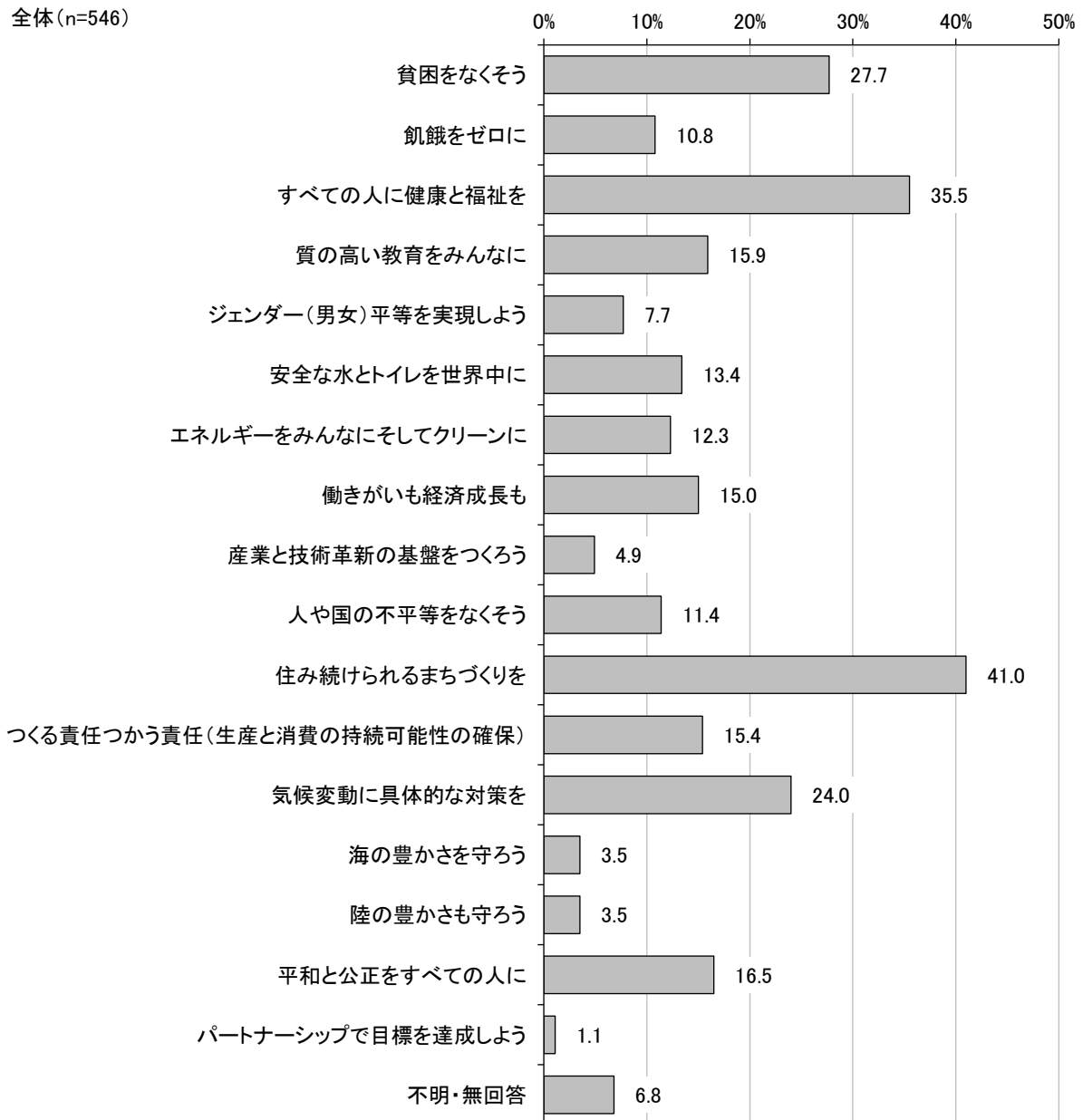
年代別にみると、〔70代〕では「内容は知らないが、聞いたことがある」、〔80代以上〕では「知らなかった（初めて聞いた）」、その他の年代では「内容を知っていた」が最も多くなっています。



		n	内容を 知って いた	内容は 知らない がある が、	知らない かった （初め 聞いた）	不明・ 無回答
%						
全体		546	45.4	33.2	14.1	7.3
年代別	10代	9	88.9	11.1	—	—
	20代	32	71.9	12.5	6.3	9.4
	30代	41	48.8	39.0	9.8	2.4
	40代	74	67.6	23.0	2.7	6.8
	50代	74	56.8	36.5	5.4	1.4
	60代	125	45.6	36.0	13.6	4.8
	70代	134	29.1	39.6	20.9	10.4
	80代以上	55	12.7	32.7	36.4	18.2

問 35 あなたは現在、SDGs の 17 の目標のうち、どの目標が特に大切に感じますか。
(主なものを 3 つまで○)

「住み続けられるまちづくりを」が 41.0%と最も多く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が 35.5%、
「貧困をなくそう」が 27.7%となっています。



年代別にみると、〔30代〕〔70代〕〔80代以上〕では「すべての人に健康と福祉を」、その他の年代では「住み続けられるまちづくりを」が最も多くなっています。

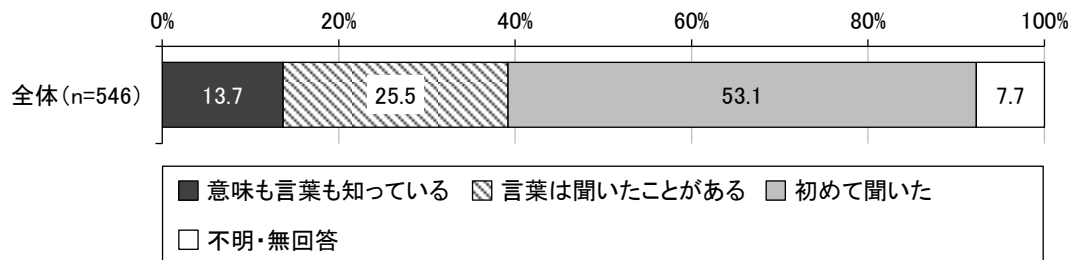
		n	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー（男女）平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう
		%									
全体		546	27.7	10.8	35.5	15.9	7.7	13.4	12.3	15.0	4.9
年代別	10代	9	22.2	22.2	44.4	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1	－
	20代	32	9.4	6.3	34.4	21.9	15.6	18.8	－	25.0	6.3
	30代	41	29.3	17.1	46.3	29.3	17.1	24.4	14.6	24.4	－
	40代	74	24.3	14.9	23.0	21.6	6.8	9.5	13.5	20.3	6.8
	50代	74	28.4	9.5	31.1	13.5	8.1	13.5	6.8	23.0	4.1
	60代	125	30.4	12.0	32.8	17.6	7.2	9.6	20.0	12.8	6.4
	70代	134	34.3	7.5	38.1	8.2	5.2	16.4	11.9	7.5	5.2
	80代以上	55	20.0	9.1	47.3	10.9	1.8	5.5	7.3	9.1	3.6

		n	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	（生産と消費の持続可能な）性の確保	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう	不明・無回答
		%										
全体		546	11.4	41.0	15.4	24.0	3.5	3.5	16.5	1.1	6.8	
年代別	10代	9	33.3	33.3	－	11.1	－	－	33.3	－	－	
	20代	32	25.0	43.8	3.1	15.6	－	3.1	21.9	6.3	6.3	
	30代	41	14.6	43.9	2.4	12.2	4.9	2.4	7.3	－	2.4	
	40代	74	10.8	41.9	12.2	29.7	6.8	4.1	20.3	－	4.1	
	50代	74	13.5	44.6	17.6	21.6	5.4	4.1	17.6	－	2.7	
	60代	125	9.6	44.8	24.0	25.6	3.2	3.2	12.8	0.8	3.2	
	70代	134	9.0	35.8	21.6	31.3	2.2	3.7	17.9	1.5	8.2	
	80代以上	55	3.6	36.4	1.8	14.5	1.8	3.6	14.5	1.8	25.5	

問 36 あなたは、DXを知っていますか。(1つに○)

「初めて聞いた」が53.1%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が25.5%、「意味も言葉も知っている」が13.7%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「初めて聞いた」が最も多くなっています。

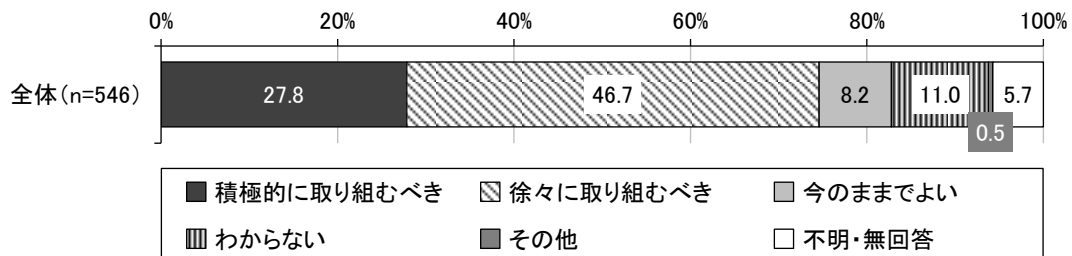


		n	意味も言葉も知っている	言葉は聞いたことがある	初めて聞いた	不明・無回答
			%			
全体		546	13.7	25.5	53.1	7.7
年代別	10代	9	22.2	—	77.8	—
	20代	32	25.0	18.8	46.9	9.4
	30代	41	12.2	31.7	53.7	2.4
	40代	74	29.7	23.0	43.2	4.1
	50代	74	20.3	33.8	43.2	2.7
	60代	125	9.6	29.6	57.6	3.2
	70代	134	6.0	24.6	58.2	11.2
	80代以上	55	3.6	14.5	56.4	25.5

問 37 今後、自治体における各種デジタル技術の導入など、行政サービスのデジタル化を推進するための取り組みについて、どのようにお考えですか。（1つに○）

「徐々に取り組むべき」が46.7%と最も多く、次いで「積極的に取り組むべき」が27.8%、「わからない」が11.0%となっています。

年代別にみると、〔20代〕では「積極的に取り組むべき」「徐々に取り組むべき」、〔80代以上〕では「わからない」、その他の年代では「徐々に取り組むべき」が最も多くなっています。



		n	積極的 に取り組 むべき	徐々 に取り組 むべき	今の ままで よい	わか らない	その 他	不明・ 無回 答
	%							
全体		546	27.8	46.7	8.2	11.0	0.5	5.7
年代別	10代	9	44.4	55.6	—	—	—	—
	20代	32	43.8	43.8	6.3	6.3	—	—
	30代	41	34.1	51.2	4.9	7.3	2.4	—
	40代	74	43.2	44.6	5.4	4.1	—	2.7
	50代	74	20.3	58.1	12.2	8.1	—	1.4
	60代	125	28.0	48.0	6.4	14.4	1.6	1.6
	70代	134	21.6	50.0	9.0	11.2	—	8.2
	80代以上	55	12.7	21.8	14.5	23.6	—	27.3

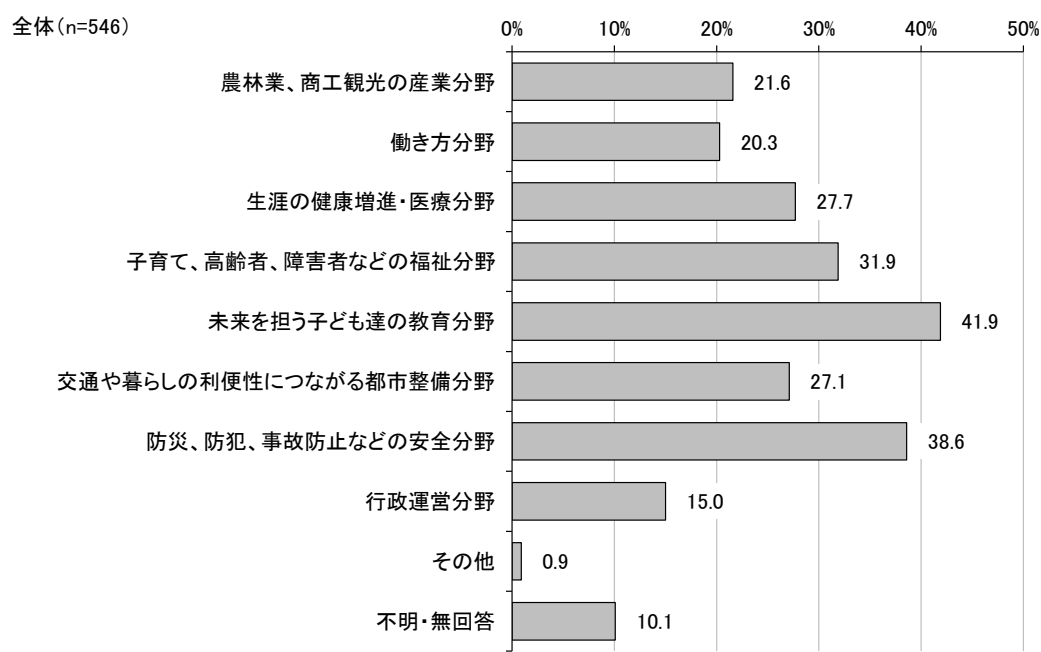
【その他回答】

- 需要を考えて対応すべき
- 二本立てで推進
- 大反対！高齢者に優しくない
- ほりをふさいで欲しい
- 今後は時代と共に必要だと思うが、高齢者や一部の人が理解しやすく実施する方法を望む
- デジタル化は便利だと思うがシステムトラブル等で利用出来ない様な状況が続くと困る

問 38 デジタル技術の導入・活用について、どのような分野で進むことを期待しますか。
(あてはまるもの3つまで○)

「未来を担う子ども達の教育分野」が41.9%と最も多く、次いで「防災、防犯、事故防止などの安全分野」が38.6%、「子育て、高齢者、障害者などの福祉分野」が31.9%となっています。

年代別にみると、〔50代〕では「防災、防犯、事故防止などの安全分野」、〔70代〕では「未来を担う子ども達の教育分野」「防災、防犯、事故防止などの安全分野」、その他の年代では「未来を担う子ども達の教育分野」が最も多くなっています。



	n	農 林 業 、 商 工 観 光 の 産 業	働 き 方 分 野	野 生 の 健 康 増 進 ・ 医 療 分	な ど の 福 祉 分 野 、 高 齢 者 、 障 害 者	育 未 来 を 担 う 子 ど も 達 の 教 育 分 野	つ 交 通 や 暮 ら し の 利 便 性 に つ な が る 都 市 整 備 分 野	ど 防 災 、 防 犯 、 事 故 防 止 な ど の 安 全 分 野	行 政 運 営 分 野	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体	546	21.6	20.3	27.7	31.9	41.9	27.1	38.6	15.0	0.9	10.1
年代別	10代	9	11.1	44.4	44.4	44.4	55.6	33.3	-	-	-
	20代	32	34.4	34.4	15.6	37.5	40.6	21.9	28.1	21.9	6.3
	30代	41	26.8	24.4	22.0	34.1	51.2	36.6	41.5	12.2	2.4
	40代	74	21.6	29.7	21.6	21.6	50.0	33.8	43.2	16.2	5.4
	50代	74	14.9	21.6	20.3	37.8	47.3	25.7	48.6	14.9	4.1
	60代	125	26.4	17.6	31.2	33.6	41.6	28.8	40.8	8.8	5.6
	70代	134	20.1	16.4	34.3	34.3	37.3	26.1	37.3	20.9	12.7
	80代以上	55	12.7	7.3	27.3	21.8	29.1	9.1	23.6	12.7	40.0

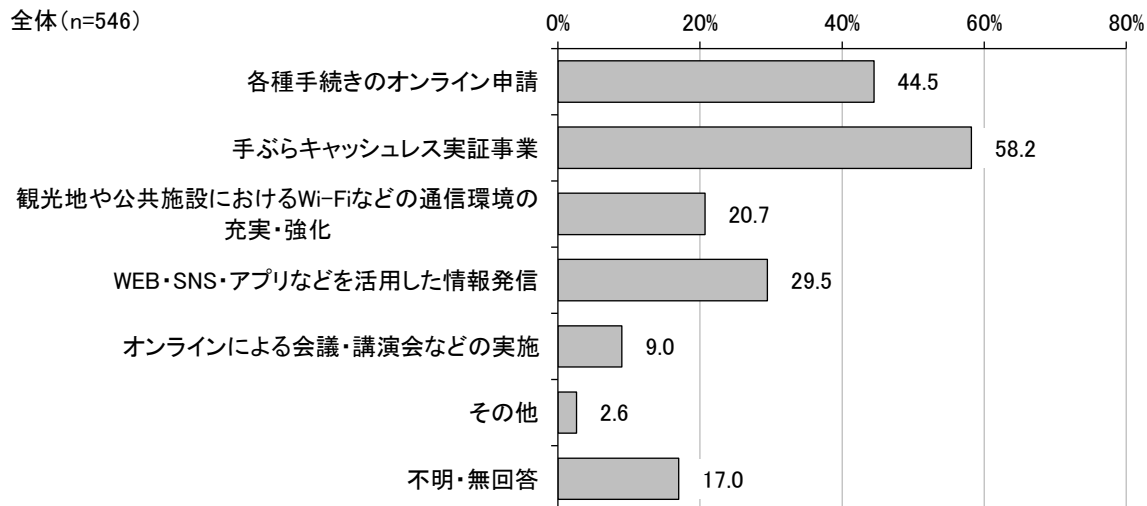
【その他回答】

- 高齢者のためわからない
- デジタルになっても対応出来ず
- 全てに於いて
- 上記全てにおいて活用できる部分は活用すべきと思いますがデジタルネイティブな子どもを対象にした方がその親にも波及させやすいと思う。
- どうでもいい
- 全ての分野
- わからない（同一回答他1件）

問 39 玉川村で取り組んでいる以下のデジタル関連事業のうち、知っているものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

「手ぶらキャッシュレス実証事業」が 58.2%と最も多く、次いで「各種手続きのオンライン申請」が 44.5%、「WEB・SNS・アプリなどを活用した情報発信」が 29.5%となっています。

年代別にみると、〔20 代〕では「手ぶらキャッシュレス実証事業」「WEB・SNS・アプリなどを活用した情報発信」、その他の年代では「手ぶらキャッシュレス実証事業」が最も多くなっています。



	n	各種 申請 手続きの オンライン	実証 事業 手ぶら キャッシュ レス	通信 環境 の 充実・ 強化	観光 地や 公共 施設 にお ける	情報 発信 など を 活用 した 情報 プ	WEB ・ SNS ・ ア プ リ な ど を 活 用 し た 情 報 発 信	議 ・ オン ライ ン に よ る 実 施	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体	546	44.5	58.2	20.7	29.5	9.0	2.6	17.0		
年代別	10代	9	44.4	66.7	22.2	77.8	22.2	-	-	-
	20代	32	50.0	53.1	37.5	53.1	15.6	-	-	12.5
	30代	41	36.6	61.0	19.5	41.5	7.3	2.4	9.8	
	40代	74	50.0	70.3	20.3	37.8	6.8	4.1	6.8	
	50代	74	45.9	60.8	27.0	32.4	12.2	2.7	10.8	
	60代	125	45.6	64.8	16.0	28.8	10.4	1.6	12.8	
	70代	134	47.8	56.0	23.1	17.9	7.5	3.0	21.6	
	80代以上	55	25.5	27.3	7.3	14.5	3.6	3.6	49.1	

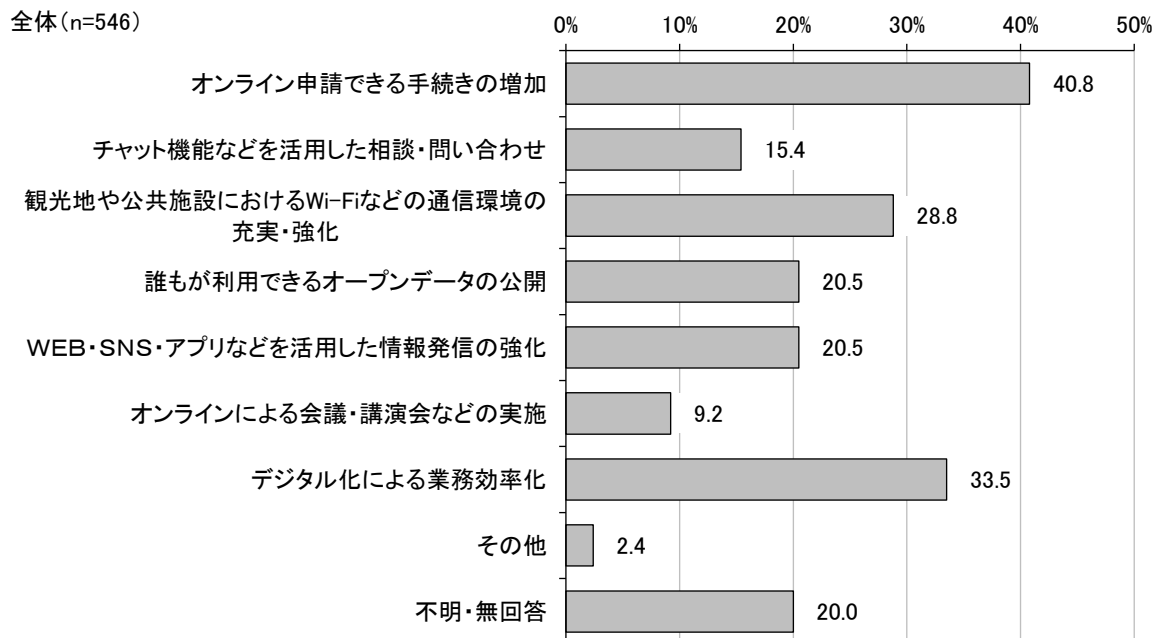
【その他回答】

- 知らない(同一回答他2件)
- すべて知りません
- 正しくは全て知りません
- どれも知らなかった
- 使われている頻度を認識して欲しい
- デジタルにたよる行政はいかなものか
- 取り組んでいることを知らない
- なし(同一回答他1件)
- わからない(同一回答他4件)
- よくわからない、生活と直接的な結びつきが感じられない
- 利用したことがないのでわかりません。
- 取り組みそのものをしなかった

問 40 特に玉川村で取り組むべきデジタル化は何だと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

「オンライン申請できる手続きの増加」が 40.8%と最も多く、次いで「デジタル化による業務効率化」が 33.5%、「観光地や公共施設における Wi-Fi などの通信環境の充実・強化」が 28.8%となっています。

年代別にみると、〔50 代〕では「オンライン申請できる手続きの増加」「観光地や公共施設における Wi-Fi などの通信環境の充実・強化」「デジタル化による業務効率化」、その他の年代では「オンライン申請できる手続きの増加」が最も多くなっています。



	n	増加	オンライン申請できる手続きの	チャット機能などを活用した相談・問い合わせ	強化	観光地や公共施設における通信環境の充実・Wi-Fi	誰もが利用できるオープンデータの公開	活用した情報発信の強化	WEB・SNS・アプリなどを活用した情報発信の強化	オンラインによる会議・講演会などの実施	デジタル化による業務効率化	その他	不明・無回答
%													
全体	546	40.8	15.4	28.8	20.5	20.5	9.2	33.5	2.4	20.0			
年代別	10代	9	55.6	22.2	77.8	-	44.4	22.2	33.3	-	-		
	20代	32	56.3	31.3	28.1	9.4	28.1	3.1	50.0	3.1	3.1		
	30代	41	56.1	24.4	41.5	17.1	31.7	4.9	29.3	2.4	2.4		
	40代	74	50.0	23.0	24.3	20.3	29.7	6.8	41.9	1.4	4.1		
	50代	74	37.8	14.9	37.8	23.0	23.0	-	37.8	4.1	14.9		
	60代	125	40.0	16.0	32.8	16.0	20.0	9.6	33.6	-	20.8		
	70代	134	37.3	9.0	23.9	31.3	11.9	15.7	34.3	3.0	26.9		
	80代以上	55	18.2	3.6	5.5	14.5	9.1	12.7	9.1	5.5	56.4		

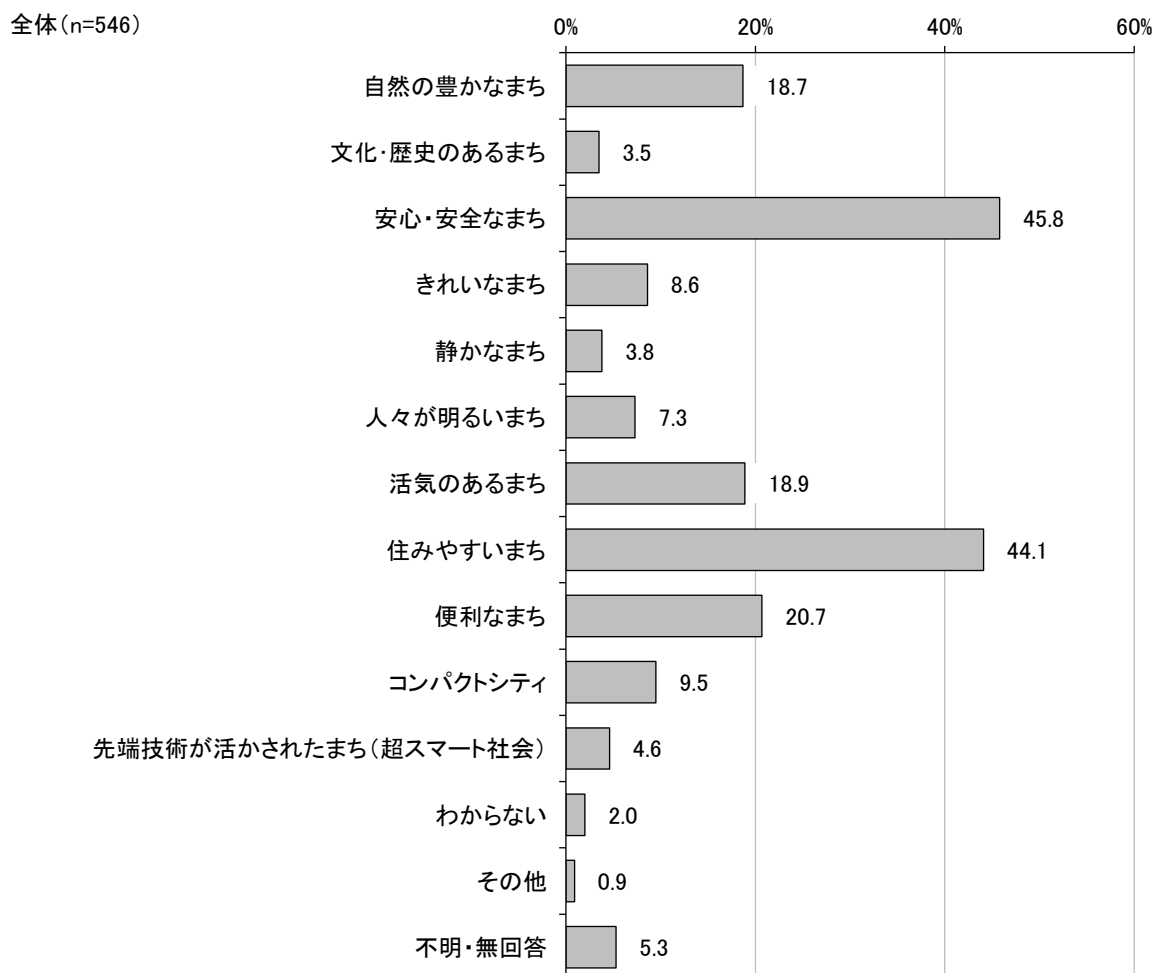
【その他回答】

- 回覧板の廃止
- ケイタイがつながらない(自宅くぼ地)
- 言葉やカタカナが多く、高齢者は理解できない←ますます高齢者はついていけない！
- しなくてもいい。
- 村民に寄り添う事を大事にしてほしい。
- 回らん物多くてムダ！デジタル化対応すべき！
- むり
- 利用したことがないのでわかりません。
- わからない（同一回答他5件）
- 高齢者に気軽に利用できるように説明
- 施設予約のオンライン化や支払いの電子決済導入。
- 文体で携帯が使えない

問 41 あなたは、これからの玉川村にどのようなまちづくりを期待しますか。

(主なもの2つまで○)

「安心・安全なまち」が45.8%と最も多く、次いで「住みやすいまち」が44.1%、「便利なまち」が20.7%となっています。



年代別にみると、〔70代〕〔80代以上〕では「安心・安全なまち」、その他の年代では「住みやすいまち」が最も多くなっています。

		n	自然の豊かなまち	文化・歴史のあるまち	安心・安全なまち	きれいなまち	静かなまち	人々が明るいまち	活気のあるまち
		%							
全体		546	18.7	3.5	45.8	8.6	3.8	7.3	18.9
年代別	10代	9	44.4	－	44.4	11.1	－	11.1	11.1
	20代	32	18.8	3.1	37.5	9.4	6.3	6.3	25.0
	30代	41	22.0	7.3	36.6	24.4	2.4	7.3	19.5
	40代	74	14.9	4.1	40.5	10.8	2.7	5.4	21.6
	50代	74	13.5	4.1	43.2	13.5	6.8	9.5	10.8
	60代	125	16.0	0.8	48.8	6.4	4.0	5.6	17.6
	70代	134	21.6	6.0	53.7	3.7	4.5	9.0	21.6
	80代以上	55	23.6	－	41.8	3.6	－	7.3	18.2

		n	住みやすいまち	便利なまち	コンパクトシティ	先端技術が活かされたまち（超スマート社会）	わからない	その他	不明・無回答
		%							
全体		546	44.1	20.7	9.5	4.6	2.0	0.9	5.3
年代別	10代	9	22.2	55.6	－	11.1	－	－	－
	20代	32	40.6	25.0	12.5	3.1	3.1	3.1	－
	30代	41	46.3	22.0	12.2	2.4	4.9	－	－
	40代	74	45.9	18.9	12.2	10.8	5.4	1.4	2.7
	50代	74	44.6	24.3	13.5	5.4	－	2.7	1.4
	60代	125	53.6	20.0	7.2	4.8	2.4	0.8	3.2
	70代	134	41.8	18.7	9.7	3.0	－	－	6.0
	80代以上	55	29.1	16.4	1.8	－	1.8	－	25.5

【その他回答】

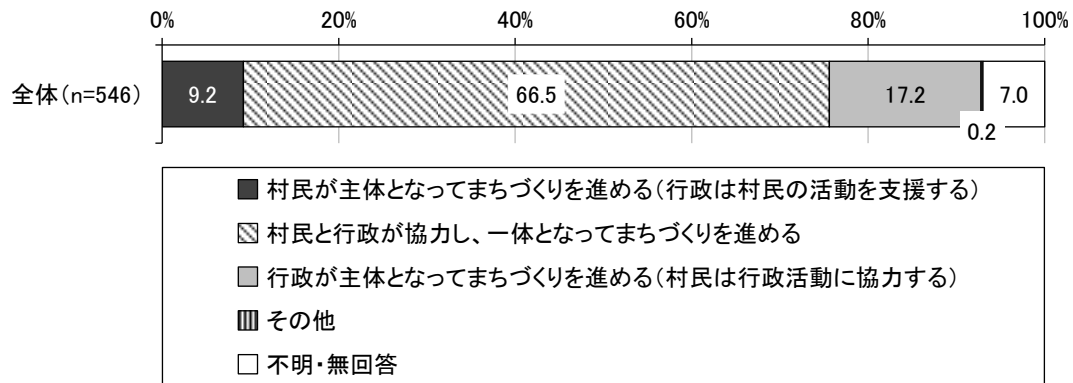
- 合併した玉川村
- 木の伐採すべき。ハチの巣の原因になる
- 清潔なまち
- 玉川らしい発展を期待します
- わからない
- 買い物難民にならない村

- 玉川村は、犯罪も殆ど無く、安心・安全で空港・鉄道もある自然豊かな村です。魅力的な村にするには、観光では限界がある、新しい発想や先進の技術の創出を玉川村から自然と共に見出せる人を育てるまちづくりが出来れば面白い。農村シリコンバレー

問 42 あなたは、これからのまちづくりの進め方についてどのように考えますか。(1つに○)

「村民と行政が協力し、一体となってまちづくりを進める」が 66.5%と最も多く、次いで「行政が主体となってまちづくりを進める(村民は行政活動に協力する)」が 17.2%、「村民が主体となってまちづくりを進める(行政は村民の活動を支援する)」が 9.2%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「村民と行政が協力し、一体となってまちづくりを進める」が最も多くなっています。



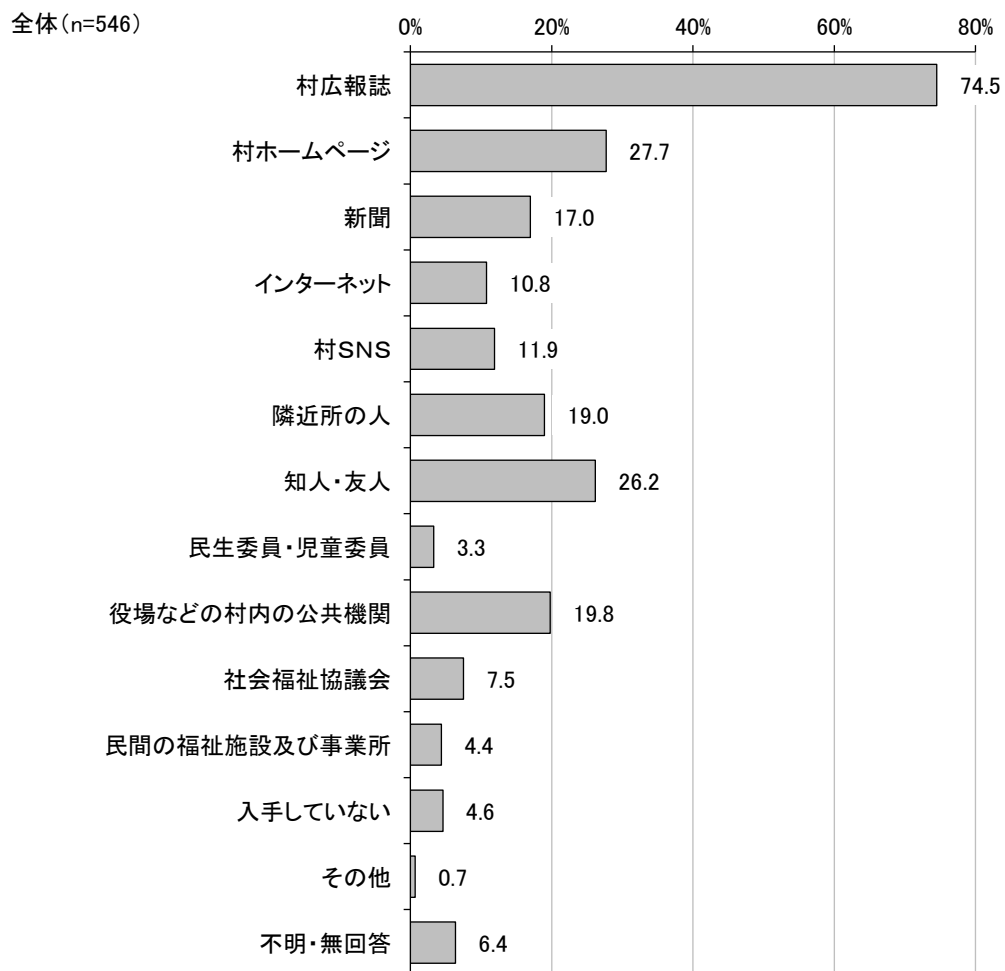
	n	動 を 支 援 す る (行 政 は 村 民 の 活 動 を 支 援 す る)	村 民 が 主 体 と な っ て ま ち づ く り を 進 め る (行 政 は 村 民 の 活 動 を 支 援 す る)	村 民 と 行 政 が 協 力 し 、 一 体 と な っ て ま ち づ く り を 進 め る	行 政 が 主 体 と な っ て ま ち づ く り を 進 め る (村 民 は 行 政 活 動 に 協 力 す る)	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
%							
全体	546	9.2	66.5	17.2	0.2	7.0	
年代別	10代	9	11.1	77.8	11.1	-	-
	20代	32	9.4	62.5	25.0	-	3.1
	30代	41	9.8	75.6	12.2	-	2.4
	40代	74	16.2	62.2	20.3	1.4	-
	50代	74	12.2	66.2	20.3	-	1.4
	60代	125	9.6	66.4	17.6	-	6.4
	70代	134	5.2	68.7	17.2	-	9.0
	80代以上	55	3.6	61.8	7.3	-	27.3

【その他回答】

- 行政主体のまちづくり
- 現時点で、玉川村に動線・導線を考えた戦略がないゆえ、不動の物を背負っている。これ以上、玉川村所有の建造物を増やさず、ある物を最大限に利用する為、第1に玉川村 dx 化！第2に実用的先端技術を導入。動線・導線を重視して住民と行政が一体となってまちづくりする

問 43 村の支援やサービスなどの情報の入手先を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「村広報誌」が 74.5%と最も多く、次いで「村ホームページ」が 27.7%、「知人・友人」が 26.2%となっています。



年代別にみると、すべての年代で「村広報誌」が最も多くなっています。

		n	村 広 報 誌	村 ホ ー ム ペ ー ジ	新 聞	イ ン タ ー ネ ッ ト	村 S N S	隣 近 所 の 人	知 人 ・ 友 人
		%							
全体		546	74.5	27.7	17.0	10.8	11.9	19.0	26.2
年 代 別	10代	9	66.7	55.6	22.2	55.6	33.3	11.1	22.2
	20代	32	65.6	34.4	6.3	25.0	25.0	6.3	28.1
	30代	41	56.1	41.5	4.9	19.5	22.0	17.1	24.4
	40代	74	71.6	41.9	4.1	13.5	21.6	13.5	33.8
	50代	74	74.3	36.5	10.8	14.9	12.2	8.1	21.6
	60代	125	83.2	23.2	22.4	8.0	9.6	20.8	23.2
	70代	134	83.6	18.7	30.6	5.2	4.5	32.8	33.6
	80代以上	55	58.2	9.1	12.7	－	3.6	14.5	12.7

		n	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	共 機 関 役 場 な ど の 村 内 の 公	社 会 福 祉 協 議 会	事 業 所 民 間 の 福 祉 施 設 及 び	入 手 し て い な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
		%							
全体		546	3.3	19.8	7.5	4.4	4.6	0.7	6.4
年 代 別	10代	9	－	11.1	11.1	－	11.1	－	－
	20代	32	6.3	18.8	6.3	12.5	3.1	－	6.3
	30代	41	4.9	9.8	2.4	－	12.2	2.4	4.9
	40代	74	－	13.5	2.7	2.7	5.4	－	1.4
	50代	74	1.4	21.6	1.4	2.7	5.4	－	1.4
	60代	125	1.6	15.2	6.4	3.2	4.8	1.6	4.0
	70代	134	6.7	24.6	13.4	6.0	2.2	－	5.2
	80代以上	55	3.6	34.5	14.5	7.3	1.8	1.8	29.1

【その他回答】

- 回覧板
- 家族（同一回答他1件）
- 広報紙の更なる充実
- 郵送された書類

問 44 玉川村には自然、歴史、文化、景観、産業、場所など、数多くの魅力があります。あなたが特に魅力だと感じるものは何ですか。下の2つの枠内に具体的に記入してください。

【玉川村の魅力 その1】

魅 力	件数
自然環境	100
福島空港	56
乙字ヶ滝	19
交通の利便性	17
立地条件	13
文化・歴史	13
環境がよい	10
施設関連	9
人から	4
産業	3
さるなし	2
わからない	4
その他	10

【玉川村の魅力 その2】

魅 力	件数
自然環境	49
福島空港	25
施設関連	25
文化・歴史	23
環境がよい	14
交通の利便性	11
立地条件	10
人から	10
乙字ヶ滝	9
産業	9
さるなし	2
わからない	3
その他	13

問 45 玉川村のまちづくりを進めるにあたって、どのようなことを大切にしたいですか。下の2つの枠内に具体的にキーワードとして記入してください。

【大切にすること その1】

大切にすること	件数
自然	43
村民の意見	27
行政への要望	21
安心・安全	20
人を大切にする・人材育成	19
環境整備	19
移住・関係人口等増加	17
産業	16
暮らしやすさ・住みやすさ	16
子育て	15
利便性	11
人とのつながり（コミュニティ）	5
医療・福祉	5
歴史・文化	5
福島空港	2
施策	2
わからない	3
その他	25

【大切にすること その2】

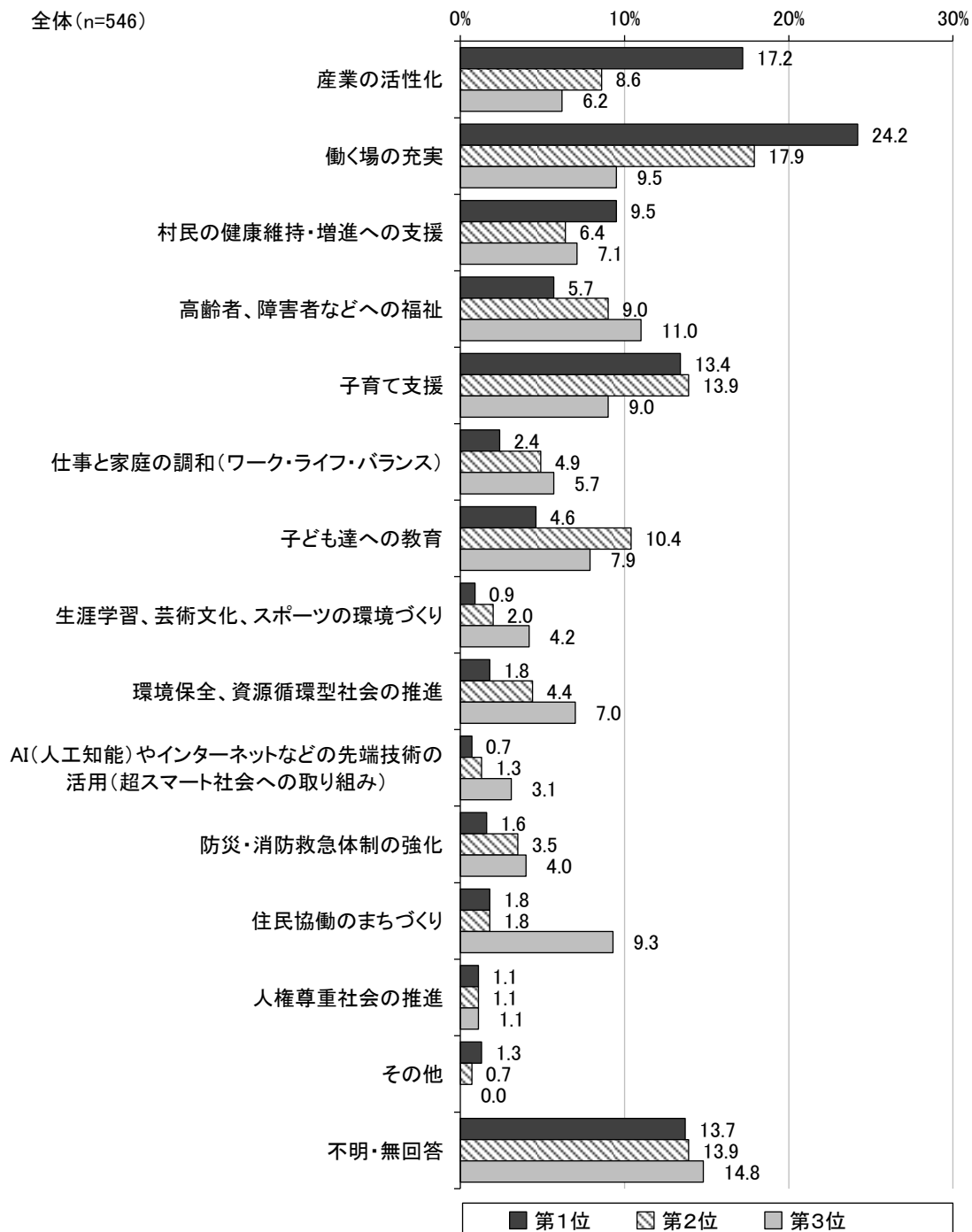
大切にすること	件数
自然	23
利便性	22
産業	17
行政への要望	16
子育て	15
環境整備	13
人とのつながり（コミュニティ）	11
人を大切にする・人材育成	11
安心・安全	10
移住・関係人口等増加	10
医療・福祉	8
暮らしやすさ・住みやすさ	8
歴史・文化	5
村民の意見	3
わからない	3
その他	28

問 46 玉川村の発展にとってどのような取り組みが特に重要と考えますか。下表から3つまで選んで、その番号を枠内に記入してください。

第1位では「働く場の充実」が24.2%と最も多く、次いで「産業の活性化」が17.2%、「子育て支援」が13.4%となっています。

第2位では「働く場の充実」が17.9%と最も多く、次いで「子育て支援」が13.9%、「子ども達への教育」が10.4%となっています。

第3位では「高齢者、障害者などへの福祉」が11.0%と最も多く、次いで「働く場の充実」が9.5%、「住民協働のまちづくり」が9.3%となっています。



年代別にみると、第1位については〔20代〕〔30代〕では「子育て支援」、〔60代〕では「産業の活性化」、その他の年代では「働く場の充実」が最も多くなっています。

第2位については〔20代〕では「子育て支援」、〔30代〕では「子ども達への教育」、〔50代〕では「産業の活性化」、その他の年代では「働く場の充実」が最も多くなっています。

第3位については〔20代〕では「子ども達への教育」、〔30代〕では「働く場の充実」「子育て支援」、〔40代〕では「産業の活性化」、〔50代〕では「子育て支援」、〔60代〕では「高齢者、障害者などへの福祉」、〔70代〕では「環境保全、資源循環型社会の推進」「住民協働のまちづくり」、〔80代以上〕では「住民協働のまちづくり」が最も多くなっています。

	n	産業の活性化	働く場の充実	村民の健康維持・増進への支援	高齢者、障害者などへの福祉	子育て支援	仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）	子ども達への教育	生涯学習、芸術文化、スポーツの環境づくり	環境保全、資源循環型社会の推進	AI（人工知能）やインターネットなどの先端技術の活用（超スマート社会への取り組み）	防災・消防救急体制の強化	住民協働のまちづくり	人権尊重社会の推進	その他	不明・無回答
%																
【第1位】																
全体	546	17.2	24.2	9.5	5.7	13.4	2.4	4.6	0.9	1.8	0.7	1.6	1.8	1.1	1.3	13.7
年代別	10代	9	44.4	11.1	—	22.2	11.1	—	11.1	—	—	—	—	—	—	—
	20代	32	15.6	9.4	18.8	—	28.1	6.3	6.3	3.1	—	—	3.1	—	—	9.4
	30代	41	7.3	14.6	7.3	—	41.5	—	7.3	2.4	2.4	—	2.4	4.9	—	2.4
	40代	74	17.6	20.3	2.7	8.1	17.6	6.8	9.5	1.4	—	2.7	2.7	1.4	—	9.5
	50代	74	12.2	35.1	2.7	8.1	13.5	2.7	2.7	—	1.4	1.4	—	4.1	—	4.1
	60代	125	26.4	22.4	10.4	7.2	10.4	1.6	2.4	0.8	0.8	—	4.0	0.8	4.0	1.6
	70代	134	18.7	27.6	12.7	5.2	6.7	0.7	4.5	—	4.5	0.7	0.7	—	0.7	16.4
	80代以上	55	9.1	23.6	14.5	5.5	—	—	1.8	—	1.8	—	—	1.8	—	40.0
【第2位】																
全体	546	8.6	17.9	6.4	9.0	13.9	4.9	10.4	2.0	4.4	1.3	3.5	1.8	1.1	0.7	13.9
年代別	10代	9	11.1	—	11.1	11.1	33.3	11.1	—	—	—	11.1	11.1	—	—	—
	20代	32	—	21.9	6.3	31.3	9.4	—	3.1	6.3	—	6.3	—	—	—	9.4
	30代	41	9.8	17.1	—	2.4	12.2	17.1	19.5	—	2.4	4.9	2.4	2.4	—	2.4
	40代	74	5.4	27.0	4.1	5.4	14.9	5.4	12.2	5.4	1.4	4.1	1.4	4.1	1.4	6.8
	50代	74	18.9	13.5	8.1	10.8	8.1	2.7	6.8	2.7	2.7	1.4	2.7	2.7	—	2.7
	60代	125	6.4	20.8	7.2	11.2	18.4	2.4	14.4	1.6	6.4	—	2.4	—	1.6	7.2
	70代	134	9.0	15.7	9.0	10.4	9.7	3.0	11.9	1.5	5.2	0.7	3.7	2.2	1.5	16.4
	80代以上	55	5.5	12.7	3.6	9.1	7.3	5.5	1.8	—	5.5	—	7.3	—	1.8	40.0
【第3位】																
全体	546	6.2	9.5	7.1	11.0	9.0	5.7	7.9	4.2	7.0	3.1	4.0	9.3	1.1	—	14.8
年代別	10代	9	—	11.1	—	—	33.3	22.2	—	—	—	22.2	11.1	—	—	—
	20代	32	9.4	12.5	3.1	6.3	—	15.6	18.8	12.5	3.1	—	3.1	6.3	—	9.4
	30代	41	12.2	14.6	4.9	9.8	14.6	4.9	9.8	7.3	7.3	—	7.3	—	—	7.3
	40代	74	14.9	10.8	9.5	5.4	9.5	5.4	10.8	5.4	5.4	8.1	4.1	4.1	—	6.8
	50代	74	2.7	8.1	4.1	10.8	13.5	4.1	10.8	2.7	6.8	1.4	8.1	8.1	1.4	17.6
	60代	125	4.0	11.2	8.8	20.8	9.6	3.2	6.4	3.2	7.2	1.6	2.4	11.2	2.4	8.0
	70代	134	6.0	8.2	8.2	9.0	4.5	6.7	4.5	3.7	11.2	4.5	3.7	11.2	1.5	17.2
	80代以上	55	—	3.6	5.5	7.3	9.1	3.6	5.5	1.8	1.8	—	—	18.2	—	43.6

第7次 玉川村振興計画
策定に向けたアンケート調査
結果報告書

発行：玉川村 企画政策課
TEL：0247-57-4628
FAX：0247-57-3952

発行年月：令和6年10月